

教 育 要 覧

令和 6 年度

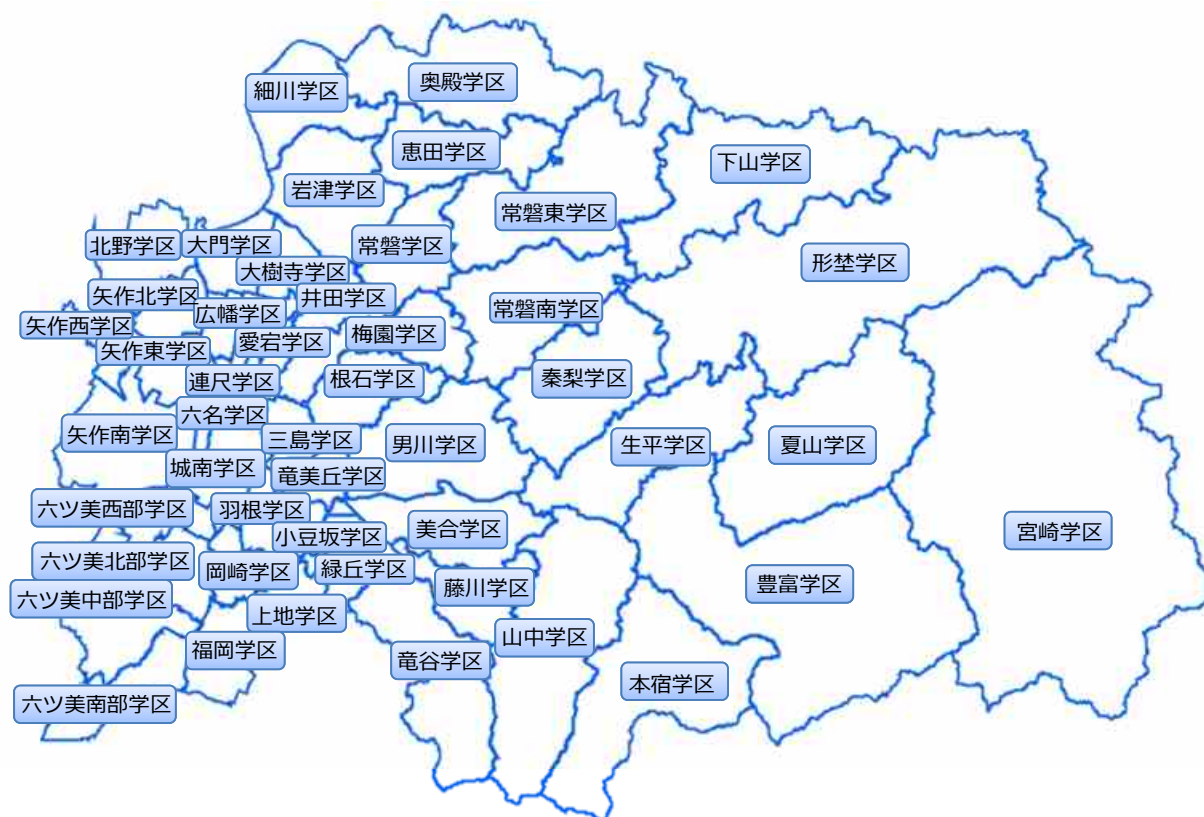
岡 崎 市 教 育 委 員 会

I	総説	1	2	家庭教育事業	72
第1	市勢の概要	2	第2	社会教育施設等	74
1	隣接町村合併沿革	4	1	市民センター	74
2	人口及び世帯数の推移	5	2	視聴覚ライブラリー	75
第2	教育委員会	6	3	図書館交流プラザ	78
1	教育長・教育委員	6	4	中央図書館	80
2	令和5年度教育委員会	7	5	美術館	87
第3	教育行財政	9	6	美術博物館	88
1	令和6年度教育費予算	9	7	少年自然の家	89
2	令和4年度教育費歳出決算	10	8	子ども・若者総合相談センター	90
3	岡崎市学校教育等推進計画	11	第3	文化財	93
4	行政組織図	12	1	文化財保護	93
5	職員配置状況	13	2	旧本多忠次邸	96
6	事務局・教育機関の事務分掌	14	第4	社会体育	98
7	事務の補助執行	17	1	体育振興	98
II	学校教育	19	2	公益財団法人岡崎市スポーツ協会	102
1	学校教育の視点	20	IV	資料	106
2	令和6年度研究発表会・授業公開	21	第1	教育委員会関係	107
3	時代の要請に応える教育	22	1	歴代教育委員会委員	107
4	特色ある教育活動・取組	23	2	歴代教育委員会委員長	109
5	I C T教育	25	3	歴代教育長	110
6	国際理解教育	30	第2	学校関係	112
7	特別支援教育	32	1	市内学校数	112
8	教職員の研修	33	2	進路別卒業者数の推移	112
9	教育委員会特別委員会	41	3	児童・生徒定期健康診断	113
10	学校評価(学校経営評価)	43	4	学校事故	115
11	開かれた学校づくり	44	5	学校保健	117
12	いじめ・長期欠席対策	46	6	学校施設	118
13	危機管理対策	49	7	市立小学校概要	119
14	就学・奨学制度	52	8	市立中学校概要	123
15	全市的行事	54	9	児童生徒数一覧	125
16	教育関係表彰	58	10	市立小中学校以外の学校等	127
17	総合学習センター	59	第3	体育施設	129
18	教育相談センター	62	1	市内体育施設	129
19	学校給食	64	2	利用状況	133
III	生涯学習	67			
第1	生涯学習	68			
1	生涯学習事業	68			

I 総 説

- 第 1 市勢の概要
- 第 2 教育委員会
- 第 3 教育行財政

第1 市勢の概要



○市制施行 大正 5 年 7 月 1 日

○市役所の位置 岡崎市十王町二丁目 9 番地

○親善都市 沖縄県石垣市 昭和 44 年 2 月 19 日提携
広島県福山市 昭和 46 年 11 月 9 日提携

○姉妹都市 スウェーデン・ウツデバラ市 昭和 43 年 9 月 17 日提携
米国・ニューポートビーチ市 昭和 59 年 11 月 27 日提携

○友好都市 中国・呼和浩特市 昭和 62 年 8 月 10 日提携

○ゆかりのまち 長野県佐久市、神奈川県茅ヶ崎市、岐阜県関ヶ原町
昭和 58 年 7 月 1 日提携

○観光交流都市 石川県金沢市 平成 19 年 10 月 18 日提携

○市章

岡崎市の市章は、外まわりに竜の爪が宝珠をつかんだ形を配し、その中は岡崎の「岡」の漢字を図案化したもので、岡崎城の故事を取り入れてこの形になったとされている。



○市の花 ふじ（昭和45年6月2日選定）

岡崎公園の西南部、菅生川を望む藤棚に見られるフジの古株「五万石藤」が有名である。昭和38年には市の天然記念物に指定。かつて城の入口付近にあったものを今の場所に移したもので、古くから五万石藤の名で市民に親しまれている。



○市の花 さくら（平成28年7月1日選定）

岡崎城を背景に咲き誇る桜は、本市のシンボルであり、毎年、市内外から多くのかたが訪れ、東海地方随一と言われる夜桜とともに、市民の誇りとなっている。市制施行100周年を機に、市の花として追加された。



○市の鳥 ハクセキレイ（昭和50年3月27日選定）

生活圏が主に水辺で清流のまち岡崎のイメージに合い、矢作川や乙川などの水辺でよく姿を見ることができることから選ばれた。



○市の木 みかわくろまつ（昭和46年12月21日選定）

市民の投票によって決定しました。西三河には古くから、盆栽、庭木として優れたクロマツが多いことから、岡崎で見られるものを「みかわくろまつ」と称賛してつけられた。



○市歌

岡崎市歌

北原白秋 作詞
山田耕筈 作曲

1 雲にかがやく 竜城の
青葉の嵐 仰ぎ見よ
国に築きし 先傑の
勲は高し この力
奮えよ我等 後永く
堅実の地歩 日に継がん
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

2 名にしゆたけき 天恵の
矢作の流 まさに見よ
土は肥えたり 西三河
眺は広し この平野
奮えよ我等 明らけく
営々の業 世に布かん
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

3 煙にぎわう 新興の
時代の勢 ここに見よ
音にきこゆる 産業の
誉は高し この栄
奮えよ我等 眉わかく
躍進の都市 いまどよむ
岡崎これや 我が光
岡崎これや 我が郷土

1 隣接町村合併沿革

年 月 日	編 入 町 村	編入面積	総面積
明治 22 年 10 月 1 日	町制施行 (30 町村合併)	4.07km ²	4.07km ²
明治 35 年 9 月 23 日	男川村の一部 (大字欠) 合併	1.45km ²	5.52km ²
明治 39 年 5 月 1 日	三島村、乙見村の一部 (大字稲熊、大字小呂) 合併	9.87km ²	15.39km ²
大正 3 年 10 月 1 日	広幡町合併	4.29km ²	19.68km ²
大正 5 年 7 月 1 日	市制施行		
昭和 3 年 9 月 1 日	岡崎村、美合村、男川村、常磐村の一部 (大字箱柳) 合併	31.16km ²	50.84km ²
昭和 30 年 2 月 1 日	岩津町、福岡町、本宿村、山中村、藤川村、竜谷村、河合村、常磐村合併	139.31km ²	190.15km ²
昭和 30 年 4 月 1 日	矢作町合併	22.70km ²	212.85km ²
昭和 35 年 1 月 1 日	旧矢作町の一部 (河野村、宇頭茶屋町、尾崎町、柿崎町、橋目町の一部) 安城市へ編入	△3.12km ²	209.73km ²
昭和 37 年 10 月 15 日	六ツ美町合併	17.32km ²	227.05km ²
平成元年 11 月 10 日	※全国都道府県市区町村別面積調査による		226.97km ²
平成 18 年 1 月 1 日	額田町合併	160.27km ²	387.24km ²
平成 26 年 10 月 1 日	※全国都道府県市区町村別面積調査による		387.20km ²

2 人口及び世帯数の推移

(各年4月1日現在)

年 度	総 数	男	女	世帯数	備 考
大正5年	34,895 人	16,485 人	18,410 人	7,687 世帯	7月市制施行
昭和3年	51,700 人	25,292 人	26,408 人	11,825 世帯	9月岡崎村他3村合併
10	71,623 人	34,196 人	37,427 人	15,961 世帯	
20	97,686 人	48,105 人	49,581 人	20,507 世帯	
30	143,575 人	68,812 人	74,763 人	28,634 世帯	2月岩津町他7町合併、4月矢作町合併
35	165,453 人	79,560 人	85,893 人	34,566 世帯	1月安城市に一部境界変更
37	172,069 人	83,557 人	88,512 人	36,998 世帯	10月六ツ美町合併
40	193,559 人	94,475 人	99,084 人	43,075 世帯	
50	231,083 人	114,186 人	116,897 人	67,279 世帯	
60	281,914 人	139,614 人	142,300 人	83,656 世帯	
平成元年	299,628 人	149,115 人	150,513 人	92,504 世帯	
10	331,779 人	166,249 人	165,530 人	113,883 世帯	
15	348,049 人	174,949 人	173,100 人	126,753 世帯	4月中核市に移行
18	367,850 人	185,452 人	182,398 人	138,706 世帯	1月額田町合併
20	375,067 人	189,605 人	185,462 人	145,040 世帯	
23	376,469 人	189,787 人	186,682 人	148,074 世帯	
24	378,217 人	190,834 人	187,383 人	149,932 世帯	
25	378,249 人	190,879 人	187,370 人	149,060 世帯	
26	379,264 人	191,515 人	187,749 人	150,968 世帯	
27	380,764 人	192,372 人	188,392 人	152,849 世帯	
28	383,493 人	194,150 人	189,343 人	155,905 世帯	
29	384,950 人	195,001 人	189,949 人	157,966 世帯	
30	386,943 人	196,261 人	190,682 人	160,783 世帯	
31	387,887 人	196,813 人	191,074 人	163,104 世帯	
令和2年	387,106 人	196,578 人	190,528 人	164,390 世帯	
令和3年	385,823 人	195,816 人	190,007 人	165,775 世帯	
令和4年	384,996 人	195,197 人	189,799 人	166,994 世帯	
令和5年	383,789 人	194,477 人	189,312 人	168,543 世帯	
令和6年	383,141 人	194,085 人	189,056 人	170,248 世帯	

第2 教育委員会

1 教育長・教育委員



職 名 教 育 長
氏 名 安 藤 直 哉
教育長就任年月日 令和4年4月1日（3期目）



職 名 委 員・教育長職務代理者
氏 名 千 野 智 子
教育長職務代理者
就 任 年 月 日 令和6年4月1日
委員就任年月日 令和3年10月1日（1期目）



職 名 委 員
氏 名 上 原 三 十 三
委員就任年月日 令和4年10月1日（2期目）



職 名 委 員
氏 名 小 森 保 生
委員就任年月日 令和5年10月1日（1期目）



職 名 委 員
氏 名 岡 田 京 子
委員就任年月日 令和2年11月17日（2期目）

2 令和5年度教育委員会の開催状況

開催日	議 案 等 件 名
令和5年4月27日	1 岡崎市スポーツ推進委員の委嘱について 2 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について 3 岡崎市文化財保護審議会委員の任命について 4 岡崎市文化財保存活用地域計画協議会委員の任命について 5 岡崎市教育委員会に係る行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部改正について 6 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和5年5月25日	1 岡崎市スポーツ推進委員の委嘱について 2 令和4年度岡崎市一般会計継続費繰越計算書について 3 令和4年度岡崎市一般会計繰越明許費繰越計算書について 4 公益財団法人岡崎市学校給食協会の経営状況について 5 岡崎市立学校管理規則の一部改正について 6 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和5年6月22日	1 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について 2 岡崎市美術博物館協議会委員の委嘱について 3 岡崎市学校給食センター運営委員の委嘱について 4 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 5 岡崎市社会教育委員の委嘱について 6 県費負担教職員の人事の内申の臨時代理について 7 岡崎市小規模特認校の指定について 8 令和5年度全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて
令和5年7月27日	1 重要文化財の指定に伴う岡崎市指定文化財の指定解除について 2 工事請負の契約の変更の専決処分について 3 教科用図書の採択について 4 教科用図書採択地区について
令和5年8月17日	1 図書館の臨時休館について 2 岡崎市学校給食センター運営委員の委嘱について 3 岡崎城跡整備委員会委員の委嘱について 4 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和5年9月21日	1 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について 2 和解及び損害賠償の額を定める専決処分について 3 特定事業の契約の変更の臨時代理について 4 教育委員会事務局職員の人事について

I 総 説

第 2 教育委員会

開催日	議 案 等 件 名
令和 5 年 10 月 19 日	1 令和 6 年度キッズデイズの日程について 2 岡崎市立小中学校校内フリースクール設置要綱について 3 岡崎市立小中学校夜間学級設置要綱について 4 令和 6 年度教職員定期人事異動方針について
令和 5 年 11 月 9 日	1 岡崎市文化財保存活用地域計画協議会委員の任命について 2 議会の議決を経るべき議案に関する意見について
令和 5 年 12 月 21 日	1 令和 6 年度小中学校入学式等儀式の実施日について 2 議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出の臨時代理について
令和 6 年 1 月 25 日	1 岡崎市社会教育委員の委嘱等について 2 和解及び損害賠償の額を定める専決処分について
令和 6 年 2 月 15 日	1 岡崎市スポーツ推進委員の辞任の承認について 2 教育に関する事務の点検・評価について 3 議会の議決を経るべき議案に関する意見について 4 校長等の定期人事異動の内申について
令和 6 年 3 月 25 日	1 岡崎市学校教育等推進計画中間評価について 2 岡崎市立学校管理規則の一部改正について 3 岡崎市教育委員会職員の職名及び補職名規則の一部改正について 4 教育委員会事務局職員の人事について 5 教育委員会事務局及び教育機関職員の定期人事異動について 6 岡崎市指定文化財の指定について 7 学校事故について

〈教育委員会会議〉



第3 教育行財政

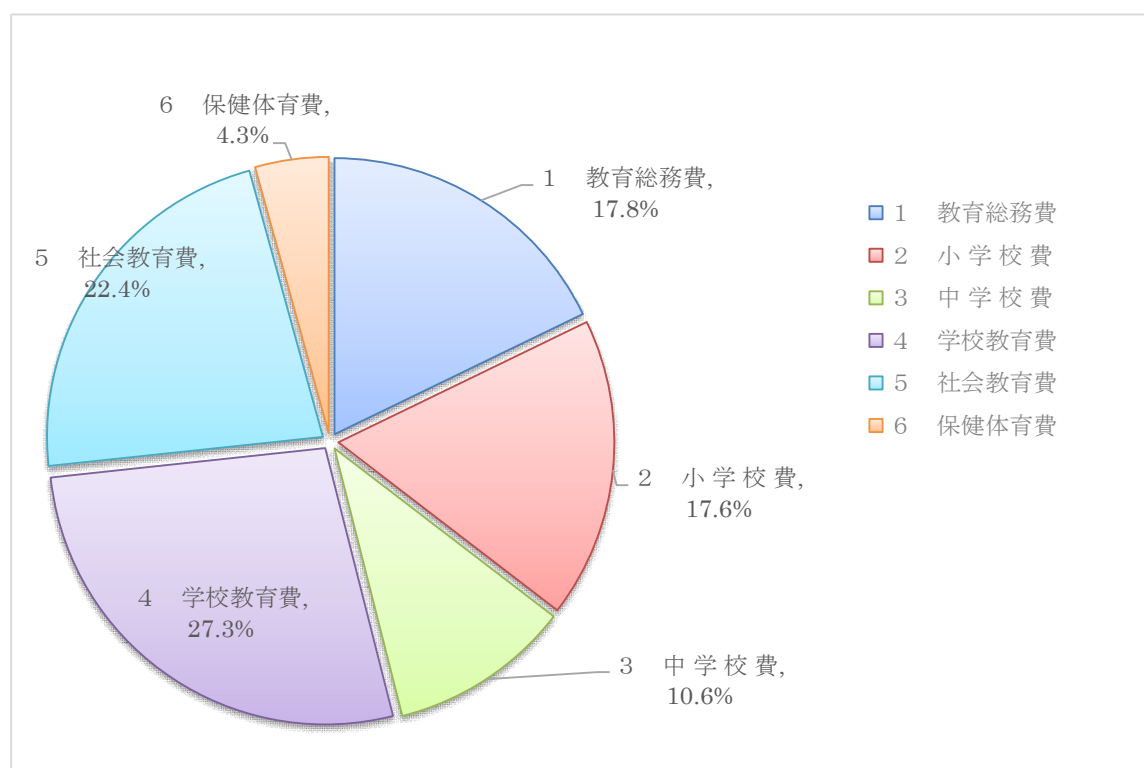
1 令和6年度教育費予算

(千円)

		6年度	5年度	増減	対前年比
1 教育総務費		2,650,784	2,538,529	112,255	104.4%
	1 教育委員会費	3,981	3,635	346	109.5%
	2 事務局費	1,095,977	1,021,976	74,001	107.2%
	3 私立学校振興費	1,550,826	1,512,918	37,908	102.5%
2 小学校費		1,799,193	2,001,802	△202,609	89.9%
	1 学校管理費	1,583,620	1,783,579	△199,959	88.8%
	2 教育振興費	209,969	217,076	△7,107	96.7%
	3 学校建設費	5,604	1,147	4,457	488.6%
3 中学校費		1,534,823	1,284,561	250,262	119.5%
	1 学校管理費	1,320,759	1,040,148	280,611	127.0%
	2 教育振興費	214,064	174,384	39,680	122.8%
	3 寄宿舎管理費	0	70,029	△70,029	0.0%
4 学校教育費		7,956,191	4,564,590	3,391,601	174.3%
	1 教育指導費	1,144,836	1,118,791	26,045	102.3%
	2 学校保健費	225,177	224,110	1,067	100.5%
	3 学校体育費	93,510	59,315	34,195	157.6%
	4 学校給食センター費	6,396,652	3,064,935	3,331,717	208.7%
	5 教育研究費	96,016	97,439	△1,423	98.5%
5 社会教育費		2,460,521	2,422,787	37,734	101.6%
	1 社会教育総務費	15,740	15,118	622	104.1%
	2 青少年費	51,931	51,264	667	101.3%
	3 文化振興費	39,299	32,924	6375	119.4%
	4 文化財保護費	178,963	123,163	55,800	145.3%
	5 図書館費	561,417	546,318	15,099	102.8%
	6 美術館費	63,025	118,837	△55,812	53.0%
	7 美術博物館費	527,042	452,437	74,605	116.5%
	8 視聴覚ライブラリー費	39,818	40,912	△1,094	97.3%
	9 市民センター費	178,971	166,052	12,919	107.8%
	10 少年自然の家費	53,768	49,479	4,289	108.7%
	11 地域文化広場費	226,271	226,420	△149	99.9%
	12 図書館交流プラザ費	524,276	599,863	△75,587	87.4%
6 保健体育費		853,971	831,504	22,467	102.7%
	1 社会体育費	753,749	723,422	30,327	104.2%
	2 体育館費	64,426	77,744	△13,318	82.9%
	3 地区体育館費	35,796	30,338	5,458	118.0%
合 計		17,255,483	13,482,191	3,773,292	128.0%

2 令和4年度教育費歳出決算

項	決 算 額 (千円)	構 成 比
1 教育総務費	2,682,280	17.8%
2 小学校費	2,638,247	17.6%
3 中学校費	1,598,781	10.6%
4 学校教育費	4,102,437	27.3%
5 社会教育費	3,369,405	22.4%
6 保健体育費	647,758	4.3%
合 計	15,038,908	100.0%



3 岡崎市学校教育等推進計画

《計画の位置付け》

本計画は、第7次岡崎市総合計画の教育分野のうち学校教育、社会教育に関して、今後の方針とその実現のために必要な施策を明らかにするものとして位置づけている。また、教育基本法第17条第2項に基づき策定する本市の教育振興基本計画として位置付けられる5つの計画のうちの一つである。

《計画の期間》

本計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間

《基本理念》

「未来を拓き 豊かに生きる力をもった子どもの育成」
～自立・共生・創造を目指して～

《基本目標》

基本理念の実現に向け、学校教育分野で5つ、社会教育分野で1つの基本目標を定めている。

【学校教育分野】

- ◆未来を生きる素質・能力を育成する魅力ある教育を推進する。
- ◆子どもの多様性や特性を認め、可能性を伸ばす教育を推進する。
- ◆岡崎の人・もの・ことを生かした特色ある教育を推進する。
- ◆教職員が生き生きと働くことができる働き方改革を推進する。
- ◆持続発展可能な教育を実現する学校教育環境を整備する。

【社会教育分野】

- ◆家庭、地域、学校との連携・協議を推進する。

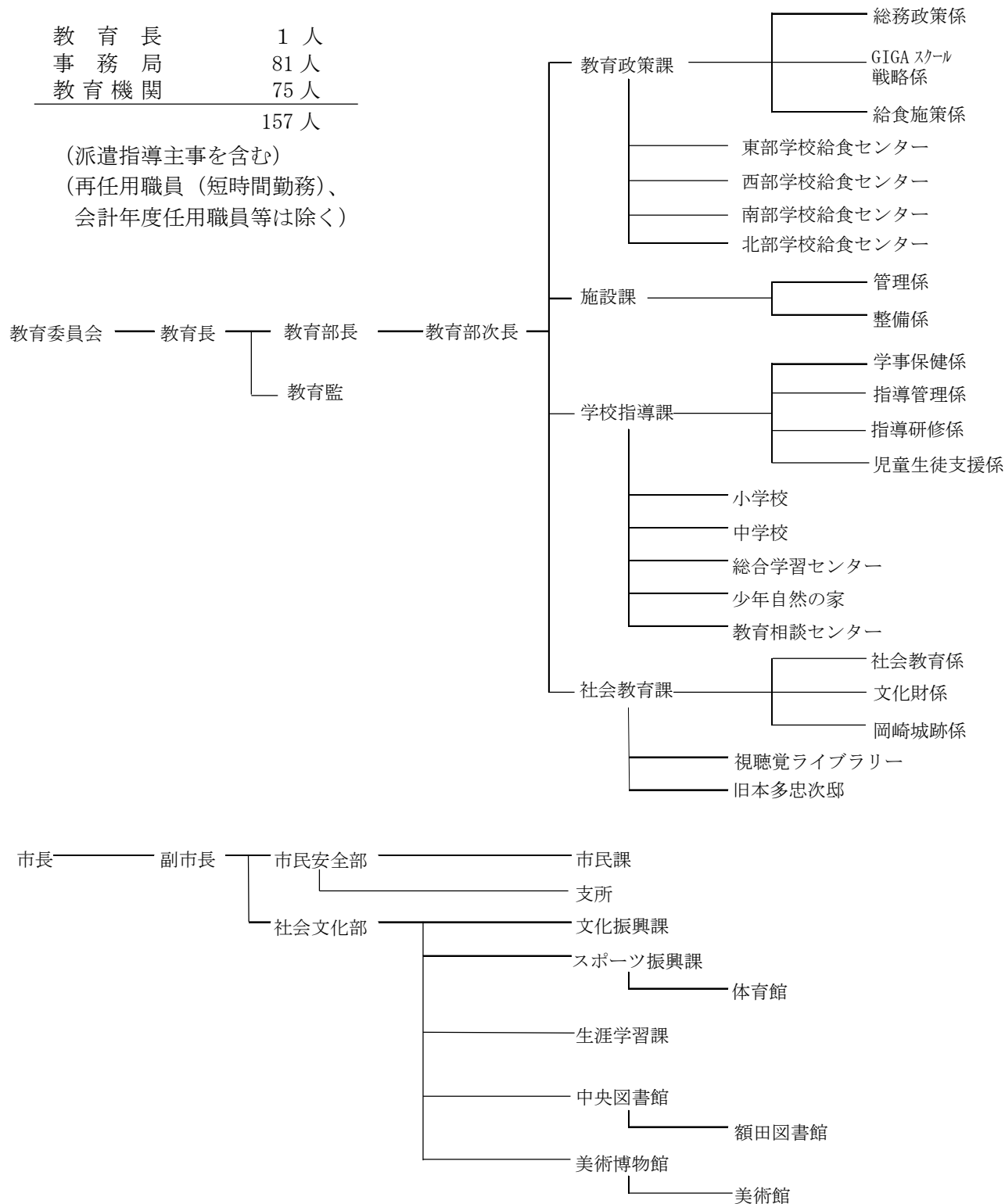
《重点的に取り組む事項》

基本目標の実現に向けて、様々な施策を展開する中で、次の6つの視点から特に今後5年間で重点的に取り組むべきことを重点事項として位置付けている。

- 1 学び方改革の推進
- 2 子どもの可能性を伸ばす教育の推進
- 3 教育の情報化の推進
- 4 教職員の働き方改革の推進と教職員の育成
- 5 学校施設等の効率的な整備と有効活用
- 6 学校と地域の連携・協働の推進

4 行政組織図

(職員の数) 令和6年4月1日現在



※市長部局については、補助執行に係る部分についてのみ記載

5 職員配置状況

(令和6年4月1日現在)

区 分	行 政 職 員				教育 職員	技能業務 職員	合 計
	部長等	課長等	事務職員 技術職員	専門主事			
事 務 局	2						2
教育政策課		1	14	2		1	18
施 設 課		1	12			9	22
学校指導課		1	7	18			26
社会教育課		1	12				13
小・中学校					14	48	62
学校給食センター		1	1				2
総合学習センター		1	1	1			3
教育相談センター		1		1			2
少年自然の家			1			2	3
視聴覚ライブラリー			1	1			2
旧本多忠次邸						1	1
合計	2	7	49	23	14	61	156

※ 教育長を除く

6 事務局・教育機関の事務分掌

■事務局

課 名 等	事 務 分 掌
教育政策課	(1) 統合計画、予算及び行政改革に係る事務局内の調整に関する こと。 (2) 教育委員会の会議の庶務を処理すること。 (3) 教育委員会規則その他公表を要する規程を公布すること。 (4) 組織を計画すること。 (5) 文書を收受し、発送し、及び完結文書を整理保存すること。 (6) 公印を管守すること。 (7) 職員の任免、分限、懲戒及び表彰をすること。 (8) 職員の給与、勤務時間その他の勤務条件を決定すること。 (9) 公務災害補償の事務を処理すること。 (10) 奨学資金に関する事務を処理すること。 (11) 教育行政に関する相談に関すること。 (12) 学校（市立の小学校及び中学校をいう。以下同じ。）の施設の 設置、変更及び廃止の手続をすること。 (13) 学校災害に係る補償等の事務を処理すること。 (14) 西三河地方教育事務協議会と連絡すること。 (15) 岡崎市いじめ問題対策委員会の庶務を処理すること。 (16) 学校の情報システムに関する企画及び調達をすること。 (17) 教育ネットワークの管理及び運用をすること。 (18) 学校の情報セキュリティに関すること。 (19) 学校給食について指導し、及び助言を与えること。 (20) 学校給食センターの整備を計画すること。 (21) 岡崎市学校給食センター運営委員会の庶務を処理すること。 (22) 学校給食センターと連絡すること。 (23) 他の課の所管に属さない事務を処理すること。
施 設 課	(1) 学校その他教育機関の施設の用に供する土地の取得に関する こと。 (2) 学校の施設の保守管理及び修繕に関すること。 (3) 学校の用に供する教育財産（運動場の夜間照明設備を除く。）の 目的外使用を許可すること。 (4) 学校の施設及び設備の整備を計画し、及び工事を施行すること。 (5) 学校の施設及び設備に関する国庫補助金及び県費補助金に関 する事務を処理すること。 (6) 教育機関の施設の整備等に関する技術的調整をすること。

課 名 等	事 務 分 掌
学校指導課	(1) 学校教育について指導し、及び助言を与えること。 (2) 学校事務及びその共同実施について指導し、及び助言を与えること。 (3) 県費負担教職員の人事及び給与について内申すること。 (4) 県費負担教職員の服務を監督し、及び勤務成績の評定に係る事務を処理すること。 (5) 教科書その他教材の取扱いに関する事務を処理すること。 (6) 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会の庶務を処理すること。 (7) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒及び児童の入学、転学及び退学の手続をすること。 (8) 通学区域を設定し、廃止し、及び変更すること。 (9) 就学援助に係る事務を処理すること。 (10) 学校保健について指導し、及び助言を与えること。 (11) 学校の環境衛生に関する事務を処理すること。 (12) 岡崎市立学校衛生委員会の庶務を処理すること。 (13) 就学児童の健康診断に係る事務を処理すること。 (14) 学校医等に関すること。 (15) 独立行政法人日本スポーツ振興センターに係る事務を処理すること。 (16) 学校、岡崎市総合学習センター、岡崎市少年自然の家及び岡崎市教育相談センターと連絡すること。
社会教育課	(1) 社会教育に関する事業を計画し、及び実施すること。 (2) 社会教育に係る指導者を養成すること。 (3) 青少年に関する事務を処理すること。 (4) 文化財の保護及び活用に関すること。 (5) 文化財の調査及び研究に関すること。 (6) 文化財に関する講習会、講演会その他の催しを主催すること。 (7) 岡崎市視聴覚ライブラリー及び岡崎市旧本多忠次邸と連絡すること。 (8) 岡崎市社会教育審議会、岡崎市文化財保護審議会、岡崎市文化財保存活用地域計画協議会及び岡崎城跡整備委員会の庶務を処理すること。

■主な教育機関

課 名 等	事 務 分 掌
学校給食センター	小学校及び中学校の児童及び生徒に対し学校給食を実施する事業を行う。
総合学習センター	(1) 教育に関する専門的及び技術的な事項の調査研究を行うこと。 (2) 教育関係職員の研修を実施すること。 (3) 教育に関する情報及び資料の収集及び提供に関すること。 (4) 地域住民等の生涯学習活動のために施設を利用に供すること。
少年自然の家	(1) 少年の自然探究その他自然に親しむ諸活動の指導及び助言をすること。 (2) 少年の集団宿泊訓練及び助言すること。 (3) 少年団体の指導者の養成及びその資質の向上のため、講習会、研修会等を開催すること。 (4) 前各号に掲げるもののほか、少年自然の家の設置の目的を達成すること。
教育相談センター	(1) 教育相談を行うこと。 (2) 教育相談に関する調査及び研究並びに情報の収集及び提供を行うこと。 (3) 不登校の児童及び生徒に対する適応指導教室を実施すること。
視聴覚ライブラリー	(1) 視聴覚教育に関する器材及び資料を収集し、及び利用に供すること。 (2) 視聴覚教育に関する講習会、研究会等を開催すること。 (3) 視聴覚教育の向上及び普及に関し指導すること。 (4) 前3号に掲げるもののほか、視聴覚ライブラリーの設置の目的を達成すること。
旧本多忠次邸	(1) 旧本多忠次邸に関する資料を展示すること。 (2) 文化財を通じた歴史及び文化に関する展覧会、講演会、講習会、研究会等を開催すること。 (3) 文化財を通じた歴史及び文化に関する資料の展示のために施設を利用に供すること。 (4) 前3号に掲げるもののほか、旧本多忠次邸の事業として教育委員会が適当と認める事業を実施すること。

7 事務の補助執行

■市長が教育委員会の職員に補助執行させる事務

補助執行させる職員	補助執行させる事務
教育委員会の事務を補助する職員及び教育委員会の管理に属する機関の職員	(1) 教育委員会の所掌に係る事項に関する予算の見積りをする事。 (2) 教育委員会の所掌に係る事項に関する予算の執行計画、流用、充用、繰越しその他予算の執行管理をする事。 (3) 教育委員会の所掌に係る事項に関する歳入の徴収、減免及び還付をする事。 (4) 教育委員会の所掌に係る事項に関する支出負担行為の手續をする事。 (5) 教育委員会の所掌に係る事項に関して岡崎市決裁規程(昭和 56 年岡崎市訓第 9 号)に定めるところにより調定並びに支出負担行為及びこれに伴う支出命令をする事。 (6) 岡崎市奨学資金条例(平成 13 年岡崎市条例第 43 号)を実施する事。 (7) 教育委員会の所掌に係る事項に関する教育財産の取得(移築、改築、移設、改設、修繕及び模様替えを含む。)の手續をする事。

■教育委員会が市長部局の職員に補助執行させる事務

補助執行させる職員	補助執行させる事務
市民安全部の市民課及び支所の職員	学齡児童又は学齡生徒の保護者に対し、就学すべき小学校又は中学校を指定する事。
社会文化部(スポーツ振興課及び多様性社会推進課を除く。)の職員	文化に関する事(文化財の保護に関する事を除く。)
社会文化部のスポーツ振興課の職員	(1) スポーツに関する事(学校における体育に関する事を除く。) (2) 学校体育施設のスポーツ開放事業に関する事。
体育館の職員	体育館の管理及び運営に関する事。

I 総 説

第 3 教育行財政

補助執行させる職員	補助執行させる事務
岡崎市立中央図書館及び岡崎市立額田図書館の職員	(1) 図書資料を収集し、保存し、閲覧させ、及び貸し出すこと。 (2) 資料展示等を企画し、及び運営すること。 (3) 地域図書室と連絡し、及び運営を支援すること。 (4) 図書館運営に関し必要な事項を処理すること。
岡崎市美術博物館及び岡崎市美術館の職員	(1) 施設を管理し、及び運営すること。 (2) 美術に関する作品その他の資料を収集し、保管し、及び利用に供すること。 (3) 美術に関する作品その他の資料の調査研究を行うこと。 (4) 美術に関する展示会、講演会、講習会、研究会等を企画すること。

Ⅱ 学校教育

1 学校教育の視点

学校教育に求められているものは、児童・生徒が人間として生涯にわたって心豊かで、力強く生きぬくための基盤となる能力を育成することと、知・徳・体の調和のとれた感性豊かな人間形成を図ることである。その原点には、教師の「子供の幸せを願う強い思い」と「人間形成への情熱」がなければならない。

各学校においては、基礎的、基本的な内容を重視しつつ、個に応じた指導を充実するなかで、公共の精神を尊び、誰ひとり取り残すことなく、児童・生徒の個性を認め、伸ばす教育を展開することが大切である。そのために、学校や地域の実態に応じて、「自立」「共生」「創造」を核に、特色ある教育課程を編成し、子供が自他を敬愛し喜んで通える、誰ひとり取り残さない、安全で魅力ある学校づくりを目指す。

「教育は人なり」の至言のごとく、岡崎の教師は、教育者としての使命感に燃え、全校一致の指導体制のもと、敬愛の情で結ばれた師弟関係を築き、家庭と地域と学校とが協働し、信頼される教育の創造に努める。

指導の重点

- 学ぶ楽しさを実感し、深く考え、学び続けるための
「確かな学力」を育む教育の推進
- 命の尊さやふるさとの大切さを自覚し、共に生きるための
「豊かな心」を育む教育の推進
- 体を動かす楽しさを体感し、たくましく生きるための
「健やかな体」を育む教育の推進

2 令和6年度研究発表会・授業公開

月日	曜	学校名	領域等	研 究 主 題	委嘱等
10/23	水	六ツ美 北中	全教科・領域	共に学び 共に磨き 共に生きる ～自他と向きあう自律活動と ムッキーコンパスを軸とした授業を通して～	岡崎市
10/30	水	根石小	全教科・領域	自他を敬愛し、 互いに支え合おうとする子供の育成 ～共生を取り入れた学習指導を通して～	岡崎市
11/6	水	美合小	全教科・領域	学びと学びをつなぎ、学びと生活をつなぐ ～STEAM教育の実践を通して～	岡崎市

3 時代の要請に応える教育

近年、グローバル化、人工知能（ＡＩ）の活用などによる技術革新等、10年前では考えられなかったような大きな変化が起きている。このように社会の変化が目まぐるしく、予測困難な時代の中で、子供たちには、自ら課題を解決しようとしたり、感性を働かせ、社会や人生をより豊かなものにしたりしていくことが期待される。

新しい学習指導要領では、学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱からなる資質・能力をバランスよく育んでいくことを目指している。

岡崎市教育委員会は、時代の要請を熟慮し、次代を生きる子供たちに必要な資質・能力として、自ら考え判断する力、仲間と協力し実行する力、多様性を理解し、互いを尊重し合って共に生きる力、新たな価値を創造する力が重要だと考え、これらの資質・能力を育成するキーワードとして「自立」「共生」「創造」を掲げた。

教育に真摯に向き合い、基礎的・基本的な内容を重視しつつ、教科・領域の本質に迫る学習活動の展開を通して、子供たちに学ぶことの意味を実感させるとともに、多様な特性をもつ子供たち一人ひとりに個別最適な学びを保障し、資質・能力をよりの確に育成できる教育を実現していく。さらに、地域社会・家庭と連携・協働しながら、ふるさとを愛する心を醸成することや、学校や地域の実態に応じて、創意工夫を凝らした特色ある教育課程を編成すること等を通して、子供たちに確かな知性と豊かな感性を育んでいく。

■重点努力事項■

今、私たちが取り組むべき事柄として、以下の四つを挙げる。

(1) 学び方改革の推進

子供の多様性に応じた、誰ひとり取り残さない、個別最適化された教育を研究、推進する。また、一斉授業から脱却し、チーム学習を中心とした、共生の心を育む教育活動を推進する。

(2) 子供支援改革の推進

多様性を認める校内フリースクールを充実させ、長期欠席者等、すべての子供の学校生活を保障する。いじめの未然防止や的確な対応の徹底、外国人児童生徒への支援の充実など、きめ細やかな教育を推進し、温かい学校づくりを実現する。

(3) 部活動改革の推進

部活動の意義を残し、将来にわたってスポーツや文化芸術活動に主体的に関わることができるよう、持続発展可能な形の部活動の地域移行を円滑に推進する。小学校の部活動についても、今後の在り方、大会の持ち方等について検討する。

4 特色ある教育活動・取組

(1) 感性を育む心の教育

本事業は、芸術・文化活動の優れた作品などの鑑賞や体験活動を通して、資質と感性を育み、未来を担う子供たちの健やかな成長を図ることを目的としている。

毎年、中学生には地元プロオーケストラによるクラシックコンサートを、小学生には観劇会を実施している。

年度	演 目	公 演 団 体
28	エルコスの祈り	劇団四季
29	ガンバの大冒険	劇団四季
30	魔法をすてたマジョリン	劇団四季
元	はだかの王様	劇団四季
2	ジョン万次郎の夢（中止）	劇団四季
3・4	新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止	
5	人間になりたがった猫	劇団四季
6	エルコスの祈り	劇団四季

(2) 教員補助者活用事業

本事業は、社会全体で学校を支え学校教育の一層の活性化を図ることを目的に、性別や教員免許の有無を問わず、生活経験が豊かで学校教育に理解ある社会人を教員補助者又は養護教諭支援員として採用し活用するものである。学校の指導計画の下、学級担任の行う指導補助、学校図書館の運営補助、障がいのある児童・生徒への指導補助、養護教諭の執務補助などを行う。

また、令和2年度からは、教員の事務作業などを支援する「教員業務支援員（旧スクール・サポート・スタッフ）」制度を新たに導入し、活用している。

(3) 新しい時代の教育に対応した学校教育環境の整備事業

AI や IoT 技術等の急速な進展に伴い、Society5.0 を生きる子供たちにふさわしい新たな学びが求められている。令和元年度に、文部科学省が「令和時代のスタンダードな学校像」として公表した「GIGA スクール構想」を受けて、本市では他市に先駆けて児童生徒と教員に一人一台端末の整備を完了し、授業等での活用を進めている。また、こうしてデジタル化された学習情報を一層効果的に活用できるよう、令和4年度から教室への電子黒板の導入を段階的に進めている。こうした ICT の日常的な活用を軸とする学び方改革を推進し、多様性をもつ全ての子供たちが、自らの特性を生かし、個別最適化された学習に取り組めるようにし、予測困難な未来社会をたくましく生き抜く資質・能力を育成する。

(4) 未来型教育推進事業

令和3年度に学術情報ネットワーク「SINET」を活用し、自然科学研究機構との連携によりオンライン・サイエンスセミナーを実施した。この実績を踏まえ、新規に「未来型教育推進事業」を立ち上げた。SINET によるオンラインや ICT を活用して、SDGs や STEAM、プログラミング等の未来につながる教育活動を通じ、特色ある学校づくりを推進する事業である。令和4年度よりオンライン・サイエンスセミナーの後継

Ⅱ 学校教育

事業として全ての教科・領域を対象とした MIRAI オンラインセミナーとして一括募集型オンライン授業を実施している。また、各校が推進する未来型教育の実践を OK シェアを活用して集約・共有することで、新たな実践につながることを期待している。

5 ICT教育

本市では、これからの社会で求められる情報活用能力を子供たちに育成することを目的として、高速インターネット網の整備と児童生徒用コンピュータの導入を推進してきた。令和2年度には、1人1台のタブレット端末の整備を完了させ、令和4年度からは各教室への電子黒板の整備を順次進めている。また、教員のICT活用指導力の向上を目指し、校務のデジタル化等の教育DXに積極的に取り組んでいる。

(1) ICT環境整備

現行の学習指導要領では、情報活用能力が、言語能力や問題発見・解決能力と並んで「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられている。小学校においては、プログラミングの体験的な学習機会を確保すること、中学校においては、計測・制御に加えて動的コンテンツなどに関するプログラムを学ぶことなど、積極的にICT教育が取り入れられている。こうしたICT教育の一層の充実により、これからの予測困難な未来社会を生きる子供たちに、情報を整理・分析し、他者との協働で思考を深めることにより、物事を多角的・多面的に捉え、主体的に新たな価値を生み出す力を育むとともに、情報モラルを身に付け、情報社会に参画し創造していこうとする態度を育んでいくことが期待されている。

令和2年度にスタートした「GIGA スクール構想」では、本市は他市町村に先駆けてすべての児童生徒と教員に情報端末(iPad)を一人一台配付し、授業等での運用を開始した。iPadには授業支援クラウドをはじめとする様々なアプリケーションを事前にインストールし、授業で使いやすくなるよう設定を行った。iPadの導入により「思考の可視化」「瞬時の共有化」「試行の繰り返し」などデジタルの良さを生かした様々な学習活動を支援することができるようになり、各学校における授業改革につながることもできた。また、こうしたICT教育環境をさらに有効活用できるよう、令和4年度からは各教室への電子黒板の整備に取り組んでいる。電子黒板の活用により子供たちに教材をわかりやすく提示することができるだけでなく、インターネットを利用して遠隔地と交流したり、iPadのデジタル情報を友達とやりとりしたりできるようになった。こうした、学びのインターフェースとしての電子黒板をiPadと一体的に活用することで、学習効果を上げることができている。

【整備内容等】

- ① 「岡崎版 GIGA スクール構想」に基づいた「My タブレット」(iPad)の運用
- ② 授業における学びのインターフェースとして、教室への電子黒板の整備
- ③ 「岡崎版 GIGA スクール構想」による校内高速ネットワークの活用
- ④ SINET(学術情報ネットワーク)への接続による基幹インフラの高速大容量化
- ⑤ 高速ネットワークを活用したオンライン授業の推進
- ⑥ 「Okazaki スマートワーク」による「OKアクセス」や高速プリンタの導入
- ⑦ Microsoft アカウントの利用によるオンライン会議やeラーニングの実施
- ⑧ 実践共有サイト「OKシェア」の導入による、主体的な教員研修の支援

Ⅱ 学校教育

(2) 教育DXの推進

令和4年度、オンラインを活用した教育活動推進のため「未来型教育推進事業」を立ち上げ、各学校における一人一台端末やICT機器等の活用を支援した。それぞれの学校では、特色ある教育活動の一つとしてWebカメラや、Bluetoothスピーカー、プログラミング学習で活用できるミニドローンを購入するなど、教育DXに向けてICT環境を充実させた。

また、学術情報ネットワーク（SINET）への接続による利点を生かしたMIRAIオンラインセミナーも2～3回実施し、のべ1万人を超える市内小中学生が参加した。セミナーでは、世界的に有名な研究者や大学教授など、一流の講師が市内小中学生に向けて授業を行った。子供たちは、自分のタブレットを使って講師が出題するクイズに答え、リアルタイムに感想を言い合えるなど、高速・大容量の通信環境を生かした学習を展開することができた。

さらに、教員による生成AIの活用研究も現在進めている。校務においてAIがどのように利用できるのか。子供たちの健やかな成長に資するという目的のもと、今後探っていきたい分野であると考えている

このように、一人一台端末等GIGAスクール構想で整備された機器や、日々生み出される新しい技術を、授業や校務等で活用する姿が日常的なものとなっており、ICTを活用した教育が各小中学校で展開されている。

(3) 教員のICT活用指導力、情報スキルの向上

児童生徒の情報活用能力を高めるために必要な教員のICT活用指導力及び教育DXに対応した情報スキルの向上を目指して、各種研修を行っている。大別すると、ICTの活用法や情報セキュリティ、情報モラル教育について学ぶ授業力アップセミナー、初任者研修、GIGAスクール環境の利用講習会、ネットワークやセンターサーバの更新に伴う操作講習会などがある。さらに、これらに加えて各学校における校内研修や教員グループによる自主研修も盛んに行われている。

令和5年度は、小学校の教室に初めて電子黒板が導入されたため、こうした新しい機器を授業で活用するための訪問研修も行った。さらに、生成AIについては、その仕組みや利用する上での注意点について研修資料を作成し、各学校に配付した。こうした研修に合わせて、GIGAスクールアドバイザーによる、GIGAスクール環境の利活用やオンライン授業の実施方法、情報モラル指導、岡崎市プログラミング学習等の校内研修、管理職への相談活動等も引き続き実施し、学校の支援にあたっている。

■令和5年度実施研修

・授業力・教師力アップセミナー＜基礎編＞（学習情報部と連携）

【期日】7月21日（金）

【内容】授業支援クラウドの活用、プログラミング学習の実習

【講師】学習情報指導員

【人数】40名

【会場】羽根小学校

- ・授業力・教師力アップセミナー＜専門編＞
 - 【期日】 7月28日（金）
 - 【内容】 ICTを活用した模擬授業
 - 【講師】 学習情報指導員 太田尚志 鈴木広樹
 - 【人数】 約29名
 - 【会場】 福岡中学校
- ・授業力・教師力アップセミナー＜推進編＞
 - 【期日】 7月28日（金）
 - 【内容】 学習指導要領の趣旨に即した情報教育、学校教育と著作権
 - 【講師】 GIGAスクール戦略係長 村田貴志
 - 【人数】 約37名
 - 【会場】 岡崎市総合学習センター 研修室2
- ・初任者研修
 - 【期日】 8月1日（火）
 - 【内容】 ICTを活用した授業改革、情報モラル・セキュリティ、教材づくり
 - 【人数】 約100名
 - 【会場】 上地小学校
- ・現職研修委員会学習情報部主任研修
 - 【期日】 4月13日（木）、4月21日（金）、10月10日（火）、2月16日（金）
 - 【内容】 タブレット端末・授業支援クラウドの活用、生成AIの概要
 - 【人数】 のべ約270名
 - 【会場】 総合学習センター、各小中学校（Teamsによるオンライン開催）
- ・組織マネジメント研修（新任教務研修）
 - 【期日】 8月3日（木）
 - 【内容】 授業でのICT活用、校務でのICT活用、電子黒板について
 - 【講師】 GIGAスクール戦略係長 村田貴志 指導主事 杉坂和俊
 - 【人数】 23名
 - 【会場】 岡崎市総合学習センター 研修室1

■ICT機器及び校内LAN整備の現状

年度	授業用機器整備		校内LAN整備・校務用機器整備	
	小学校	中学校	小学校	中学校
9	PC教室に11台 配備完了			
10		PC教室に42台 配備完了		インターネット導入
11	井田小、藤川小のPC 教室に22台配備		インターネット導入	
13	PC教室に42台 配備(10校)		校内LAN整備工事 (10校)	

Ⅱ 学校教育

年度	授業用機器整備		校内 LAN 整備・校務用機器整備	
	小学校	中学校	小学校	中学校
14	PC 教室に 42 台 配備		校内 LAN 運用開始 (10 校)	
15		PC 教室の PC 更新 (18 校)		
16	PC 教室に 42 台 配備(2校)		校内 LAN 整備工事(3校) 〃 運用開始(3校)	
17			校内 LAN 整備工事(1校) 〃 運用開始(2校)	校内 LAN 整備工事(2校) 〃 運用開始(3校)
18	PC 教室の PC 更新 (10 校)			校内 LAN 整備工事(3校) 〃 運用開始(3校) 教職員用 PC 運用開始 (8校)
19	PC 教室の PC 更新		教職員の PC 配備	校内 LAN 整備工事(4校) 〃 運用開始(4校) 教職員用 PC 運用開始
20		PC 教室の PC 更新 (18 校)	校内 LAN 整備工事(2校) 〃 運用開始(2校) 教職員用 PC 運用開始 (13 校)	
21	PC 教室の PC 更新 (実施せず)	普通教室の PC 整備	校内 LAN 整備工事(8校) 〃 運用開始(8校) 教職員用 PC(20 校)	校内 LAN 整備工事(1校) 〃 運用開始(1校)
22	PC 教室の PC 更新 (8校)		校内 LAN 整備工事 (11 校) 地デジ対応工事(2校) 教職員用 PC 更新(2校)	校内 LAN 整備工事(4校) 改築による整備(1校) 教職員用 PC 更新(3校)
23			地デジ対応工事(1 校)	教職員用 PC 更新(11 校)
24	PC 教室の PC 更新 (20 校)		地デジ対応工事(1校) 教職員用 PC 更新(10 校)	地デジ対応工事(6校) 教職員用 PC 更新(6校)
25	PC 教室の PC 更新 (20 校)	翔南中 PC 教室設置 タブレット PC 導入 (3 校)	教職員用 PC 更新(15 校)	
26		PC 教室の PC 更新 (18 校) タブレット PC 導入 (20 校)	教職員用 PC 更新(20 校)	
27	普通教室の PC 整備 (47 校)	普通教室の PC 整備 (20 校)	教職員用 PC 更新(2 校) センターサーバ更新 新教育ネットワーク稼働	教職員用 PC 更新(3 校) センターサーバ更新 新教育ネットワーク稼働
28	PC 教室の PC 更新 (7校)	PC 教室の PC 更新 (1校)	校務支援システム導入	教職員用 PC 更新(11 校) 校務支援システム導入
29		タブレット PC 補充 (3 校)	校内 LAN 整備(5 校) 教職員用 PC 更新(10 校)	校内 LAN 整備(9 校) 教職員用 PC 更新(6 校)

Ⅱ 学校教育

年度	授業用機器整備		校内 LAN 整備・校務用機器整備	
	小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
30	タブレット端末(iPad)整備(47校) PC 教室の PC 更新(40校)	タブレット端末追加整備(3校)	校内 LAN 整備(14校) 教職員用 PC 更新(15校)	
R1		タブレット端末(iPad)整備(20校) 普通教室無線 LAN 環境の常設化(20校)	校内 LAN 整備(7校) 教職員用 PC 更新(20校) 校長用タブレット端末(iPad)配備	校長用タブレット端末(iPad)配備
R2	GIGA スクール構想 1人1台タブレット端末(iPad)整備 (47校) Microsoft アカウント配付	GIGA スクール構想 1人1台タブレット端末(iPad)整備 (20校) Microsoft アカウント配付	教職員用タブレット端末(iPad)整備(47校) 校内 LAN 整備(21校) Wi-Fi 常設化(47校) 教職員用 PC 更新(2校) センターサーバ更新・ネットワーク分離 Microsoft アカウント配付	教職員用タブレット端末(iPad)整備(20校) 校内 LAN 整備(11校) Wi-Fi 常設化(20校) 教職員用 PC 更新(3校) センターサーバ更新・ネットワーク分離 Microsoft アカウント配付
R3	オンライン配信用タブレット端末配備(再利用)	オンライン配信用タブレット端末配備(再利用)	SINET 接続(国実証事業)	SINET 接続(国実証事業) 教職員用 PC 更新(11校)
R4		電子黒板整備(20校)	教職員用 PC 更新(10校)	教職員用 PC 更新(6校) 地域 BWA ルータ整備(20校)
R5	電子黒板整備(47校) ※6年～4年教室 特別支援教室(一部)		地域 BWA ルータ整備(23校) 教職員用 PC 更新(15校)	

6 国際理解教育

(1) 中学生三大陸国際理解教育推進事業

未来を担う児童生徒に夢と希望をもたせ、広い視野にたって郷土の発展を考え、国際親善・交流を深めている。昭和 55 年から、姉妹都市（アメリカ・ニューポートビーチ市、中学生 6 名派遣）と友好都市（中国・呼和浩特市、中学生 7 名派遣）との間で学校訪問、ホームステイ等を入れながら、相互訪問の形式をとり、実施してきた。

さらに、平成 16 年度から、この 2 つの事業に加えて、もう一つの姉妹都市であるスウェーデンのウッデバラ市への訪問（中学生 6 名派遣）を始めた。

また、平成 18 年度から 3 年間に限って、旧額田町の交流事業として行ってきたマレーシア・クアラルンプール市への訪問（額田中学生 10 名派遣）を継続した。

平成 28 年度から、英語圏を中心とした「中学生三大陸国際理解教育推進業務」に発展させ、英語によるコミュニケーション能力の向上と異文化理解を図ることにした。ニューポートビーチ市とウッデバラ市に加え、平成 29 年度からオーストラリアのウィトルシー市への訪問を始め、平成 30 年度は、ウィトルシー市からの派遣団を受け入れた。令和元年度は、オーストラリアのウィトルシー市をメルボルン市に変更して、派遣団を送った。令和 2 年度以降は実施していない。

(2) 外国語指導助手派遣事業

外国語指導助手（A L T）を市内の小中学校へ派遣し、英語教育、国際理解教育の推進に役立てている。平成 2 年度夏から市独自で A L T を採用した。平成 25 年度から 20 名に、平成 30 年度から 23 名に、令和元年度から 32 名に増員し、英語教育の一層の充実を図る。

(3) 小学校英語支援員派遣事業

小学校において効果的な英語活動の授業が実施できるように、英語が堪能で小学校英語に理解のある地域の人材を小学校英語支援員として派遣している。平成 22 年度から 18 名に、平成 30 年度には 25 名に増員し、英語活動の授業で A L T や学級担任と協同授業をしたり、教材作りの補助をしたりする。

(4) 帰国・外国人児童生徒教育支援業務

ア 日本語初期指導教室（プレクラス）「希望」

令和元年度より、帰国・来日して間もなく、日本語をほとんど話せない中学生に対して、学校生活を送る上で最低限必要となる日本語と学校生活等のルールを教える日本語初期指導教室（プレクラス）「希望」を、南中学校内に開設した。令和２年度より、入級対象を小学４年生以上とし、室長１名、日本語教育講師２名（ポルトガル語、フィリピン語、各１名）に加え、副室長１名、指導員２名、日本語教育講師２名（ポルトガル語、中国語各１名）を増員した。

イ 日本語教育講師巡回訪問

市内小中学校に在籍する日本語教育が必要な外国籍の児童生徒を中心に、日本語教育講師を派遣し、担当教員と共に、日本語教育及び生活適応相談を行っている。現在、日本語教育講師７名（ポルトガル語４名、中国語１名、フィリピン語２名）が、市内拠点校を巡回訪問している。その他、保護者との個人懇談会などに通訳が必要な場合にも随時対応している。

■ 国籍別児童生徒数

（令和６年５月１日現在）

国 籍	児 童 生 徒 数 (人)	
	小 学 校	中 学 校
ブ ラ ジ ル	295	162
フ ィ リ ピ ン	116	45
中 国	93	38
そ の 他	125	166

7 特別支援教育

特別支援教育は、通常の学級に在籍する発達障がいのある子供への支援部会と特別支援学級に在籍する子供への支援部会がある。そして、それらを統合し、外部機関との連携を図る特別支援教育連携協議会を平成 17 年 8 月に設置した。

その連携協議会は、就学前から、卒業後まで、何らかの支援を必要とする子供たちへの具体的な支援を検討し、医療、福祉、労働、教育、行政の関係機関から代表者を募り、横の連携を図っている。また、校内教育支援委員会を立ち上げ、その運営の責任者として特別支援教育コーディネーターを全小中学校に配置している。関係機関との連携を図るとともに、発達障がい等のある子供への具体的な支援策を検討、実践し、評価している。

特別支援学級の教育を担当する部会は、日常の教育内容を研究する部門と交流及び共同学習を推進する部門と就学、進路指導に関わる部門などを内容としている。

(1) 教育支援

ア 教育支援委員会・教育相談会

教育支援委員会は、医師、教師、発達障がいの専門家などで構成されている。障がいのある児童・生徒や就学対象児の行動観察や面接、医師の診断、教育相談会などを通して、様々な角度から子供にとって必要な教育的支援の内容及び適切な就学先について、総合的に調査・審議を行っている。

イ 「そよかぜ相談室」

新入学児童の就学及び、通常の学級に在籍している子供に関して、不安や悩みを抱えている保護者を対象に、気軽に相談できる窓口「そよかぜ相談室」を開設している。悩みや不安の解消に効果を上げている。

(2) 中学校特別支援学級進路指導

ア 中学校特別支援学級進路指導部会

進路希望状況や進路希望先など様々な情報交換を行い、生徒の適切な進路先を決定する。

イ 施設見学会

生徒・保護者・担当教師が福祉事業所等への見学会に参加し、就労の状況を直接見ることで進路選択の正しい情報を得る。

(3) 子どもと親の集いブロック交流会

昭和 58 年度から開催されてきた「子どもと親の集い運動会」に代わり、平成 15 年度から市内小中学校を 10 数ブロックに分け、ブロック単位の「子どもと親の集いブロック交流会」を実施している。

令和 5 年度は 14 ブロックで、ゲーム大会、レクリエーション、運動会等、様々な内容の交流を行った。

■特別支援学級児童・生徒数

(令和 6 年 5 月 1 日現在)

	知的障がい	自閉症・ 情緒障がい	病弱・身体虚弱 (含院内)	弱視	難聴	言語 障がい	肢体 不自由	計
小学校	313	501	13	3	6	15	13	864
中学校	133	140	3	0	1	1	7	285

8 教職員の研修

(1) 令和6年度初任者研修（校外研修）年間計画

※ 第1回、第17回（開・閉講式）は新規採用事務職員も参加

回	月 日	曜	研修対象者	会 場	研修領域	内 容
1	4月10日	水	小学校初任者 中学校初任者新規採用 事務職員	総合学習センター 多目的ホール	基礎的素養	〔開講式〕 ・講話 ・教育公務員の服務について （不祥事防止） ・危機管理 （熱中症、感染症、アレルギー対策） ・接遇演習（教職員としての1日）
2	5月8日	水	小学校初任者 中学校初任者	総合学習センター 多目的ホール 教育図書室（見学） ハートピア上地 （見学）	生徒指導 基礎的素養 学級経営 教科指導	・生徒指導の実践Ⅰ（いじめ対応・防止） ・子供理解の基本Ⅰ（WEBQUの活用） ・学級づくりの基本（保護者対応含） ・授業づくりの基本
3	5月29日	水	小学校初任者 中学校初任者	総合学習センター 多目的ホール	基礎的素養 道徳 教科指導 基礎的素養	・子供理解の基本Ⅱ （子供の発達における支援） ・道徳の授業の進め方 ・個別最適な学びⅠ（チーム学習の基本） ・保健教育の実践、教員のメンタルヘル ス等
4	6月19日 6月26日	水 水	小学校初任者 中学校初任者	愛知教育大学 附属特別支援学校	基礎的素養	・特別支援教育の実践
5	7月23日 7月25日	火 木	小学校初任者 中学校初任者	総合学習センター 小ホール他 ハートピア上地	生徒指導	・生徒指導の実践Ⅱ（長期欠席等） 岡崎の教育支援に関わる組織的な取組 について 支援を要する子供への対応策について
6	7月23日 7月24日 8月2日	火 水 金	小学校初任者 中学校初任者	総合学習センター 市内小中学校 他	教科指導	・授業力アップセミナー【基礎編】 ・授業の進め方、教材研究等
7	7月30日	火	小学校初任者 中学校初任者	市内小中学校	基礎的素養 教科指導	・交通法規の遵守 ・教育研究の方法（論文執筆） ・ICTを活用した授業改善、情報モラル 教育、情報セキュリティ、デジタル教 材づくり
8 9	7月31日 8月1日	水 木	小学校初任者 中学校初任者	岡崎市 少年自然の家	特別活動	【野外活動】 野外炊飯、ファイヤー実習、カヌー指 導法、落ち葉スキー、フィールドアス レチック、クラフト、テント設営等

Ⅱ 学校教育

回	月 日	曜	研修対象者	会 場	研修領域	内 容
10	8 月 29 日	木	小学校初任者 中学校初任者	市内小中学校 市内各教育施設 他	教科指導	・実践研究発表と研究協議
11	9 月 25 日	水	小学校初任者 中学校初任者	総合学習センター 多目的ホール	キャリア教育 教科指導	・個別最適な学びⅡ (チーム学習の進め方) ・授業分析の方法
12	10 月 23 日	水	小学校初任者 中学校初任者	六ツ美北中学校 (研究発表会)	教科指導	・教科学習の進め方 (模範授業参観)
13	10 月 30 日	水	小学校初任者 中学校初任者	根石小学校 (研究発表会)	教科指導	・教科学習の進め方 (模範授業参観)
14	11 月 6 日	水	小学校初任者 中学校初任者	美合小学校 (研究発表会)	教科指導	・教科学習の進め方 (模範授業参観)
15	1 月 15 日	水	小学校初任者 中学校初任者	総合学習センター 多目的ホール	教科指導 生徒指導	・総合的な学習の時間の進め方 (STEAM教育等) ・キャリア教育の進め方
16	1 月 22 日	水	小学校初任者	市内小学校 2校	教科指導 (代表授業参観)	・小学校 初任者研究授業, 授業分析
			中学校初任者	市内中学校 1校		・中学校 初任者研修授業, 授業分析
17	2 月 12 日	水	小学校初任者 中学校初任者新規採用 事務職員	総合学習センター 多目的ホール 研修1～4	基礎的素養	・1年間を振り返って (グループ協議) [閉講式] ・挨拶 ・初任者代表挨拶

(2) 令和6年度中堅教諭等資質向上研修【Ⅰ】(校外研修) 年間計画

月日	曜	対象	時間	会場	領域	内容
5月22日	水	小中学校教諭 養護教諭① 5・10年経験者	15:00	総合学習 センター	共通研修	・開講式 ・講義「中堅教員の役割」 教育の今日的課題 マネジメント 危機管理等
6月から1月 (1日間)		小中学校教諭 養護教諭② 5・10年経験者	終日	異校種 各学校	異校種 体験研修	・異校種の授業に参加 ・研究協議会等に参加 ・生徒指導や教科指導に関する 研修
7月23日 7月24日 7月26日 7月30日 7月31日 8月2日 (いずれか1日)	火 水 金 火 水 金	小中学校教諭 養護教諭③ 5・10年経験者	9:00 13:30	各会場	選択研修	・授業力・教師力アップセミナー での受講(1講座) ※5年経験者は【基礎編】 10年経験者は【専門編】
8月29日	木	小中学校教諭 養護教諭④ 5・10年経験者	13:45	教育研究 大会会場	教科指導 研修	・実践研究発表と協議
1月29日	水	小中学校教諭 養護教諭⑤ 5・10年経験者	15:00	総合学習 センター	生徒指導 研修	・生徒指導総括講話 ・閉講式

Ⅱ 学校教育

(3) 授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【専門編】【推進編】

及びブラッシュアップ研修

7月下旬から8月上旬に実施する。令和5年度から、【基礎編】、【専門編】、【推進編】を階層的に位置付け、段階的に授業力・教師力を高められるようにしている。また、ブラッシュアップ研修は、21年目から教員経験年数により決められた研修を受講するようにし、教員の力量向上を図る。なお、対象者を以下の通りとする。

【基礎編】	1～10年目、(必修) 初任者研修対象者 (必修) 教員3年目研修対象者、 (必修) 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者(5年経験者)
【専門編】	7～20年目 (必修) 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者(10年経験者)
【推進編】	12年目～
ブラッシュアップ研修	21年目～
	研修A 20年経験者、30年経験者、40年経験者
	研修B 22年経験者、32年経験者、42年経験者
	研修C 24年経験者、34年経験者
	研修D 26年経験者、36年経験者
	研修E 28年経験者、38年経験者

■ 基礎編

(令和6年実施内容)

番	研修名	会 場	内 容
1	保健	総合学習センター 多目的ホール1	○「生と性」について、子供と語り合える先生になりませんか ◇実習：何から話す?!「生と性」の話の導入例の紹介 (保健教育、生活科、理科、家庭科などの導入に おすすめ) ◇講義：「包括的性教育」ってなに?～いろんな場面で性教育!～ ◇グループワーク：なにやる?どうする?「いのちの教育」
2	特別支援	総合学習センター 多目的ホール2・3	○お悩み解決!発達特性をもつ子供との関わり方 ◇講義：子供の障がい特性の理解と特性に応じた支援方法 ◇模擬体験：子供の障がい特性の理解 ○初めてでもできる!特別支援教育における授業づくり ◇講義：実践発表から学ぶ 授業をつくるための基礎・基本 ◇実習：子供の実態から考える 特別支援教育の授業づくり
3	理科	総合学習センター 研修室1・2	○理科の授業の流れを完全習得!～自信をもって問題追究学習にトライ!～ ◇講義：理科授業を進める上での基礎・基本 ○安心・安全・前向きに 2学期に向けて観察・実験の準備はバッチリ! ◇実習：教科書に紹介されている観察・実験の進め方 <小学校> ○理科室、理科準備室で発見!子供の目が輝く観察・実験 <中学校> ○子供の関心を高める、子供が問題意識をもつ導入実験&教材
4	音楽	六ツ美西部小学校 第1音楽室	○授業で使う楽器の基本、これではっちり!演奏法と教え方 ◇打楽器、鍵盤ハーモニカ、リコーダーの演奏法と指導法を解説 ◇実習：グループでアンサンブルを楽しもう!
5	学習情報	福岡中学校 普通教室	○実習：これではっちり!情報モラル教育の授業づくり ○実習：教育用ドローン、授業にどう生かす? ○講義：「学校と著作権～そのイラスト、通信に載せて大丈夫ですか?～」
6	英語 <中学校>	総合学習センター 多目的ホール1	○子供に委ねる授業展開とは ◇言語活動を軸に進める普段の授業づくり ◇内容理解を深める音読、文脈を生かした文型練習、思考・判断・表現するパフ ォーマンステスト ○相談しよう!そうしよう!～英語科のチーム学習、ICTの活用、個別支援、Our City Okazakiの活用～
7	外国語 <小学校>	総合学習センター 多目的ホール3	○ひと工夫で子供の話す力が高まる!～よくある活動を取り上げて～ ◇場面設定が伝わる導入、即興性のあるコミュニケーション活動、思考・判断・ 表現するパフォーマンステスト ◇チームでの模擬授業体験 ○相談しよう!そうしよう!～日頃のお悩み・困り事相談会～
8	社会	小久井農場	○これでバッチリ!学びのある見学活動に! ◇講義：見学のねらいを見据えた事前指導のポイント ○小久井農場へ行こう! ◇フィールドワーク：小久井農場で本物の「人・もの・こと」との出会い ○あなたもできる!～子供が新たな価値観に気付く授業～ ◇講義：見学後の学習のポイントと子供が授業のねらいに迫る指導のコツ ◇グループワーク：子供が意欲的に取り組む見学のまとめ方

9	体育・保健体育	岡崎中央総合公園 武道館	○「もっとやりたい」を引き出す！～ゲームで創る授業の展開～ ◇実践例の紹介と実技実習 ○「運動量」と「振り返りの時間」をどう確保する？～体育授業のタイムマネジメント～ ◇実践例の紹介と模擬授業
10	国語・書写・図書館	総合学習センター 多目的ホール、研修室2	【国語】 ○もう困らない！文学的文章の基礎・基本【小・中 選択制】 ◇講義：文学的文章における授業づくりの基礎・基本 ◇実習：2学期の授業に向けての教材研究 【図書館】 ○やってみよう！読書指導のアイデア紹介とグループワーク ◇講義：読書の導入的な指導 ◇実習：読書の進め方、委員会活動活性化等のアイデアあります～ ◇実習：グループでお勧めの本を紹介し合おう 【書写】 ○これでばっちり！書写授業のポイントまるわかり ◇講義：書写授業づくりの基礎・基本 ◇実習：硬筆と毛筆の実技指導の実践
11	総合	総合学習センター 研修室1	○子供の主体的な姿を引き出す総合的な学習の実践とは？ ◇優秀論文を執筆された先生に学ぶ（講義） ○実践中に困ったら…そんなときの助っ人紹介！ ◇SDGsに関わる実践で役立つ講話と、出前授業の紹介（講義） ○この後どうしよう？これでいいのかな？…みんなのアイデア大募集！ ◇各校における実践経過発表とお悩み相談会（グループワーク）
12	特別活動	総合学習センター 研修室5	○特別活動で学級が変わる！ ◇講義：特別活動の意義と実践事例、キャリア教育について ◇グループワーク：体験・親密な人間関係づくりゲーム ○やってみよう！学級会 ◇講義：基本的な学級会の進め方、合意形成の仕方を学ぼう ◇模擬体験：役割分担をして学級会を体験しよう
13	算数・数学	総合学習センター 多目的ホール	○これですっきり!!算数・数学科の授業の疑問を解決 ◇教科書指導書朱註編、板書ブックのここに注目 ◇子供が主体的に動き出す授業づくり、基礎・基本に関する講義 ○授業をつくってみよう!! ◇共通の題材をもとに、参加者が実際に授業づくりを体験 ○ちょっとした工夫で授業が変わる!! ◇『アイデア集』『基礎学力調査』を利用した授業実践の紹介
14	道徳	総合学習センター 小ホール	○明日の道徳授業に使える！～道徳授業の基礎・基本～ ◇模擬授業を体験！役割演技をとねらいに迫る！ ◇実習：模擬授業から考える、自分事として考える授業展開とは ◇講義：さあ道徳授業を始めよう！道徳授業の基礎・基本
15	図画工作・美術	総合学習センター 研修室1・2	○これで安心！水彩画の指導 ◇水彩画の実技演習と指導方法の基礎・基本を解説 ○夢中になる！作品鑑賞&題材アイデア ◇作品鑑賞体験と互いの題材アイデア紹介（グループワーク）
16	生徒指導	総合学習センター 研修室5	○多様化する子供の思いに寄り添う、生徒支援の基礎・基本 ◇講義：生徒指導提要から読み取る児童生徒支援の在り方 ◇実習：「こんな時どうする？」学校で起きる問題行動の支援と対応 ◇講義：校内フリースクール（F組）、校内教育支援センターの取組からみる一人一人の居場所づくり
17	生活	根石小学校 理科室	○子供の「やりたい」「調べたい」があふれた！生活科の授業のはじめの一步 ◇「すぐにやってみよう」2学期以降の授業で活用できる教材・教具の紹介【制作実習】 ◇「まずはここから」子供の思いや願いを実現する授業づくりのポイント（生活科におけるチーム学習の進め方等）【模擬授業形式実習】
18	技術（【専門編】含む）	常磐中学校 パソコン室	○あなたもできる！～学びを高める技術の授業～ ◇講義：技術の授業における指導と評価の一体化、ICTの活用 ○安全・安心で便利な機械の使い方とメンテナンス ◇講義：木工室、金工室の機械の使い方とメンテナンス ○双方向性のコンテンツプログラミングはこれでバッチリ ◇実習：プロログ技術を使ったプログラミングの授業
19	家庭	常磐中学校 家庭科室	○だれでもできる！ミシンの基礎・基本 ◇講義：ミシンの基本操作から、子供がつまずきやすいポイントをおさえた指導法 講師：（株）ジャノメ 東海営業所所長 豊永 明 様 ◇実習：折り方ひとつでデザインが変わる！ポケットティッシュカバーの製作

■【専門編】

（令和6年度実施内容）

番	研修名	会 場	内 容
1	生活	総合学習センター 小ホール	○実践例に学ぶ！子供の気付きの質を高める生活科の授業づくり ◇「こんな授業をやってみよう」実践発表から単元づくりのポイントを学ぶ ・気付きの質を高める教師支援について（講義・討議） ・活動や体験の重視した授業を実現するための各校の取組について（意見交換） ◇「これからの生活科授業とは？」 - 愛知教育大学教授 加納 誠司先生に学ぶ（講義）
2	保健	総合学習センター 研修室2	○もっと知りたい！アレルギー対応 そのときあなたはどのようにしますか？ ◇アレルギー対応とは（グループワーク） ◇専門家から学ぶ、アレルギー概要から最新の医学情報まで（講義） ◇専門家に聞く！効果的な校内シミュレーション訓練（実技実習）

Ⅱ 学校教育

3	理科	自然科学研究機構 分子研・基生研・生理研	○ものづくり単元で使える実験実習（第134回国研セミナーを兼ねる） ○日本の最先端科学を支える施設の見学 ◇生理学研究所研究室、基礎生物学研究所リソースセンター等（予定） ○2学期の授業で使える！学習指導案づくり（グループワーク）
4	社会	総合学習センター 多目的ホール1	○子供が前のめりになる授業づくり ◇講義：「新たな価値観」に気付く子供の姿とは？ ◇実習：チーム形態で議論、授業のねらいに迫るための教師の出とは ○実際の授業で学ぶ！2学期の授業もこれでバッチリ！！ ◇先行実践の視聴：実際の授業映像や授業記録、板書から優れた授業のポイント - を学ぶ ◇グループワーク：「授業のターニングポイントはここ！私ならこうする！」 - チームで子供にとっての「新たな価値観」を導き出す
5	総合	総合学習センター 多目的ホール3	○どうする？どうなる？これからの総合的な学習の時間 ◇中京大学教授 久野弘幸先生に学ぶ 総合的な学習の時間における今後の展望（講義） ○STEAM教育について考えよう！ ◇STEAM教育って何？（講義＋グループワーク） ◇市内研究校から学ぶSTEAM教育の進め方（実習＋グループワーク）
6	生徒指導	総合学習センター 研修室1	○専門家が教えます！「児童生徒の特性や状況の的確な捉え方と長期欠席未然防止」（講義・協議） ○「新たな一人をつくらない」学校・保護者・関係機関との組織的・継続的な連携に関する講義と実習
7	道徳	総合学習センター 研修室2	○子供が本音で話し合う！考え議論する道徳科の授業づくり ◇講義：道徳科の本質を踏まえた発問づくり - 思考ツールで子供の考えを見える化 ◇実習：グループワークで授業展開を考える ○こんな授業もあります！道徳科授業の実践紹介
8	体育・ 保健体育	岡崎中央総合公園 武道館・第1・2会議室	○「球技-ゴール型-」で、子供をどう育て、どう評価するか ◇教師支援と評価基準の検討（グループワーク） ○「さっと書ける、次につながる」を実現！～振り返り活動の充実～ ◇振り返り活動に特化した模擬授業とアイデアの共有
9	学習情報	福岡中学校 普通教室	○個別最適な学びをめざして ◇一斉授業から脱却するためのICTの活用（模擬授業） ◇思考を可視化するためのICTの活用（模擬授業）
10	算数・ 数学	総合学習センター 多目的ホール3	○求められる「メタ認知」の育成 ◇講義：「メタ認知」って何？なぜ必要とされているのか？ 「算数・数学科」におけるメタ認知の育成について - 書かせるだけでは意味がない！「学習の振り返り」の - 効果的な活用とは？ ◇実習：やってみよう！メタ認知の育成を促す教師支援！（グループワーク）
11	特別支援	総合学習センター 多目的ホール1・2	○専門家による発達特性をかかえる子供の理解と個に応じた支援の在り方について（講義・協議） ○子供の「できた」が増える！特別支援教育の自立活動 ◇講義：自立活動とは何だろうか ◇実習：自立活動6区分27項目から考える授業の組み立て方
12	特別活動	総合学習センター 研修室1	○よりよい学級づくりに向けて ◇講義：効果的な特別活動とは？、学級会における教師の出はここ！ - 模擬体験：実際に学級会をやってみよう ○キャリア教育の要としての特別活動とは？ ◇講義：キャリア教育とは？進め方と心構えについて ◇グループ協議：事例案からキャリア教育について考えよう
13	図画工作・ 美術	少年自然の家	○目からうろこ！材料の特性を生かした題材づくり ◇題材づくりのアイデアや教材研究の進め方に関する講義と実技実習
14	音楽	矢作北小学校 音楽室	○和楽器を知る・奏でる～三味線～ ◇日本の伝統楽器・三味線に関わる知識や奏法についての講義と実習 - 講師：小唄 小六派 三代目家元 小六悦朗 先生
15	国語・書写・ 図書館	総合学習センター 多目的ホール、小ホール	○子供が輝く！文学的文章の授業づくり【小・中 選択制】 【小学校】 ◇講義：ここを押さえる！文学的文章の授業のツボ ◇実習：2学期に向けての教材研究と授業計画 【中学校】 ◇講義：教材の魅力を生かした授業づくりとは？ ◇実習：2学期に向けての教材研究と授業計画 【図書館】 ○情報を使う力と読書力を培う！調べ学習や教科学習における図書活用のアイデア紹介と実習 ◇講義：読書の調べ学習・考える読書を推進するための指導ポイント ◇実習：絵本の絵を読む？テーマ読書って？～「考える読書」に挑戦しよう～
16	外国語	総合学習センター 研修室1	○子供の話す力を高める単元構想～基本から一歩進んだ言語活動～ ◇メモを基に話す活動、タブレット端末の活用、視覚教材の作り方 ○デジタル教科書の活用術 ○Let's Try!～2学期の授業を見通す～
17	英語	総合学習センター 研修室2	○英語で進める授業づくり～誰一人取り残さない工夫と技～ ◇意思の疎通が停滞したときの打開策 ◇タスクを取り入れた言語活動 ○意見交換会～GCTにおける英語科教師の役割～
18	家庭	愛宕小学校 家庭科室	○地元の伝統を取り入れた題材構想と作品作り ◇講義：子供の達成感・思いを引き出す授業づくりと - 家庭科で身に付けさせたい力 ◇実習：手縫いでできるコサージュの製作 ～はぎれを捨てない伝統を取り入れた作品作り～ - 講師：愛宕小学校 教頭 後藤尚美先生

■【推進編】

(令和6年度実施内容)

番	研修名	会 場	内 容
1	授業指導 研修	総合学習センター 小ホール	○授業改善のリーダーとしての心構えの講話 ○授業づくり指導の視点(実践例より)の講義と実習 ○学習指導上の課題把握と授業改善(具体例より) ○教員チームでの授業改善に関する講義
2	生徒指導 推進研修	総合学習センター 小ホール	○生徒指導提要の理解や生徒指導提要を踏まえたシニアリーダーとしての役割の講義 ○いじめ・長期欠席等の未然防止に関する意見交換 ○いじめ・長期欠席等の未然防止策の作成
3	日本語教育 推進研修	総合学習センター 研修室2	○日本語教育から多様性教育(ダイバーシティ教育)の重要性を考える講義 ○データバンクとしての日本語初期指導教室の活用方法の紹介実習 ○誰にでも理解できる「やさしい日本語」のお便りの作成実習 ○外国に由来をもつ児童生徒によりよい学習の場を作るにはの討議
4	特別支援教育 推進研修	総合学習センター 多目的ホール1・2	○学校における特別支援教育の推進についての講義と実習 ○校内特別支援教育委員会・校内特別支援委員会の運営についての講義と実習 ○特別支援教育コーディネーターの役割についての講義と実習
5	研究推進研修	総合学習センター 多目的ホール3	○学校全体で進める研究の意義、研究主任の役割・心構えの講話 ○研究理論(目指す子ども像、研究主題、研究仮説、研究の手だて等)の作り方の講話 ○研究推進を通し、組織的な実践の進め方の講話、意見交換 ○研究実践事例の紹介 ○研究推進における不安や悩み、課題等に関する意見交換
6	保健・衛生・ 食育推進研修	総合学習センター 研修室2	○心と体を育む健康教育に関する講義と実習(ライフスキル教育を中心に) ○健康教育の推進に向けた連携に関する講義 ○組織的・継続的な健康教育の実施に関する意見交換
7	ICT・ プログラミング教育 推進研修	総合学習センター ICT室	○学習指導要領から読み解く、今学校に求められている情報教育についての講義 ○シニアリーダーとして知っておきたい著作権・生成AIについての講義と実習 ○情報活用能力の育成を目指したカリキュラム・マネジメントについての講義と実習
8	道徳教育 推進研修	総合学習センター 多目的ホール1	○道徳科の授業を指導する際の留意点についての講義と実習 ○具体例をもとにした学習展開上の課題把握と改善についての講義と実習 ○道徳教育推進についての困り感に関する話し合い
9	学年経営 推進研修	総合学習センター 研修室1	○学年、教科の授業改善をリードするための心構えの講義と意見交換 ○経験の浅い教職員をどう育てるか、また学年経営にどう生かすかの講義と意見交換 ○学校運営に参画するための不安や悩み、課題等の意見交換 ○2学期からの学年経営計画書の作成
10	学習評価研修	総合学習センター 研修室2	○学びを高める岡崎の子供たちのために「指導と評価の一体化」 (講義と質疑応答) ○何のために評価を行うのか(評価の魅力・価値・必要性)(グループワーク) ○子供も保護者も納得する評価とは(ロールプレイ) ○教師と子供、それぞれのPDCA(グループワーク) ○子供の学びをつなぐ、組織的かつ計画的な指導改善と教育課程や学習・指導方法の改善(意見交流)

■ブラッシュアップ研修

(令和6年度実施内容)

番	研修名	会 場	内 容
A	子どもの発達や 生活の変化を踏 まえた課題	総合学習センター 多目的ホール3	○子どもの発達に関する脳科学と心理学についての講義 ◇脳のはたらきと心の育ち ◇発達障害児の理解と対応 ○子どもの生活の変化を踏まえた指導上の課題についての意見交換 ◇学校・園の抱える諸課題 ◇諸課題を予防する生徒指導 ◇カウンセリングマインド
B	国の教育政策 や世界の教育 の動向	総合学習センター 多目的ホール1	○中央教育審議会の動向(最新諮問と答申)と「令和の日本型学校教育」についての講義 ○第4期「教育振興基本計画」に関する協議と今後の「岡崎の教育」はどうあるべきかの意見交換 ○海外のICTを中心とした「教育事情」の講義と「岡崎版GIGAスクール構想」の今後についての協議
C	学習指導要領の 改訂の動向等	総合学習センター 多目的ホール3	○学習指導要領の改訂の動向に関する講義および、持参した学習指導案の見直しと、それに基にした話し合い ○今後、どのような授業をつくっていかたいかのレポート作成と発表
D	学校における危 機管理上の課題	総合学習センター 研修室1	○学校における危機管理上の課題や危機管理のあり方に関する講義 ○どの学校でも起こり得る危機の事例や場面をもとに、危機管理ポイントや対応の仕方についての意見交換
E	ICT研修	総合学習センター 小ホール	○岡崎市が進めるGIGAスクール戦略についての講義 ○GIGAスクール環境を生かした授業のアイデアの紹介、グループ討議 ○電子黒板で「協働的な学び」を支援する授業づくりの実習

(4) 小学校教育諭免許状取得研修

小学校教育諭免許状取得研修は令和5年度より廃止となった。

Ⅱ 学校教育

なお、学校の管理職においては、中学校教員の資質の向上及び円滑な小中学校の人事交流に資するため、大学の通信課程を活用するなどにより小学校教諭 2 種免許状を取得できるよう各教員に呼びかけ等を行う。

(5) 現職研修事業

現職研修を推進し教職員の資質の向上に努めることを目的として、各小中学校でさまざまな取組が学校独自の年間計画のもとに行われる。計画とその結果は年度の初めと終わりにそれぞれ市教育委員会に報告される。事業内容には教職員に対する研修や研究発表に係わる活動及び研究成果のまとめ等がある。

(6) 新任教師の集い

次年度の新任教师が集い、1 年目の教師が企画・運営する諸活動を通じて 4 月からの教育活動に生かす。研修内容は教師としての基礎・基本を学ぶための、学級開きの心得、授業の基礎・基本、板書の仕方、タブレットの活用法の他、先輩の体験談やフリートークなどがある。

(7) 中堅教諭等資質向上研修

令和 3 年度より愛知県が主催する研修の大幅な見直しが行われたことに伴い、これまでの「10 年経験者研修」を「中堅教諭等資質向上研修」と改めた。

中堅教諭等資質向上研修は在職期間が 5 年または 10 年を経過した全教員を対象に、教育公務員特例法第 24 条に基づき、現職研修の一環として研修を実施し、教員の資質向上と使命感を養うと共に、専門性の向上、得意分野の伸長を図ることを目的として、研修を行う。

(8) 岡崎市教員免許状更新講習

教員免許更新制は、平成 21 年度から導入された国の制度である。

平成 22 年度から、岡崎市の教員免許状更新講習受講対象者に、教員として必要な資質能力が保持されるよう、最新の教育について知識や技能を習得させることを目的とし、岡崎市独自の講習を開設していた。令和 4 年 7 月 1 日に教員免許更新制が発展的解消されたことに伴い、岡崎市教員免許状更新講習を廃止とした。

9 教育委員会特別委員会

市の計画に基づく委託事業等を円滑に企画・運営するために、教育委員会特別委員会が設置されている。それぞれの会の委員は各小中学校の校長・教頭・教諭によって組織され、委員の選出に当たっては、他の会の委員との重複を避け、同じ学校の職員に偏ることがないように配慮されている。

■特別委員会

委 員 会 名	活 動 内 容	委員数
月報「岡崎の教育」 編集委員会	・ 6 班編成の取材・編集 ・ 「岡崎の教育」 毎月配付 (PDF データ) ・ 月 1 回の定例編集会議 ・ 年一回市民への回覧 ・ 教育関係諸機関への送付	32 名
教職員の研修検討委員会 「教員研修 OK ポータル」	・ 「教員研修 OK ポータル」の編集発行 (ダウンロード版を含む) ・ ダウンロードの仕方や使用方法、活用方法の周知	5 名
教職員の研修検討委員会 「新任教師の集い企画・運営」	・ 「新任教師の集い」の企画運営	5 名
教職員の研修検討委員会 「新たな教師の学び」	・ 授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【専門編】【推進編】、ブラッシュアップ研修に向けた準備と運営 ・ 新たな教師の学びに向けた調査研究	7 名
新しい学校デザイン推進委員会 「教職員の意識調査」	・ 働き方改革を推進する取組の実態把握と最新の動向把握	6 名
特色ある学校づくり推進委員会 「コミュニティ・スクール」	・ コミュニティ・スクール導入に向けた調査研究 ・ コミュニティ・スクールの理解促進	6 名
特色ある学校づくり推進委員会 「未来型の教育」	・ 「未来型の教育」の具体的な事例やポイントの提示 ・ 市内全校が参加できるオンライン授業の企画、運営	7 名
部活動地域移行検討委員会	・ ブロック部活動実施状況の把握及び成果・課題の周知 ・ 子供や教員の部活動地域移行に関する意識調査の実施	13 名
S D G s 推進委員会	・ 各校での S D G s の推進についての研究	7 名
I C T 教育推進委員会	・ 「岡崎市プログラミング学習モデルカリキュラム」の改定 ・ タブレット端末活用状況の調査と評価	12 名
郷土読本編集委員会	・ 小学校向け「おかざき」3 年 4 年 6 年・中学校向け「岡崎」の改訂	10 名
授業改善委員会 「教育課程研究」	・ 小学校の教科書改訂に合わせた、年間カリキュラムの改訂 ・ 中学校の教科書改訂に合わせた、年間学習計画の改訂	8 名
補助教材検討委員会	・ 公費負担補助教材の検討	5 名
英語が話せる おかざきっ子研究委員会	・ 小学校英語動画 (OK English) の改訂	12 名
いのちの教育推進委員会	・ 「いのち」を大切にできる子供の育成に向けた実践研究 ・ 「S O S の出し方」教育等の研究、発信	6 名
教職員の倫理観向上委員会	・ 教職員の不祥事防止のための研修計画の作成と資料提供	6 名

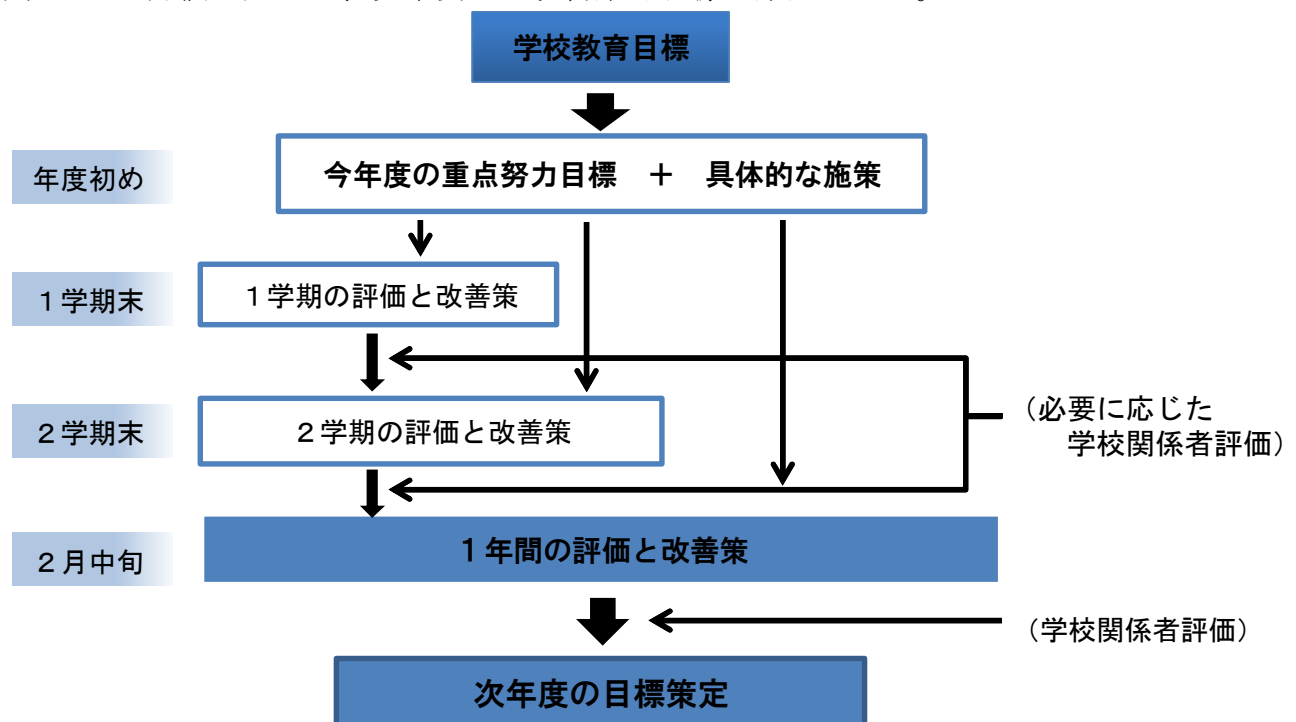
Ⅱ 学校教育

■その他の関係委員会等

委 員 会 名	活 動 内 容	委員数
教育支援委員会	・年長児保護者対象就学説明会 ・「そよかぜ相談」による就学相談 ・教育支援（就学指導）委員会の開催 ・教育相談員による教育相談	23 名
特別支援教育 連携協議会	・特別な支援を必要とする子供について、教育、医療、福祉、労働などの関係諸機関の連携を図る会を開催 ・「みどりファイル」を軸に連携のあり方を検討	23 名
岡崎市いじめ問題 対策連絡協議会	いじめの防止等に関係する機関及び団体との連携、その他、いじめの防止等のための対策を推進するために必要な事項に関する情報交換、連絡及び協議	10 名
岡崎市長期欠席等 対策連絡協議会	長期欠席の未然防止と初期対応をはじめとした児童生徒への指導の適正化を図り、将来的な社会的自立を実現するための効果的な対応を検討	19 名
アレルギー対応検討 懇談会	医師・学校関係者で、学校におけるアレルギー対応について必要な事項を検討	11 名
学校事務共同実施 運営委員会	共同学校事務室において事務を円滑に実施するため、学校事務と共同実施の支援、ブロック間の調整のための情報交換及び協議	12 名

10 学校評価（学校経営評価）

岡崎市立の小中学校を対象に、学校評価は実施されている。年度ごとに教育目標を設定し、その成果を評価することで、教育内容の質の向上を図ることを目的としている。各小中学校では、年度初めに、学校教育目標を基本として、重点努力目標が策定される。同時に、目標達成のための具体的な施策が策定され、学校関係者評価委員会に対して説明されるとともに、市教育委員会に報告される。1学期末と2学期末は、それぞれの学期における目標の達成状況について、校長の教員評価（学校経営評価）が行われる。また、学校関係者評価委員会は、授業や学校行事の参観、教職員や児童生徒との対話を行い、中間評価を実施することもある。3学期には、各小中学校長を中心として、全職員が、「教育活動診断票」に基づき保護者や児童・生徒による外部アンケートを実施し、成果の見られた点や反省点を洗い出すとともに、自己評価を実施する。そして、自己評価の結果及び今後の改善方策についてまとめた上で、学校関係者による評価を実施し、次年度への改善策や目標が策定される。



■学校関係者評価委員会

市内 67 校に設置される。委員会は、各小中学校長・学校評議員 5 名以内（学区有識者、社会教育委員代表、民生児童委員代表、PTA の代表等）、担当教諭 1 名、児童生徒の代表（各校 10 名程度）、その他委員長が必要と認める者で構成され、学校の教育活動に対して、地域や保護者だけでなく、子供の声を取り入れることができる組織作りがなされている。

学校評議員は、校長の求めに応じて、学校運営に関し、意見を述べる。

学校関係者評価委員会は、1 年間に 3 回開催される。1 学期は、各小中学校長が、教育方針、目指す子供像、重点努力目標等を学校評議員に説明する。2 学期は、学校の様子などについて、子供と学校評議員を交えて話し合う。3 学期は、学校評議員による学校関係者評価を行う。

11 開かれた学校づくり

(1) 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携

幼稚園等の「遊び」を通して学ぶ、幼児期の教育活動から、教科学習が中心の小学校の教育活動への円滑な移行を目指し、交流や連携（情報の連携・行動の連携）をさらに一層深めることが求められている。

ア 交流・連携推進の目的

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を幼保小で共通認識し、その視点をもって、子供たちに様々な気付きや思いやりの心を育む。
- ・幼児・児童の発達段階を学習することで、教師の子供理解を高める。
- ・幼小の滑らかなカリキュラムの連携を推進する。
- ・小学校入学当初における生活科を中心とした「スタートカリキュラム」を充実させ、小1プロブレムを乗り越える力を身につけさせ、小学校生活への適応を円滑にする。

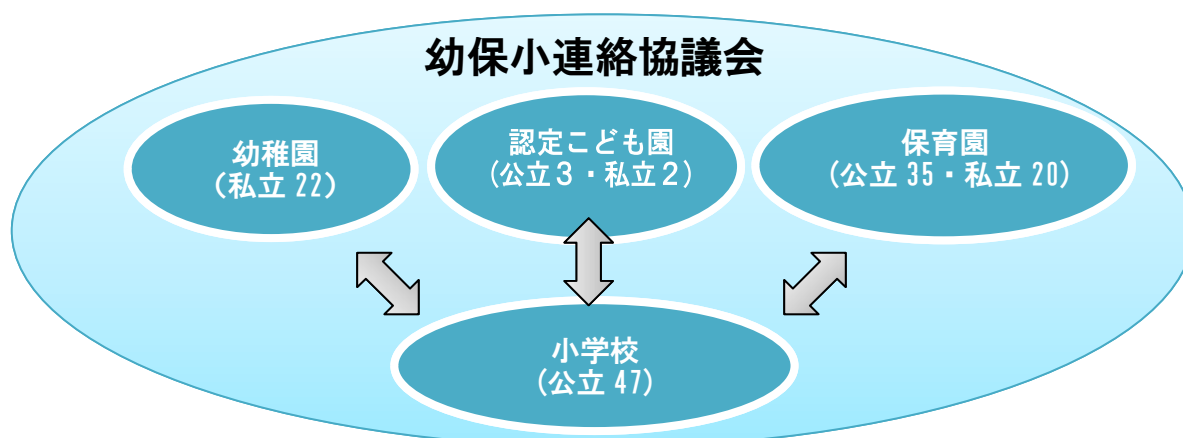
イ 組織的・計画的な取組

岡崎市幼保小連絡協議会を年4回開催する。第3回の拡大会議については、全小学校と、幼稚園・保育園・認定こども園の担当者が参加し、連携活動を推進する。

(2) 岡崎市幼保小連絡協議会

ア 活動の概要

平成17年度、岡崎市教育委員会と岡崎市福祉保健部が中心となり、岡崎市幼保小連絡協議会〈準備会〉を立ち上げ、平成18年度は、それをさらに充実し、正式に発足した。平成21年度からは、会の事務局を岡崎市教育委員会学校指導課とこども部に置き、事業にあたっている。



この協議会は、岡崎市の幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校が、それぞれの教育の独自性と連続性を理解し合いながら、交流や連携を図ることにより、子供の生きる力を伸ばし、すこやかな育ちを支えることを目的とする。

イ 主な取組

- (ア) 各幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の交流や連携の推進
- (イ) 各幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の交流や連携の実態把握と分析
- (ウ) 講演会・研修会等の啓発活動
- (エ) 関係諸機関との連携

ウ 組織の構成員

- (ア) 学識経験者
- (イ) 岡崎市小学校長会の代表者
- (ウ) 岡崎市私立保育園の代表者
- (エ) 岡崎市公立園長会の代表者
- (オ) 岡崎市私立保育園長会の代表者
- (カ) 小学校教諭、私立幼稚園教諭、認定子ども園教諭、私立保育園保育士、公立園保育教諭または保育士

子供たちが豊かな心を育み、健やかに成長するためには、家庭・地域社会との連携もさることながら、学校間の連携（相互交流）も不可欠である。

幼児教育から義務教育の9年間を見通しての幼保小間の連携教育は、一人一人の子供の特性を理解し、発達段階に応じたきめ細かな指導に取り組むことが可能で、その効果も大きい。また、幼保小間の連携は、子供たちの「他を思いやる心」や「自立心」の育成に大いに役立っている。

子供の健全育成に向け、地域や家庭を基盤にした市民総参加による子育てのネットワーク化を図るとともに、幼保小の教師の共通理解のもと、授業参観や行事参観等を通して様々な異年齢交流を展開している。

(3) 中学校区児童生徒健全育成協議会

中学校区児童生徒健全育成協議会は、中学校区のPTAが中心となり、関係諸団体との密接な連携を深め、児童生徒の健全育成を推進するために平成13年度に組織づくりが開始された。小学校、中学校及び関係諸団体と連携を密にして運営することにより、小中一貫した生徒指導と児童生徒及び学区住民の防犯に対する意識高揚を図った。平成15年度には15中学区で組織化された。その後、携帯電話の普及等による問題行動の広域化や変質者被害の多発等を踏まえて、市内全中学校区の校長と地域の代表が集まる情報交換会を2回開催した。平成16年度は、市内の全ての中学校区で組織化を図り、その代表者と校長を集めて、中学校区児童生徒健全育成連合協議会が発足した。平成18年度は、全国で起きた「いじめ自殺」を受け、その対応策を協議した。平成19年度は、「いのちの教育」アクションプランの推進に向けて、子供たちの健全育成に向けた活動を展開した。平成20年度からは、「いのちの教育」アクションプラン推進協議会の地域部会として活動を継続した。平成23年度以降は、各中学校区児童生徒健全育成協議会の充実を図りながら、確かな行動連携を目指した取組を展開している。

12 いじめ・長期欠席対策

(1) 岡崎市いじめ問題対策連絡協議会、岡崎市長期欠席等対策連絡協議会

岡崎市いじめ問題対策連絡協議会、岡崎市長期欠席等対策連絡協議会を設けて、いじめや長期欠席に関するそれぞれの事業の連携を図り、児童生徒へ一層きめ細やかな支援を行うために、臨床心理士、医療機関、専門機関の代表等の助言を得て健全育成推進事業、長期欠席対策推進事業を推進する。

(2) いじめ・長期欠席相談室事業

臨床心理士の資格を有する者及び子供の発達段階を理解し、子供の実態を把握する力量があり、人格・行動において社会的信望を有し、職務遂行に必要な熱意をもつ社会人を活用し、悩みを抱える児童生徒及びその保護者へのカウンセリング、担任及び関係教職員への指導助言等を行い、児童生徒の支援につなげる。

ア 長期欠席にかかわる「そよかぜ相談室」

【臨床心理士】

- ・原則として、月曜日から金曜日の午前9時から午後6時と土曜日の午前9時から正午の中で、教育相談センターにおいて、相談活動・ケース会議等を行う。
- ・学校からの派遣要請があり、教育委員会が派遣の必要があると認めた場合、学校現場との連携を基にした緊急派遣を行う。(学校や家庭を訪問、教育相談センターでの教育相談や支援)

イ 実績（平成26年度に心理士を2名から3名に増員）

■臨床心理士による相談にかかった人（延べ人数）（令和6年3月末現在）

	本人	保護者	教員等	合計
平成27年度	854人	1,958人	292人	3,104人
平成28年度	850人	1,977人	321人	3,148人
平成29年度	894人	2,009人	320人	3,223人
平成30年度	788人	1,874人	360人	3,022人
令和元年度	807人	1,939人	286人	3,032人
令和2年度	950人	1,816人	333人	3,099人
令和3年度	686人	1,734人	351人	2,771人
令和4年度	635人	1,818人	289人	2,742人
令和5年度	713人	1,644人	232人	2,589人

(3) 「キッズ岡崎こころの電話」

ア 概要

昭和 56 年度に始まった全ての市民を対象にした「心の電話おかざき」を、平成 23 年度から「キッズ岡崎こころの電話」とし、小中学校及びその保護者に対象をしばって教育的援助を行う。父母、先生、友達にも相談できない悩みや問題を、電話で話し合うことにより、多感な時期である小中学生やそれを支える保護者が明るい生活を送れるようにする。また、相談内容によっては専門機関、専門家を紹介して相談者の問題解決を助ける。現在 5 名の専門相談員によって対応している。市内小中学校新入生を対象に、電話番号等の入ったシールを配布した。

【電 話】 8 3 - 5 6 6 0

【受付時間】 火曜日～金曜日 正午～午後 7 時 00 分
土曜日 正午～午後 4 時 30 分

【休 日】 日曜日、月曜日、国民の祝日
12 月 28 日～翌年 1 月 4 日

イ 相談件数 (令和 5 年度)

小学生	中学生	保護者	計
0	5	4	9

(4) メンタルサポートクラブ事業

心の支援者を組織し、長期欠席の児童生徒の家庭を訪問し、良き相談者としての立場から側面的に援助する事業である。

(5) スクールカウンセラー

全中学校 20 校(小中連携型配置校 3 校を含む)及び全小学校 47 校(拠点校 10 校、対象校 37 校)にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教職員の悩み事相談や長期欠席相談に応じる。

(6) 登校支援員

各学校の要請により、長期欠席児童生徒、保護者への支援を行う。また、長期欠席対策主任との連携による校内教育支援センター巡回指導・支援を実施する。

(7) スクールソーシャルワーカー(アドバイザーを含む)

教育相談・支援体制の充実のため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉士等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて、支援を行う。現在、学校勤務経験者を 5 名、社会福祉士を 10 名、アドバイザーを 1 名、合計 16 名を配置している。

Ⅱ 学校教育

(8) 校内フリースクール（F組）

何らかの事情で学校や教室に行きづらさを感じていたり、集団生活が苦手不安を抱えたりする生徒が、教室復帰だけでなく、もてる可能性や能力を最大限に伸ばすことで、社会的な自立に向けた力を育む場所である。令和2年度に3校、令和3年度に5校、令和4年度に6校、令和5年度に6校の中学校に段階的に設置し、市内全中学校へ校内フリースクールを開設した。令和6年度、小学校へ拡大し、3校に新規に設置した。担任と支援員を配置し、児童・生徒への指導・支援を行っている。

(9) 夜間学級（S組）

何らかの事情で学校や教室に行きづらさを感じており、他の児童生徒が学校にいる時間帯は登校できないが、夕刻以降であれば登校できる生徒や、家から出ることができない生徒を対象としている。夕方以降の時間帯で、週1回程度開設し、もてる可能性や能力を最大限に伸ばすことで、社会的な自立に向けた力を育む場所である。令和6年度、中学校5校に設置し、担任と支援員を配置し、生徒への指導・支援を行っている。

13 危機管理対策

平成 13 年 6 月 8 日に起きた大阪教育大学教育学部附属池田小学校における児童等殺傷事件を受け、学校における危機管理体制の確立が急務となった。岡崎市では、防犯ブザーや、防犯ホイッスルを配布するとともに、直ちに岡崎市学校（園）危機管理マニュアルを作成した。以後、各校はそれに基づいて各校（園）に危機管理マニュアルを作成し、教職員の対応や役割分担の確認を毎年 4 月に行ってきた。

平成 15 年 12 月 18 日には京都府宇治市宇治小学校に不審者が侵入し、小学校 1 年生が負傷する事件が発生した。そこで、市内の不審者被害の多発の現状を踏まえて、岡崎市学校（園）危機管理マニュアルを改訂すると共に、平成 16 年 1 月には不審者対策の避難訓練研修会を岡崎警察署の全面協力を得て市内の校務主任が全員参加して行われた。この研修会を踏まえて自校の危機管理マニュアルの見直しを図り、防犯教室を実施すると共に、児童生徒一人一人に引き渡しカードを作成し、参観日などの機会に保護者への引渡し訓練を実施した。また、警察、少年愛護センター、市防犯交通安全課などの専門機関や地域住民との連携も進んでいる。そのひとつに、児童生徒の登下校の安全ボランティアを中心とした S S V（スクール・サポート・ボランティア）の拡充がある。平成 16 年度の中学校区児童生徒健全育成連合協議会の立ち上げもあり、その後、学校・家庭・地域の確かな行動連携が加速した。平成 17 年度には、小 1 児童の下校時を狙った痛ましい事件が広島、栃木で発生し、平成 20 年 5 月には、豊田市で女子高生が殺害される事件も発生した。さらに、平成 23 年 3 月 11 日には、東日本大震災が発生した。

危機管理マニュアルや防犯・防災マップの改善を図るとともに、児童生徒が自ら身を守るという安全意識を育てていくことが急務である。

(1) 携帯用警報ブザー（防犯ブザー）の配布

ブザーは岡崎警察署生活安全課が斡旋するものを選定し、平成 13 年 6 月に小中学校に各 1 個、さらに、9 月には小中学校に職員数＋5 個を配布した。

(2) 夜間反射材付き防犯ホイッスル・防犯ブザーの活用

防犯ホイッスルは、交通安全にも役立つように、夜間反射材のついた首下げ式のホイッスルを選定した。首にかける紐は、安全のために少し強く引くと二つに分かれるものを採用した。平成 16 年 2 月に市交通安全課が小学校 1、2 年生に配布した。また、市安全安心課から平成 16 年度に新 1 年生を含め、小学生全員に配布され、その有効活用を図っている。

平成 17 年度には、市内全中学生に防犯ブザーを 5 月中旬に配布して、児童・生徒の安全確保に努めている。平成 18 年度以降毎年 4 月、新小学校 1 年生と、新中学校 1 年生に防犯ホイッスル、防犯ブザーを配布している。平成 27 年度は、小学生全児童に対して防犯ブザーを配布した。

なお、平成 28 年度からは、新小学校 1 年生のみに防犯ブザーの配布を行い、平成 29～令和 2 年度は民間から寄贈された防犯ホイッスルも市内全小学生に配付した。

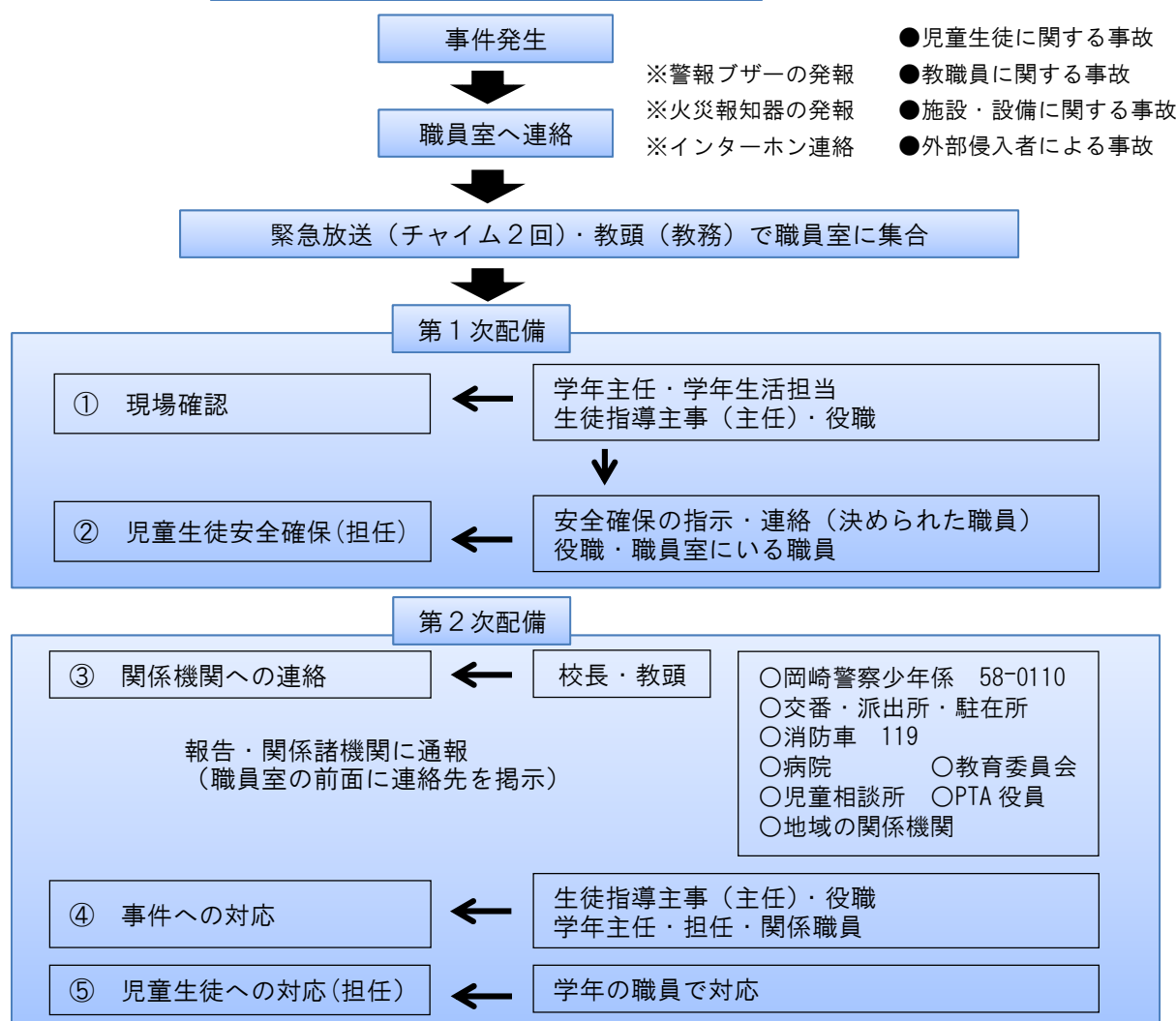
令和 3～6 年度は以前のとおり、新小学校 1 年生への防犯ブザーの配付を行った。

Ⅱ 学校教育

(3) 危機管理マニュアル作成

岡崎市小中学校危機管理マニュアルは、「日常の安全確保」「緊急時の安全確保」「家庭や地域社会の協力を得て取り組むべき事項」を骨子として事件の予防策と事故発生時の対応が定められ、実際に取り組むことができるように具体的な内容を明記している。毎年4月当初に各学校においてマニュアルを作成し、その内容について、実際に避難訓練や教職員のみによる訓練を行い、教職員に十分周知するようにしている。また、平成19年度から学校情報メールシステムが確立され、市内全小中学校が緊急時の連絡手段として活用している。平成27年度から校外学習に対する安全管理、平成28年度から組体操における安全対策も加えている。

緊急事態対応マニュアル図（例）



市立小中学校における大規模地震についての対応

1 児童生徒の安全対策

- (1) 地震に対する危機管理マニュアルの作成や通学路の安全マップの作成等を行い、日ごろから地震における対策をしっかりとっておく。
- (2) 「南海トラフ地震に関する情報(臨時)」が発表された場合は、落ち着いて行動し、テレビ・ラジオ等から正確な情報を収集するよう努めるとともに、児童生徒の安全確保を行う。
- (3) 事前に情報がない状態で地震が発生した場合は、危機管理マニュアルに沿って行動し、児童生徒の安全確保に努める。児童生徒の在宅時は、臨時休校や授業再開の時期など、必要に応じて保護者に連絡する。

2 防災教育

児童生徒に対する防災教育は、教育活動の一環として行うものとし、具体的実施内容は、年間教育計画で定めるところによる。

○地震発生時の非常配備体制

ア 事前の地震情報がない状態で地震が発生したとき

区 分	対 応 の 時 期	教 職 員 の 対 応
準備体制	①震度3の地震が発生した時 ②「臨時情報(調査中)」入手時	管理職を中心に情報の収集・交換
第1非常配備	①震度4の地震が発生した時 ②臨時情報(巨大地震注意)	管理職と必要に応じた教職員若干名の配備(市教委への電話連絡)
第2非常配備	①震度5弱の地震が発生した時 ②臨時情報(巨大地震警戒)	教職員の半数程度の配備
第3非常配備	①震度5強以上の地震が発生した時 ②警戒宣言の発表	全教職員の配備

*上記の場合以外においても、各学校の自主的判断により非常配備につく。

*被害の状況に応じて、校長判断で配備を解く。

*震度5強以上の場合は、全小中学校の避難所が開設されるので、必要に応じて対応する。

イ 南海トラフ地震に関連する情報が出た場合

区 分	対 応 の 時 期	教 職 員 の 対 応
準備体制	「臨時情報(調査中)」入手時	管理職を中心に情報収集・交換 「巨大地震注意」及び「巨大地震警戒」を注視し、 配備について検討する。

14 就学・奨学制度

(1) 就学援助制度

経済的理由によって、就学困難な児童及び生徒に対し学用品、通学用品費、学校給食費、修学旅行費などの費用の一部を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

就学援助者数

(令和6年3月現在)

区 分		準要保護	要 保 護	計	備 考
小学校	人員	1,431 人	79 人	1,510 人	小学校全児童数 21,564 人
	対全児童	6.64%	0.37%	7.00%	
中学校	人員	904 人	52 人	956 人	中学校全生徒数 11,153 人
	対全生徒	8.11%	0.47%	8.57%	
計	人員	2,335 人	131 人	2,466 人	32,717 人
	対全児童	7.14%	0.40%	7.54%	

(%は小数点第3位四捨五入)

(2) 特別支援教育就学奨励制度

学校教育法施行令第22条の3に規定する障がいの程度に該当する児童生徒及び特別支援学級に就学する児童生徒について、その就学経費の一部を補助することにより保護者の経済的負担の軽減を図る。

就学奨励者数

(令和6年3月実績)

区 分	対象 児童・生徒数	扶助者数※	扶助率
小学校	830 人	604 人	72.77%
中学校	300 人	193 人	64.33%
計	1,130 人	797 人	70.53%

※ 扶助者数は辞退者（就学援助制度によって扶助している者等）と費用の支弁を受けなかった者を除いた数。

(3) 奨学資金制度

経済的な理由によって、修学困難な学生に対し修学に必要な資金として年額40万円を無利子で貸付けを行う。教育の機会均等及び有用な人材の育成に寄与することを目的とする。

ア 対象

大学、短期大学、専修学校（専門課程）に在学する学生

イ 貸付実績

年度	人数	金額
平成30年度	52人	20,800,000円
令和元年度	40人	16,000,000円
令和2年度	37人	14,800,000円
令和3年度	54人	21,600,000円
令和4年度	57人	22,800,000円
令和5年度	59人	23,600,000円

(4) 私立高等学校等授業料補助金概要

私立高等学校等に在籍する者の保護者等、授業料を負担している者のうち、経済的に困難な者の負担の軽減を図るため、予算の範囲内において、授業料の補助を行う。

ア 補助金額

年額12,000円

※ 実質授業料負担額が12,000円未満の場合は、当該授業料額を限度とする。

イ 補助金交付実績

年度	人数	金額
平成30年度	1,897人	22,723,000円
令和元年度	1,869人	22,394,000円
令和2年度	842人	9,952,000円
令和3年度	772人	9,153,000円
令和4年度	695人	8,289,000円
令和5年度	715人	8,506,000円

15 全市的行事

(1) 中学校総合体育大会

市内の全中学生を一堂に集めてスポーツの実践や理解の機会を与えることにより、学校間の親睦とスポーツ精神を養う。令和元年度まで、総合開会式は岡崎市中央総合公園・市民球場で行われ、市内全中学校から約1万1千人の生徒と職員が参加した。令和2、3年度は、緊急事態宣言が愛知県に発令されたことを受け、中止となった。その後も総合開会式は実施していないが、令和5年度からは、コロナ感染拡大防止対策を大幅に緩和し、入場制限等を行わず、通常に近い形で開催することができている。

令和6年度の競技は、全13種目を17の会場で実施している。



〈令和元年度 中学生総合体育大会 総合開会式〉

(2) 中学生の主張コンクール

自分の身の回りの生活や社会に関して、中学生らしい清新で建設的な意見を訴える。自分の主張を考え、聞き手に伝えることを意識して文章化することを通じて、自分の考えを認知する能力や論理的思考力を高めるとともに、社会の一員としての自覚を高めることを目的として実施されている。令和2年度までは、夏季休業中に市内各中学校の代表者21人が発表し、市内中学校の生徒及び保護者、一般の方も聴衆者として参加してきた。令和3年度からは、会場に一堂が介しての主張コンクールではなく、各学校において主張作文に取り組み、学級や学年、全校の場で発表する場を設定する形で取り組んでいる。自分の主張を分かりやすく書く力とともに、話す聞く力も高めていく。

(3) 岡崎市小中学校書き初め展

優れた書写の作品を鑑賞し、書写技能を高めることができるようにすること、日常の書写指導の成果を表すことを目的として実施される。各学校から代表者の作品が出品され、岡崎市美術館に展示している。平成30年度から2日間開催となっている。毎年、6000人近くの来場者がある。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催中止となった。令和3、4年度は、感染対策を施し、人数制限を行う中で開催した。令和5年度以降は、従来の形で岡崎市美術館にて開催されている。

(4) 岡崎のハーモニー

市内全小中学校の代表児童生徒が参加して、日頃の練習の成果を発表し合う。岡崎市民会館あおいホールを会場とし、その年のテーマをもとにステージ案を構想し、合唱、オーケストラ、吹奏楽等、多彩な音楽を演奏する。

令和5年度は、出演する子どもを増やすとともに、東西南北の4ブロック編成に回帰した。出演する子どもと関わる教員が音楽のもつ力とすばらしさを実感する「第51回」として開催した。

令和6年度は、東西南北の4ブロックのステージ構成のつながりを意識した華やかな音楽会を目指す。特にエンディングはオーケストラ伴奏と3ブロックによる歌唱で、さらに迫力あるステージにし、誰もが充実感と達成感を味わえる「岡崎のハーモニー」を創造していく。

＜プログラム＞

- ・「岡崎讃歌」
- ・「夢 ふくらませ」
- ・北ブロック・西ブロック
- ・東ブロック・南ブロック
- ・吹奏楽ステージ
- ・エンディング



〈ブロックステージの様子〉

合同合唱とオーケストラによる「夢 受け継いで」「さようなら」

(5) 理科作品展

岡崎市の児童生徒の理科への興味・関心を高め科学する心を育てるために、優秀な理科研究物や創意工夫作品を集め展示する。児童生徒の出品作品は、冊子「理科の研究」としてまとめられる。平成11年度から優れた作品に対して木村資生科学賞が、平成18年度から自然科学研究機構から未来の科学者賞が授与されている。また、自然科学研究機構研究員による「自然科学研究機構コーナー」などを設置している。

令和2年度は、Webによる写真での公開し、令和3年度は、総合学習センターの多目的ホールにて、作品展を実施した。令和4年度からは、再び岡崎中央総合公園武道館に移して開催している。

(6) 技術・家庭科作品展

昭和49年から続いている技術・家庭科作品展。岡崎市内の児童生徒のものづくり意欲の向上と市民の理解を深めるために、小学校の家庭科の授業やクラブ活動、中学校の技術・家庭科の授業や部活動等で製作した作品を展示する。

令和2年度は、12月18日から年度末まで、Webによる写真での公開とした。令和3年度は、総合学習センターの多目的ホールにて、作品展を実施した。令和4年度より、中央総合公園にて、おかざきっ子展、理科作品展とともに同日開催としている。令和6年度も同様の形で開催予定である。

Ⅱ 学校教育

(7) 生徒市議会

昭和 48 年に生徒模擬市議会としてスタートし、昭和 58 年に生徒市議会へと名前を変えた生徒市議会は、岡崎市内の全中学校の代表が市政に対するさまざまな問題について質問・提案を行う今年度で 50 回目を迎える行事である。企画・運営は市内全中学校の生徒会で組織する生徒会連絡協議会が行う。それぞれの学校が独自に市政を学習する機会を通して、質問・提案を作成し、答弁は岡崎市各部局の部長により行われる。中学生が岡崎を見つめ考えることを通して、ふるさとを愛する心を育み、将来の有権者として市政を学習するよい機会となっている。同時に、市内全中学校の生徒会が協力して企画・運営をし、情報交換をするなど、学校間の交流をする絶好の機会にもなっている。

令和 2、3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となったが、翌令和 4 年度は、3 年ぶりに開催され、市内全 20 中学校が市政に対してさまざまな見地から提案や質問を行った。

(8) 小中学生イングリッシュ・フェスティバル

自らの考えを英語で発表できる場を提供することにより、小中学生の生きた英語力の養成を目的に実施される。学習した英語を使い発表することで自信をつけると同時に、他の発表者のスピーチを聞くことにより英語学習の意義が再認識できる。平成 15 年度から、岡崎市せきれいホールで夏季休業中に開催された。平成 20 年度から、小学生も参加して開催された。発表されたスピーチの内容は「岡崎市小中学生イングリッシュ・フェスティバル作品集」として 1 冊の本にまとめられ、市内の小中学生の「読み物教材」としても活用される。平成 23 年度からは岡崎市総合学習センター大ホールで開催している。発表内容は、スキット・スピーチである。令和 2 年度以降は実施していない。

(9) 造形おかざきっ子展

児童生徒がより多くの作品に接し、創造する喜びと意欲をいっそう高めるための野外展も、本年度で第 61 回展を迎えようとしている。

令和元年度から展示会場を岡崎中央総合公園内とし、認定こども園・小中学校（附属 3 校を含む）の全児童生徒の作品を一堂に展示している。令和 2、3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、Web 上での開催とした。

令和 6 年度（第 61 回展）のテーマは、「みんなのうごく世界 ～いろ・かたち・ころ～」である。「うごく」の捉え方を物の動きだけでなく、「心が動く」「時が動く」など、幅広い視点で発想できるようにした。

家族や友達と一緒に、作品を直接鑑賞できる野外展のよさを再確認できる機会としたい。



〈造形おかざきっ子展〉

(10) おかざきッズ プログラミング・フェスタ

令和の時代にふさわしい新しい学びの場を岡崎の子供たちに提供し、未来に向かって自己実現できる子供の育成を支援するという目的のもと、子供たちのプログラミングに対する興味や技能を高められるように、令和元年度より実施している。令和5年度は、岡崎市総合学習センターを会場として行った。各ブースでは、授業での活動よりも一歩進んだプログラミング体験に取り組むことで、プログラミングに対する興味・関心を一層高める機会となった。また、企業等にも依頼して講師や教材を提供いただいたことで、普段は体験できないようなプログラミング活動も紹介することができた。

令和6年度も、総合学習センターにて実施する。引き続き、企業等に協力を依頼し、最先端のプログラミングを体験できる場として開催予定である。

16 教育関係表彰

教育文化賞

岡崎市の教育文化振興に寄与した、個人又は団体の優れた業績及び現に続けている研究・活動を顕彰する。選考は、本人・個人からの申請又は関係機関の推薦を受け、学識経験者・市小中学校長会役員代表・竜城ライオンズクラブ代表・市教育委員会代表から組織された選考委員会により選考される。平成 30 年度の応募状況は個人の部が 10 点、団体の部が 25 点あり、その中から個人の部で 1 点と団体の部で 2 点が表彰された。

なお、教育文化賞はこれまでに多くの個人・団体を顕彰してきたが、平成の終わりとともにその役割を果たしたと捉え、平成 30 年度をもって休止することとした。

17 総合学習センター

岡崎市総合学習センターは教育に関する調査研究、教育関係職員の研修及び教育に関する資料の収集を行うことにより、本市における教育の充実及び振興を図るとともに、市民の生涯学習の場として、ホール、体育室などの施設がある。

また、教育相談センター分室「ハートピア上地」を設置している。

所在地	岡崎市上地三丁目 12 番地 1（電話：54-1115）	
開設	平成 23 年 8 月	
建築年度	昭和 57 年度（平成 22 年度・27 年度・令和 2 年度に部分改修）	
敷地面積	15,822.92 m ² （県有地を県から無償貸与）	
構造規模	延床面積	4,922.23 m ² （県から無償譲渡）
	研修棟	鉄筋コンクリート造 3 階建
	多目的ホール棟	鉄骨造平家建
	体育館棟	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平家建
駐車場	約 270 台	
利用時間	午前 9 時～午後 9 時	
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日の平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）	

■生涯学習部門

- ・多目的ホール（多目的ホール棟：定員 410 人）
- ・小ホール（研修棟 2 階：定員 120 人）
- ・体育室（体育館棟：アリーナ面積 701.76 m²）

※バスケットボール・バレーボール 1 面、
バドミントン 3 面、卓球 12 面



【利用状況（稼働率）】

	多目的 ホール	小ホール	体育室	平均
令和 3 年度	68.2%	62.1%	73.2%	67.8%
令和 4 年度	58.1%	44.6%	63.8%	55.5%
令和 5 年度	37.0%	24.8%	67.1%	48.2%

Ⅱ 学校教育

■教育研究部門（教育研究所）

(1) 施設内容

ア 研修棟 2 階

研修室 1（42 人） 研修室 2（72 人） 研修室 3（30 人） 研修室 4（30 人）
研修準備室（8 人）

イ 研修棟 3 階

I C T 室（36 人） 研修室 5（36 人）
リサーチセンター
教育図書室（相談室・視聴覚資料室を含む）
教育研究所事務室

(2) 業務内容

ア 教員研修

中核市移行に伴う各種研修（小中初任者研修、新規採用養護教諭研修、中堅教諭等資質向上研修、新任校長・教頭・教務主任研修など）、現職研修部、特別委員会、自主研究サークルなどの研究団体及び個人の研修・研究活動の拠点

イ 教育研究

教育に関わる専門的・技術的な事項及び教育情報の有効利用・提供方法などの調査研究

ウ 教育アドバイザーによる支援活動

主に若手教員に対しては授業づくりや学級づくりについて、管理職に対しては学校運営に関わる問題に対して随時、指導・助言を行う。その他に、各種研修会において講師として指導にあたる。

エ 教育情報の収集・提供

各研究団体及び個人がそれぞれ保存・管理している研究活動の成果の共有化を図り、有効に活用するための体制を整える。

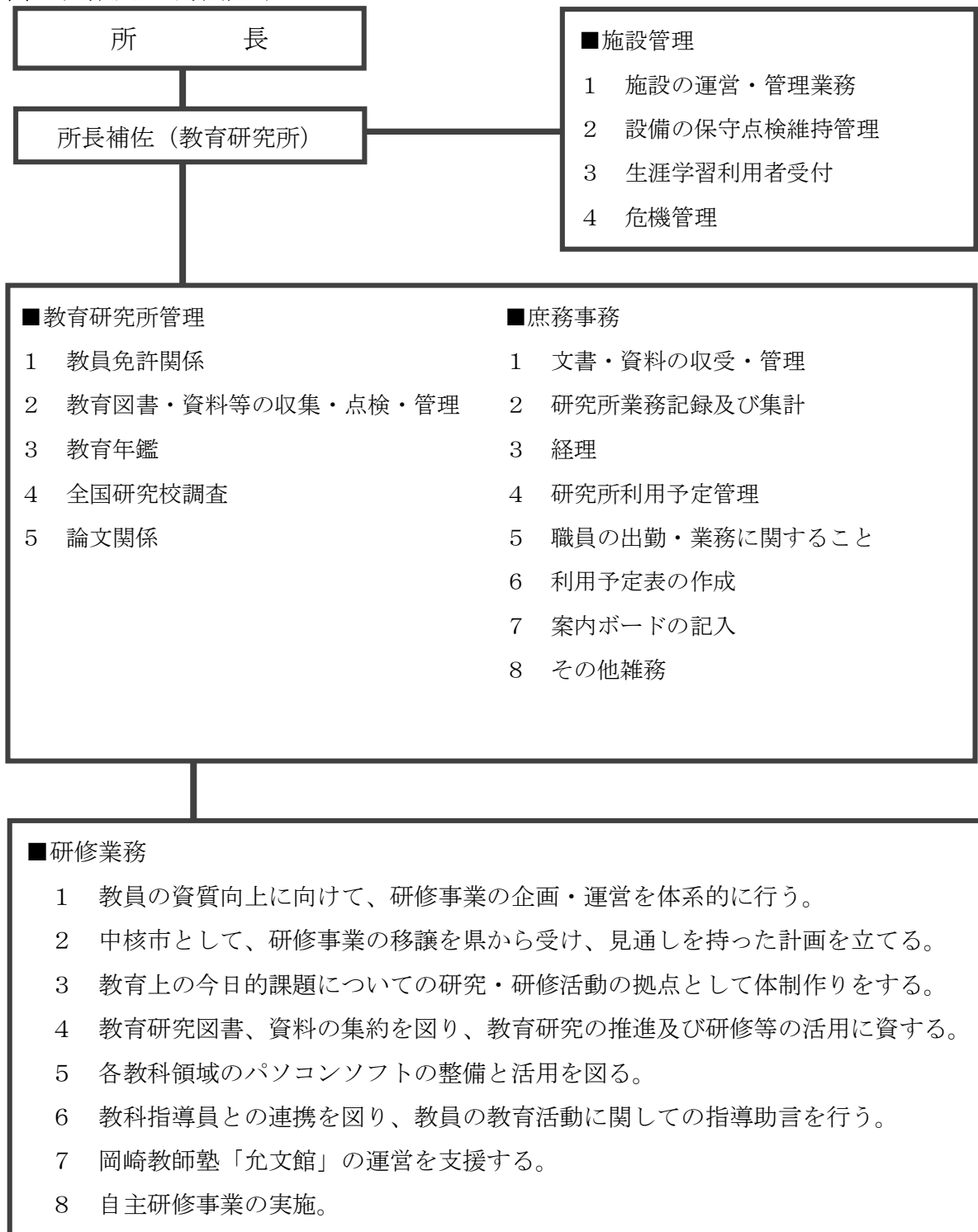
(3) 会場利用状況（令和 5 年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	1,247	1,251	1,527	1,499	974	1,175	921	1,250	955	1,196	1,328	859	14,182

(4) 教育資料利用状況（令和 5 年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	270	368	321	367	368	242	176	180	239	180	245	171	3,127

(5) 組織及び事業概要



18 教育相談センター

教育研究所の相談部門と長期欠席児童生徒のための校外フリースクールであるハートピア岡崎が合併して、平成 22 年 1 月 4 日に開所した。

「そよかぜ相談室」では、子供の健やかな成長を願って、教育に関する相談に応じ、共に考えながら問題の解決を図っている。相談の対象は、岡崎市在住で来年度小学校へ入学する子供・保護者と、岡崎市内の公立小中学校の児童生徒・保護者・教職員である。

「ハートピア岡崎」では、通所が可能な児童生徒に対して、将来の社会的自立を見据えて支援を行っている。また、通所ができない児童生徒には、家庭訪問や電話による相談の対応も行い、人と対面することに抵抗を感じる児童生徒には、手紙やメール等による相談活動を行っている。平成 27 年 9 月には、これまでのハートピア岡崎を「ハートピア竜美」とし、新たに「ハートピア上地」を開所した。

所在地	岡崎市竜美北二丁目 6 番地 1	教育相談センター	電話 71-3201
		ハートピア竜美	電話 71-3207
	岡崎市上地三丁目 12 番地 1	ハートピア上地	電話 58-4831
電話予約 受付時間	月曜日～金曜日 午前 9 時から午後 4 時 30 分（新規、時間変更） 土曜日 午前 9 時から午後 12 時（時間変更のみ）		
休館日	日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		

(1) 業務内容

■「そよかぜ相談室」

ア 長期欠席に関する相談

- ・ 長期欠席傾向、長期欠席の児童生徒の家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
- ・ 長期欠席傾向、長期欠席の児童生徒の指導や登校支援に悩む教師からの相談
- ・ ハートピア岡崎への通所や登校支援員による支援に関する相談

イ 就学に関する相談

- ・ 就学先の選択に関して悩む保護者からの相談
- ・ 在籍する子供の就学先に関する学校からの相談

※ その他、特別に教育支援の必要な子供に関する保護者・教師からの相談

ウ 特別支援教育に関する相談

- ・ 家庭・学校での養育・教育に関して悩む保護者からの相談
- ・ 児童生徒の指導に悩む教師からの相談

■「ハートピア岡崎（竜美・上地）」

ア 通所指導

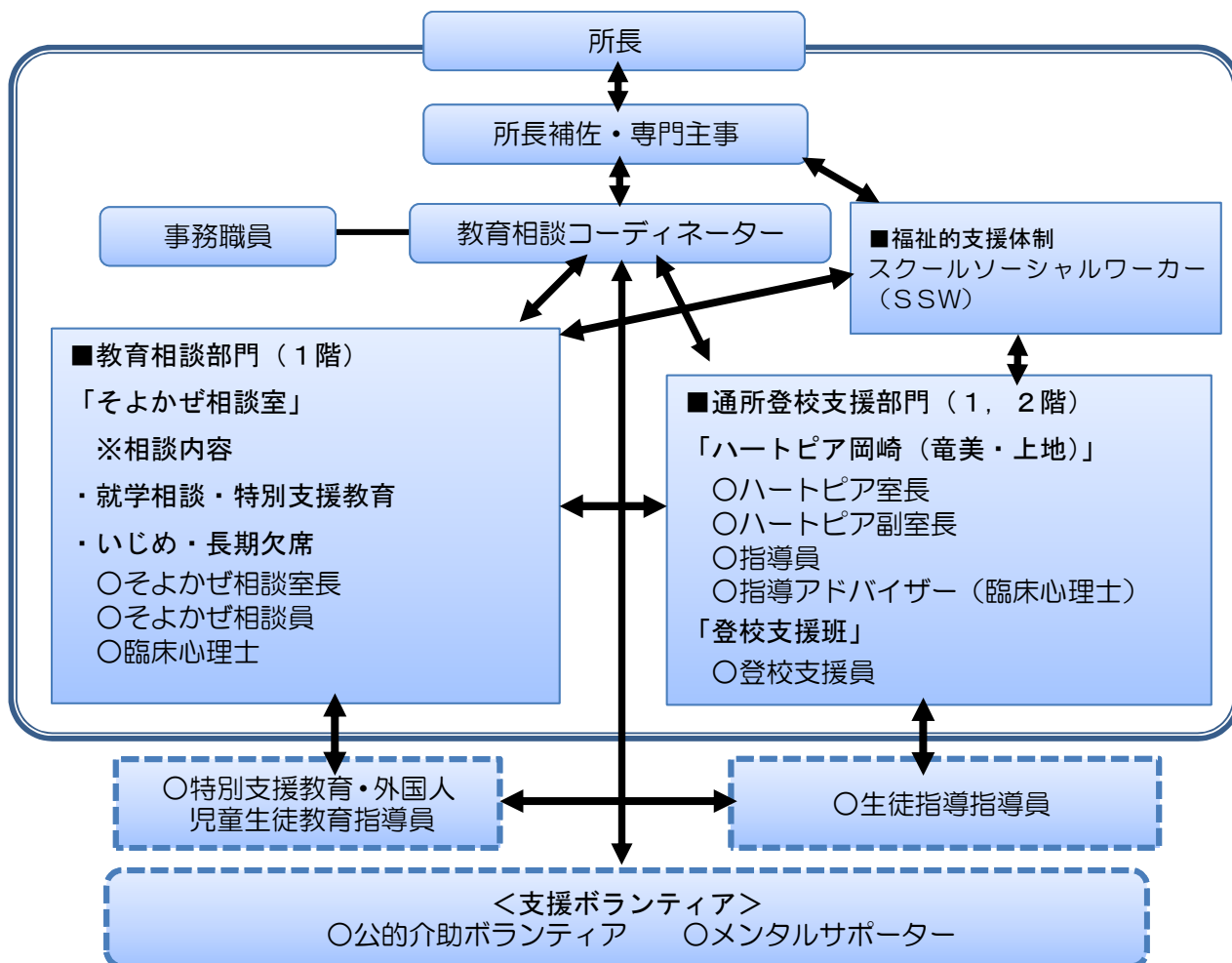
- ・ 社会的自立支援や学校復帰支援
- ・ カウンセリング

イ 登校相談支援活動

- ・ 学校を休みがちな児童生徒に対する相談と支援
- ・ 学校現場との連携を基にした登校支援活動



(2) 組織



(3) 教育相談の状況（令和５年度）

月	相談・支援状況										ハートピア利用状況			
	ハートピア指導員		臨床心理士		そよかぜ相談員		登校支援員		SSW		登録生徒	通所数	面談	見学
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数				
4	41	58	179	239	32	56	0	0	523	795	8	59	7	3
5	90	107	176	222	71	143	33	95	702	1237	12	117	3	2
6	120	134	149	205	83	165	42	126	714	1272	13	147	1	6
7	80	87	200	264	69	122	31	90	622	974	14	90	0	4
8	11	11	168	234	39	76	14	35	519	779	14	11	0	0
9	149	158	183	241	31	52	49	151	659	998	17	141	3	5
10	139	147	107	160	9	14	33	98	646	1000	18	136	1	0
11	168	181	155	198	27	33	57	156	708	1074	21	159	2	0
12	128	137	168	221	15	15	35	99	693	1064	21	129	0	0
1	86	93	127	178	13	19	34	103	699	1025	23	126	0	4
2	162	169	146	210	13	14	31	85	757	1055	23	135	0	1
3	140	148	160	217	14	15	32	103	652	940	24	99	1	1
合計	1,314	1,430	1,918	2,589	416	724	391	1,141	7,894	12,213		1,349	18	26

19 学校給食

(1) 学校給食センター施設概要

センター名	開設年月日	敷地面積	建物面積
北 部	平成 19 年 4 月 1 日	11,691 m ²	5,391 m ²
東 部	平成 27 年 9 月 1 日	12,282 m ²	6,537 m ²
西 部	昭和 53 年 9 月 1 日	6,339 m ²	2,490 m ²
南 部	昭和 57 年 4 月 1 日	4,604 m ²	2,021 m ²

(2) 学校給食センター関係職員

(令和 6 年 5 月 1 日現在)

	市		県	協 会							合計
	所長	所長代理	栄養教諭	事務局長	事務員	栄養士	汽かん員	業務職員Ⅰ	業務職員Ⅱ	用務員	
北部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	2	1	1	2	81	4	94
東部センター	1	1	3	1	11	3	1	1	105	4	131
西部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	2	1	1	2	61	4	74
南部センター	(兼務)	(兼務)	3	0	2	1	2	1	51	2	62
計	1	1	12	1	17	6	5	6	298	14	361

※理事長は含まず。副理事長が事務局長と兼務。

(3) 年度別実施状況

年度	給 食 回 数			年 間 給 食 数			
	※こども園	小学校	中学校	※こども園	小学校	中学校	合 計
30	191	191	190	77,126	4,342,315	2,052,139	6,471,580
1	173	173	172	74,281	3,938,920	1,905,357	5,918,558
2	164	164	164	73,142	3,842,941	1,812,652	5,728,735
3	68	190	190	32,094	4,288,289	2,068,117	6,388,500
4	0	190	190	0	4,297,280	2,116,458	6,413,738
5	0	187	187	0	4,113,358	2,111,280	6,224,638

※令和元年度 3 月及び令和 2 年度 4～5 月は、新型コロナウイルス感染症により学校休業のため、実施回数等が減少している。

※こども園は令和 3 年 7 月で終了

(4) 年度別 1 日当りの給食数

年度	※こども園	小学校	中学校	合計	年度	※こども園	小学校	中学校	合計
30	426	24,012	11,850	36,288	3	486	23,857	12,090	36,433
1	453	24,067	11,963	36,483	4	0	23,785	12,263	36,048
2	462	24,019	11,946	36,427	5	0	23,314	12,460	35,774

(5) センター別給食実施状況（１日当たり）

（令和６年５月１日現在）

センター名	区分	こども園	小学校	中学校	その他	合計
東 部	校 数	0	19	7	2	28
	学級数	0	258	117	18	393
	食 数	0	6,503	3,960	528	10,991
北 部	校 数	0	13	6	1	20
	学級数	0	217	97	2	316
	食 数	0	5,905	3,250	44	9,199
西 部	校 数	0	8	3	1	12
	学級数	0	185	74	1	260
	食 数	0	5,496	2,572	36	8,104
南 部	校 数	0	7	4	1	12
	学級数	0	168	68	1	237
	食 数	0	4,843	2,274	37	7,154
合 計	校 数	0	47	20	5	72
	学級数	0	828	356	22	1,206
	食 数	0	22,747	12,056	645	35,448

(6) リクエストランチ

児童生徒が自ら選んだ献立を実施することにより、学校給食に対する興味・関心を持ち、望ましい食習慣の実践への意欲の高揚を図っている。募集対象校は１年で１９校あり、各学校は、給食実施献立の中から料理を組み合わせ、１食分の献立を応募する。採用された献立はリクエストランチとして、次年度の献立に反映させている。

令和５年度のリクエストでは、主食はごはんやパン、ソフトめんなどが挙げられ、食缶のおかずは、豚汁、ミートソース、カレーシチュー等が多くみられた。フライパットのおかずは揚げ物が多く、チキンナゲット、いかフライのレモンじょうゆ煮等、保冷パットやタッパーのおかずは小学校１年生の国語の教科書に登場するげんきサラダやフルーツゼリーミックス等に人気が集まった。

(7) 令和６年４月分の学校給食費の無償化

進級・進学等で教育費負担が集中しがちな年度初めにおける保護者の経済的負担を軽減させるため市立小中学校の児童生徒を対象に令和６年４月分、４１２,０９７食の学校給食を無償で提供した。この無償化に伴う歳入影響額は１１７,５５８千円となっている。

(8) 食育授業の実施

児童生徒の食に関する指導及び管理を目的として、希望する小中学校に対し食育授業を実施している。令和５年度は小学校４１校、２７６クラス、中学校１４校、７７クラスに対し、特別活動や家庭科等の時間を通じて、「食べ物のはたらき」や「朝食の大切さ」、「バランスの良い食事」等の授業を行い、児童生徒の食に関する総合的な思考力・判断力を養うことができた。

◀ MEMO ▶

Ⅲ 生涯学習

第 1 生涯学習

第 2 社会教育施設等

第 3 文化財

第 4 社会体育

第 1 生涯学習

1 生涯学習事業

(1) 生涯学習市職員出前講座

市職員が講師として、市民で構成される団体が主催する集会等に出向き、市政の説明や職員の持つ専門的な知識・技術を提供することにより市民に多様な学習機会を提供するとともに、市民の市政に対する理解と協力を求め、市民と行政とが一体となってまちづくりへの参加意識の高揚を図ることを目的とする。

(令和 5 年度実績)

講 座 名 称		出席回数	参加人員
まちづくり	都市計画道路	1	25
	都市計画	1	30
	地消地産について	1	15
	男女共同参画及び多様な性の尊重に関する取組	2	40
	岡崎の歴史まちづくりについて	1	35
	これで解決！空き家の適正管理術	1	290
	QURUWA 戦略による公民連携まちづくり	1	10
	小計 7	8	445
市民生活 ・環境・ 自然	個人情報保護制度	1	22
	わたしのくらしと下水道	5	281
	市のお財布を守るために	1	31
	森林と SDG s ・カーボンニュートラル	1	30
	環境美化	1	34
	家計にやさしい省エネ生活	1	30
	カーボンニュートラルと岡崎さくら電力	1	30
	カーボンニュートラル	2	172
	動物ふれあい	1	79
	資源のゆくえ	1	65
	資源とごみの出し方① ーごみの分別再確認ー	4	133
	資源とごみの出し方② ーもう一工夫 目指せごみゼロー	1	10
	小計 12	20	917

講座名称		出席回数	参加人員
福祉 ・ 健康	一緒に考えよう！人生最後の過ごし方	7	179
	みんなが誰でもゲートキーパー	3	107
	感染対策の基本	3	81
	介護保険制度	2	23
	ヘルプマークを知っていますか？	1	7
	はやね・はやおき・あさごはん～子ども向け～	9	1439
	のどをきたえて誤嚥知らず	8	163
	看護師の仕事（キャリア教育）	1	20
	たばこについて知ろう	1	36
	元気な心臓でいるために	2	38
	健康長寿を目指そう（高齢者向け）	8	276
	健康づくりと栄養・食生活	10	918
	血糖値が高めの方へ	2	47
	がん基礎知識 もしもがんになったら…	2	31
	こころの病気について知ろう	5	464
	【幼児・小中高生】生と性の健康教育	18	3220
	【年長児を育てる保護者対象】入学準備に必要な心構え	3	320
	【小中学生対象】子どもたちに知ってほしい生活習慣病予防	2	170
	【小学生から保護者向け】子どもたちに知ってほしいがん予防	1	30
	【児童・生徒・学生対象】気がついて よりそい つながるいのち	4	767
	【市内の事業所等対象】メンタルヘルス講座（ラインケア・セルフケア）	2	150
	【高齢者対象】毎日せいかつ体操	5	119
	【高齢者対象】認知症を予防しよう	13	265
	【高齢者対象】健康長寿を目指そう	23	788
	【高齢者対象】100歳までしっかり食べよう	6	281
	【学生・保護者対象】デートDV	2	360
	100歳までしっかり食べよう～低栄養を予防しよう～	2	60
	「認知症サポーター」養成講座	2	40
	「食育」って何だろう？	2	55
	私ができる救急対応	2	85

Ⅲ 生涯学習

第1 生涯学習

講座名称		出席回数	参加人員
福祉 ・ 健康	私ができる救急対応	2	85
	幼児期のことばの発達について	1	36
	薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」	1	71
	毎日せいかつ体操	2	42
	福祉医療と後期高齢者医療制度	1	20
	発達障がい児の子育て	2	23
	認知症予防遊びりテーション（高齢者向け）	4	176
	認知症予防運動コグニサイズ	8	194
	日常生活での感染対策	4	110
	働き盛りのかたのメタボ予防（概ね 20～60 歳代対象）	2	87
	糖尿病を予防して「びんぴんころり」	2	54
	糖尿病の方必見！健康寿命を延ばそう	1	20
	糖尿病と言われたら	1	20
	心臓病を予防するコツ	1	7
	寝たきり予防はお口から	6	101
	食品の安全・安心について	1	13
	食中毒予防について	8	134
	食中毒予防（啓発ソング）	9	411
	成年後見制度を知っていますか	2	29
	え？「成年後見制度ですべて解決！」じゃないの！？	1	22
	あなたに知ってほしい「子どもの虐待」	1	23
	上手な医者のかかり方（2） ～救急編～	2	21
	障害者総合支援法	1	70
	終活について～スゴロクで第二の人生を考えよう～	6	116
	歯と口の健康づくり	5	252
	高齢者在宅福祉サービスについて	4	87
	高齢者虐待の防止	3	72
	岡崎市民病院の役割とかかりつけ医	4	141
	岡崎市手と心でつなぐ手話言語条例	1	14
	救急対処の方法	3	96
	小計 59	238	13,001
交流 ・ 地域	多文化共生	1	35
	岡崎市の観光	5	128
	小計 2	6	163

Ⅲ 生涯学習

第1 生涯学習

講 座 名 称		出席回数	参加人員
防災 ・ 安全	防犯講座	18	468
	防災・減災講座～いのちを守るために～	38	1904
	備えよう！巨大地震	25	2261
	避難所運営ゲーム（HUG）	3	49
	“避難所の運営を考えよう	13	797
	～運営方針と避難者への配慮～”	2	60
	避難者に配慮した避難所の運営～運営方針と感染症対策～	15	1686
	逃げ遅れゼロへ！風水害	25	800
	消防車両の見学	16	587
	初期消火訓練	1	34
	子どもの事故予防	14	411
	交通安全教室	1	60
	岡崎市災害時避難行動要支援者支援制度	3	36
	空き家適正管理講座～迷惑空き家にならないために～	71	5138
	起震車の試乗	9	245
	小計 15	254	14,536
教育・文化	矢作川流域の歴史と文化（近世）	1	20
	江戸時代の事件簿	4	107
	岡崎城	6	185
	岡崎の文化財	5	100
	岡崎とジャズ	1	14
	岡崎の歴史的建造物（社寺建築）	2	57
	みぢかな文化財	2	55
	ニュースポーツの紹介	1	20
	アートと福祉のあわい、障がいのある人の芸術表現について	1	17
	情報モラル講座	1	70
	小計 10	24	645
合 計		550	29,707

2 家庭教育事業

(1) 家庭教育推進地区事業

(令和5年度実績)

家庭教育推進地区（2学区、2年間）を選定し、地域での家庭教育推進事業の実施を委託した。委託事業では、親子あるいは三世代のふれあい活動、家庭教育の必要性を認識する地域ぐるみの実践活動が実施されている。

学区	事業名	事業の規模
形埜学区	家庭教育講演会	学校、PTA等 50人
	学校保健委員会	学校、PTA等 50人
	AED講習会	学校、PTA等 50人
	運動会	学区全体 200人
	PTA奉仕作業	学校、PTA等 100人
	学区盆踊り大会	学区全体 200人
	学芸会	学校、PTA等 200人
	教えてコマ回し・けん玉名人	1・2年、福祉委員会 20人
	ふれあいかるた大会	3・4年、PTA、福祉委員会 20人
	ふれあいモルック・ボッチャ大会	5・6年、老人会 20人
夏山学区	安全マップの作成・発行	学校、学区に配布 500部
	ササユリ調査・栽培	学区内12か所 年2回
	乙川水質調査	学校 毎水曜日
	生活習慣アンケート	学校、各家庭 39家庭
	交通安全運動	地域防犯・・非行防止 月2日各10人 登校指導 毎日10人
	学校保健委員会	学校、PTA 50人
	AED講習会	学校、PTA 40人
	観劇会	学校、PTA 50人
	読み聞かせ	学校、学区民（読みよみたい） 40人
	運動会	学校、PTA、学区民 80人
夏山学区	アユつかみの会	学校、PTA、学区民（福祉委員会） 70人
	学区環境美化活動	学校、PTA、学区民（寿会） 120人
	学芸会	学校、PTA、学区民 80人
	田んぼ、農園活動	学校、PTA、学区民（寿会） 90人
	スポーツ活動	学校、PTA、学区民（スポ振） 100人
	機関紙の発行	学区全体 200部×11回
	安全安心マップ発行	学校、PTA 40部
	生活習慣チェックカード	学校、各家庭 20人
	交通安全運動	学校、PTA、学区見守り隊 50人

(2) わいわい子育て講座

岡崎子育てネットワーカーの会と共催で、市民センター6館において子育て講座（各1講座3回）を開催している。

（令和5年度実績）

場所	回数	日 時	講師名（所属）	演 題	参加人数
中央市民センター	第1回	9月1日(金) 午前10時30分～11時45分	中根 静奈 abc リトミックスクール	楽しいリトミック	保護者 18 幼児 20 合計 38
	第2回	10月6日(金) 午前10時30分～11時45分	安藤 千枝 劇団チャチャチャ	親子で楽しむ 劇団チャチャチャ	保護者 18 幼児 20 合計 38
	第3回	11月3日(金) 午前10時30分～11時45分	霜田 美津子 岡崎子どもの本研究会	絵本とわらべうたで 楽しい子育て	保護者 20 幼児 20 合計 40
南部市民センター分館	第1回	9月14日(木) 午前10時30分～11時45分	丸山 笑里佳 岡崎女子短期大学幼児教育科准教授	イヤイヤ期ってどんな時期	保護者 16 幼児 17 合計 33
	第2回	10月12日(木) 午前10時30分～11時45分	柴田 浪子 4婆シスターズ・岡崎マジックメンバー	楽しいマジック	保護者 15 幼児 16 合計 31
	第3回	11月9日(木) 午前10時30分～11時45分	市川 水青 (公社)日本3B体操協会指導士	親子ふれあい遊び	保護者 14 幼児 15 合計 29
大平市民センター	第1回	9月13日(水) 午前10時30分～11時45分	志村 貴子 子育てネットワーカー	親子ふれあい遊び	保護者 23 幼児 24 合計 47
	第2回	10月11日(水) 午前10時30分～11時45分	高田 知子 ハーブ奏者	ハーブミニコンサート	保護者 22 幼児 24 合計 46
	第3回	11月8日(水) 午前10時30分～11時45分	西村 えみ 言語聴覚士	ことばの先生・ あそびやさん	保護者 16 幼児 17 合計 33
岩津市民センター	第1回	9月12日(火) 午前10時30分～11時45分	川野 佳代 マリンバ奏者	マリンバミニコンサート	保護者 20 幼児 21 合計 41
	第2回	10月10日(火) 午前10時30分～11時45分	青山 尚子 音楽教室講師	音楽で楽しく遊びましょう	保護者 18 幼児 19 合計 37
	第3回	11月14日(火) 午前10時30分～11時45分	望月 貴子 (公社)日本3B体操協会指導士	親子ふれあい遊び	保護者 15 幼児 16 合計 31
矢作市民センター	第1回	9月8日(金) 午前10時30分～11時45分	東 りつ子 ナゴヤ音楽教育研究会	親子でわらべうた	保護者 11 幼児 12 合計 23
	第2回	10月20日(金) 午前10時30分～11時45分	尹 千織 (公社)日本3B体操協会指導士	親子ふれあい遊び	保護者 14 幼児 16 合計 30
	第3回	11月10日(金) 午前10時30分～11時45分	伊藤 典子 人形劇団ひよっこ	人形劇を楽しもう	保護者 8 幼児 8 合計 16
六ツ美市民センター	第1回	9月21日(木) 午前10時30分～11時45分	松尾 佳子 子ども音楽舎れんげとよつば音楽講師	わらべうたとリトミック	保護者 8 幼児 9 合計 17
	第2回	10月19日(木) 午前10時30分～11時45分	鳥田 知子 県歯科衛生士会	子どもの健やかな お口を守るために	保護者 9 幼児 10 合計 19
	第3回	11月16日(木) 午前10時30分～11時45分	三上 正 マジシャン	福（ピエロ）と 三上のマジック	保護者 9 幼児 10 合計 19

第2 社会教育施設等

1 市民センター

本市における生涯学習拠点施設として、8つの市民センターが設置されている。

市民センターでは、学びのきっかけとなる教養・趣味等の入門講座である「定期講座」が実施されている。さらに、市民自らが団体をつくり、講師を招いて行う「自主講座」も多く実施されている。また、南部（分館）を除く7つの市民センターに設置されている地域図書室では、図書の貸出及び返却ができるほか、時季に応じた企画展示も行っており、市民が気軽に学ぶことができる生涯学習の地域拠点となっている。

(1) 施設概要

名称	所在地	敷地面積	延床面積	電話番号	開設年月日
中央	上六名三丁目3番地7	2,636 m ²	1,176 m ²	55-8066	平成3年4月23日
南部	羽根町字貴登野15番地 岡崎市シビックセンター内	5,657 m ²	7,891 m ²	51-1579	平成14年4月22日
南部 (分館)	羽根西新町5番地3	3,815 m ²	1,182 m ²	53-7831	昭和56年4月20日
大平	大平町字皿田6番地	3,984 m ²	1,135 m ²	22-0162	昭和55年4月28日
東部	山綱町字天神2番地9	3,341 m ²	1,181 m ²	48-2922	昭和54年4月16日
岩津	岩津町字檀ノ上26番地2	4,705 m ²	1,142 m ²	45-2512	昭和52年4月25日
矢作	宇頭町字小薮80番地1	5,162 m ²	1,121 m ²	31-3202	昭和53年4月24日
六ツ美	下青野町字天神64番地	1,531 m ²	1,110 m ²	43-2510	昭和51年4月26日

2 視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーは、社会教育と学校教育における視聴覚・情報教育の推進を目的に昭和29年設立された。それから令和の今日まで、教材センターとして、また研修センターとして、中心的教育施設であることが求められ、その役割を果たしてきた。現在、教材・教具（機材）の貸出しを中心に、映像・情報に関する様々な教育サービスの提供を行っており、幼稚園、保育園、小中学校、庁内各部署をはじめ、青少年団体、高齢者団体、法人事業所等幅広く積極的に利用されている。

教材については、16ミリフィルムからDVDまで約5千2百点の作品を収蔵し、社会教育・学校教育合わせて年間約3万5千人に視聴されている。

教具（機材）については、プロジェクター、ビデオカメラ、スクリーン、DVDプレーヤー等、様々な視聴覚機器を保有し、それらを独自に保有することが難しい公共・民間各種団体を対象に貸出を行っている。貸出数は、年間2～3千点にのぼる。

研修センターとしては、「小中学校ビデオ教室」「情報モラル出前講座」などの各種研修・講座を、年間を通じて行っている。うち「小中学校ビデオ教室」は、映像制作を通じて子どもたちのコミュニケーション能力や表現力の育成を図るユニークな事業である。制作作品は国内の映像作品コンクールや視聴覚ライブラリー実施のふるさと岡崎メディアコンクールで毎年入賞・入選しており、岡崎市の視聴覚・情報教育の輝かしい成果となっている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市菅生町1丁目3番地1（岡崎市役所西庁舎南棟2階） 電話 23-6789 FAX 23-6794
業務時間	午前9時～午後5時15分（土曜日は、午後零時30分まで）
休業日	日曜日、国民の祝日、年末年始（12月28日～1月4日）

(2) 主な事業

ア ふるさと岡崎メディアコンクール

生涯学習・学校教育・児童生徒の3部門でビデオ・デジタルコンテンツ教材を募集している。優良賞以上の作品は教材として貸出し、又は配信に供することで学校教育及び生涯学習における活用を行っている。

イ 小中学校ビデオ教室

映像作品制作講習会として小中学生を対象に年2回実施している。1日のうちに、コンテ立案、撮影、編集、鑑賞の一連のプロセスを経験することで、映像制作の方法を身に付けるとともに、コミュニケーション能力や表現力の育成を図る。

ウ ビデオ編集サポート

平成16年1月から、ライブラリー所有のノンリニア編集機を用いて、市民を対象に動画や音声編集の支援を随時実施している。

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

エ 親子映画会

例年7～8月に、市内市民センターと額田センターで出前映画会を行っている。
昔ながらの16ミリフィルム映画の視聴を通じて、子供たちの感性を育み、親子のふれあいを深める場を提供するとともに、家庭教育の推進に努めている。

(3) 貸出教材視聴者数

年度	区 分	視聴者数 合計（人）	割合	内 訳（人）		
				DVD	VHS	16ミリ・その他
1	学校教育	104,534	76.6%	102,056	2,478	0
	社会教育	31,938	23.4%	22,429	951	8,558
	計	136,472	100.0%	124,485	3,429	8,558
2	学校教育	55,264	71.9%	47,701	7,535	28
	社会教育	21,564	28.1%	19,553	259	1,752
	計	76,828	100.0%	67,254	7,794	1,780
3	学校教育	34,457	81.1%	31,661	1,064	1,732
	社会教育	8,017	18.9%	7,681	126	210
	計	42,474	100.0%	39,342	1,190	1,942
4	学校教育	137,545	90.0%	136,999	28	518
	社会教育	15,261	10.0%	12,771	468	2,022
	計	152,806	100.0%	149,770	496	2,540
5	学校教育	15,969	46.2%	15,969	0	0
	社会教育	18,567	53.8%	15,512	115	2,940
	計	34,536	100.0%	31,481	115	2,940

(4) 貸出教具（機材）点数

年度	区 分	貸出点数 合計（点）	割合	内 訳（点）		
				プロジェクター	プレーヤー	その他
1	学校教育	439	17.6%	73	8	358
	社会教育	2,054	82.4%	462	162	1,430
	計	2,493	100.0%	535	170	1,788
2	学校教育	480	27.0%	72	3	405
	社会教育	1,301	73.0%	292	89	920
	計	1,781	100.0%	364	92	1,325
3	学校教育	513	21.7%	42	1	470
	社会教育	1,854	78.3%	353	74	1,429
	計	2,367	100.0%	395	75	1,899
4	学校教育	551	18.3%	44	2	505
	社会教育	2,455	81.7%	498	83	1,874
	計	3,006	100.0%	542	85	2,379
5	学校教育	451	19.4%	30	2	419
	社会教育	1,878	80.6%	382	99	1,397
	計	2,329	100.0%	412	101	1,816

(5) 親子映画会参加者数

年度	参加者数（人）
30	698
1	822
4	294
5	585



〈16ミリフィルム映写機〉

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で
令和2～3年度は取りやめ。

令和4年度は募集人数を会場定員の半分に設定したうえで実施

(2) 教材・教具（機材）保有状況

（令和6年4月1日現在）

教 材	保有数	機 材	保有数
購入映像作品（DVD）	1,191	プロジェクター	18
購入映像作品（VHS）	1,838	〃（教材提示装置付）	1
寄贈映像作品（DVD）	206	ビデオカメラ	26
寄贈映像作品（VHS）	473	DVDプレーヤー	8
寄贈（CD-ROM）	62	VTR（VHS+DVD再生機含む）	3
自作映像作品	293	ワイヤレスアンプ	7
自作デジタルコンテンツ	35	ワイヤレス・有線マイク	8
16ミリ映画（資料映画含）	794	パソコン（MacBook）	1
スライド（組）	13	ビデオ編集システム	1
録音教材	97	ノンリニア編集機（ビデオ編集用ノートPC）	15
コンパクトディスク	204	デジタルハイビジョン 配信システム	1
		レコードプレーヤー	1
		16ミリフィルム映写機	8
		モニターテレビ	10
		スライド映写機	2
		OHP	2
		テープレコーダー（ラジカセ）	2
		暗 幕	11
		スクリーン	14
		フィルム巻取機	1
		フィルム接合機	1
		フィルム検査機	1



〈所蔵するDVD教材〉

3 図書館交流プラザ 愛称:Libra(りぶら)

「岡崎市図書館交流プラザ」は、図書館を核とした「楽・習・交流」を育む魅力ある生涯学習拠点の形成をメインテーマに、市民の知的・文化的ニーズへの対応による自己実現と自主的な活動及び岡崎らしさの発信により、多様な交流機会を創出することを目的として、平成20年11月1日に開館した。

約100万冊の収蔵能力を持つ中央図書館を始め生涯学習・市民活動・国際交流・男女共同参画の各センター機能を統合した市民活動総合支援センター、ホール、スタジオ、ジャズコレクション展示室、歴史資料展示室など、従来の図書館という枠を超えて幅広い分野にまたがり、知的交流を楽しむ施設となっている。

また、施設の設計や運営計画の検討に当たっては、平成16・17年度の2年間にわたる設計段階における市民検討ワークショップやその後のサポーター支援会議に寄せられた、市民の願いが生かされている。

開館後も、ワークショップ等に参加した市民が中心となって、りぶらサポータークラブを設立し、市民主導の生涯学習活動を支えるサポーターとして活躍している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市康生通西4丁目71番地	
事業年度	平成16年度 基本設計 平成17年度 実施設計 平成18～19年度 本体工事 平成19～20年度 外構工事	
開館日	平成20年11月1日(土)	
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造	
延床面積	約18,000㎡(屋内駐車場除く)	
主要施設	中央図書館、市民活動総合支援センター(市民活動センター、国際交流センター)、岡崎むかし館(歴史資料展示室)、内田修ジャズコレクション展示室、ホール(可動席最大292席)、スタジオ(大1、中2、小3計6室)会議室6室、和室、創作室、調理室	
駐車場	約450台	
利用時間	午前9時～午後9時	
休館日	水曜日(祝日に当たる場合は開館) 年末年始(12月29日～1月3日)	

(2) 生涯学習

生涯学習活動支援のため、情報提供・相談人材育成などを行う

- ア 生涯学習相談
- イ 生涯学習情報の収集・提供
- ウ 生涯学習成果の発表・交流
- エ 生涯学習関係講座

(3) 市民活動

自主的な市民活動を応援し、団体の交流促進と市民活動の活性化を進める

- ア 市民活動に関する相談
- イ 市民活動情報発信
- ウ 活動場所や印刷機器の利用提供
- エ ボランティア活動の相談

(4) 国際交流

外国人と日本人の相互国際理解を促進するセミナー・講座・ボランティア事業を開催することにより、外国人と日本人との市民交流を推進する

- ア 言語スタッフによる生活・手続き等の各種市民相談
- イ 多言語情報の提供
- ウ 国際理解セミナーの開催
- エ ボランティア事業補助

(5) 男女共同参画

男女共同参画推進のため、意識啓発・交流・相談・活動支援などを行う

- ア 弁護士による女性のための法律相談
- イ 相談員による配偶者等からの暴力に関する相談及び女性相談
- ウ 男女共同参画関係講座
- エ 女性活躍推進関係講座
- オ 男女共同参画意識啓発

4 中央図書館

中央図書館は、戦災で焼失してから移転を重ね、昭和46年に明大寺町に設置された。以来30年以上にわたり市民に親しまれてきたが、時代の新しいニーズに対応するため、康生地区の再活性化拠点として建設された生涯学習複合施設「岡崎市図書館交流プラザ」の核として、平成20年11月移転リニューアルした。施設の大規模化、ＩＣタグによる自動貸出や自動出納書庫の導入のほか、ブックスタートの実施、ティーンズコーナー設置、ビジネス支援などサービス向上に努めている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市康生通西4丁目71番地（岡崎市図書館交流プラザ内）
電話	23-3111
構造	鉄筋コンクリート、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造3階建
延床面積	7,895 m ² （建物全体約18,000 m ² 、屋内駐車場除く）
開館時間	午前9時～午後9時
休館日	水曜日（祝日に当たる場合は開館）、特別整理休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	1階 レファレンスライブラリー 地域資料・参考図書・分類別一般図書、専門雑誌コーナー、レファレンスカウンター、閲覧席(198席)、インターネット席（6席）、データベース席（6席）、持込パソコン利用席（18席）、研究個室（5席）、グループ室（1室）
	2階 ポピュラーライブラリー テーマ別一般図書、視聴覚資料・視聴覚ブース、点字図書・録音資料、新聞雑誌コーナー、ティーンズコーナー、ティーンズルーム、外国語資料コーナー、グループ室（2室）、対面朗読室（2室）、閲覧席（430席）
	2階 子ども図書室 児童書、絵本、紙芝居、閲覧席（80席）、インターネット席（3席）、おはなしのへや、授乳室



(2) 蔵書状況

(令和6年3月31日現在)

区分		令和4年度末合計	受入		除籍	増減	更正	令和5年度末合計
			購入	寄贈等				
一般書	一般書	537,640	9,957	1,019	26,344	-14,056	1,312	523,584
	大活字	3,334	86	3	24	67	2	3,401
	洋書	5,905	47	6	557	-505	-1	5,400
	小計	546,879	10,090	1,028	26,925	-14,494	1,313	532,385
児童書	児童書	58,794	1,692	118	7,163	-5,450	-97	53,344
	絵本	34,785	1,692	145	4,281	-2,933	-206	31,852
	紙芝居	2,311	63	0	72	-11	-2	2,300
	小計	95,890	3,164	263	11,516	-8,394	-305	87,496
ティーンズ資料		9,777	792	18	1,171	-739	-378	9,038
参考図書		28,592	381	22	0	-600	-1,003	27,992
郷土資料		88,345	122	714	36	895	95	89,240
視覚障がい用	点字	1,594	16	4	1	19	0	1,613
	録音図書	5,322	29	74	0	106	3	5,428
	小計	6,916	45	78	1	125	3	7,041
視聴覚資料	ビデオテープ	3,898	0	0	1,004	-1,000	4	2,898
	DVD	6,133	82	10	31	54	-7	6,187
	CD	9,406	73	26	16	101	18	9,507
	CD-ROM	40	0	0	0	0	0	40
	AV他	0	0	0	0	0	0	0
	小計	19,477	155	36	1,051	-845	15	18,632
中央図書館 合計		795,876	14,749	2,159	40,700	-24,052	-260	771,824
児童読書活動支援		51,139	2,538	0	2,420	54	-64	51,193
地域図書室		132,293	6,241	336	9,519	-3,198	-256	129,095

(3) 貸出状況

ア 貸出人数

(令和5年度実績)

月	中央図書館 開館日数	一般(団体、郵送貸出含む)	児童読書活動支援	児童	計	地域図書室	合計
4	26	22,330	42	4,891	27,263	12,253	39,516
5	27	22,823	160	4,627	27,610	11,764	39,374
6	26	22,274	138	5,013	27,425	12,004	39,429
7	27	24,488	25	7,096	31,609	12,646	44,255
8	26	23,189	48	6,478	29,715	12,590	42,305
9	26	22,576	157	5,140	27,873	11,943	39,816

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

10	27	22,919	126	4,847	27,892	11,786	39,678
11	25	22,350	150	4,753	27,253	12,475	39,728
12	12	11,339	48	2,405	13,792	6,005	19,797
1	24	22,109	82	4,751	26,942	11,022	37,964
2	25	21,412	7	4,650	26,069	12,012	38,081
3	28	22,665	0	4,970	27,635	13,075	40,710
計	299	260,474	983	59,621	321,078	139,575	460,653

イ 貸出冊数

(令和5年度実績)

月	入館者数	一般書	児童書 (児童読書活動支援含む)	計	地域図書室	合計
4	69,790	76,728	41,715	118,443	46,819	165,262
5	77,048	76,934	52,416	129,416	43,279	172,629
6	73,405	73,431	52,564	125,995	44,593	170,588
7	92,924	82,113	54,315	136,428	47,875	184,303
8	93,214	77,877	49,846	127,723	46,977	174,700
9	78,736	74,674	55,022	129,696	43,977	173,673
10	80,987	76,226	50,219	126,445	43,375	169,820
11	80,030	76,679	50,557	127,236	47,303	174,539
12	37,897	43,045	24,133	67,178	23,857	91,035
1	77,996	74,985	45,241	120,226	41,398	161,624
2	74,260	73,487	36,870	111,357	45,265	155,622
3	74,848	76,837	37,304	114,141	48,737	162,878
計	911,135	883,016	550,202	1,433,218	523,455	1,956,673

※ 団体貸出を含む。

(4) 地域図書室

南部・大平・東部・岩津・矢作・六ツ美・中央の各市民センター、岡崎げんき館

(5) 物流システムによる図書館、地域図書室の連携

図書館及び地域図書室で借りた図書資料は、いずれの施設窓口でも返却できる。また、図書資料の貸出予約をする際には、利用者は受け取る施設窓口を指定することができる。

(6) 児童読書活動支援

児童の読書活動の推進を目的とし、朝の読書時間や各学校における教科学習や総合的な学習の時間等の教育活動を支援するため、市内小学校等を対象に平成25年度から実施している。

学校規模に応じて資料数を定め、2か月に1回の定期配送を行う。また、各校の申込みに応じて教科・単元の資料を配送している。

(7) 額田図書館

額田図書館は、額田町立図書館として昭和 52 年 3 月に開館した。平成 7 年 3 月に増築し、開架室、閲覧室、子ども図書室、新聞・雑誌コーナー等を備えた施設となった。平成 18 年 1 月、岡崎市と額田町の合併により岡崎市立額田図書館に名称変更し、同年 10 月には中央図書館とシステム統合をした。平成 27 年 10 月から本館に続いてブックスタートの定期開催を行う。平成 30 年 2 月、額田支所周辺施設整備基本計画によって、額田支所や額田会館などの機能を集約した複合施設である額田センター（こもれびかん）内へ移設するにともない、施設規模は縮小となった。書架や閲覧机は地元産材の木材を使用している。地域に根ざした図書館サービスの提供を行っている。

ア 施設概要

所在地	岡崎市榎山町字山ノ神 21 番地 1（岡崎市額田センター内）
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建・一部木造平屋建
延床面積	216 m ² （建物全体 1,976 m ² ）
開館時間	午前 9 時～午後 7 時
休館日	月曜日（祝日に当たる場合は開館し、翌日以後の最初の休日でない日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
施設内容	一般図書、児童図書、地域資料、参考図書、新聞雑誌コーナー、おはなしコーナー、閲覧席（一般 15 席、児童 6 席）

イ 蔵書状況

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

区分		令和 4 年 度末合計	受入		除籍	増減	更正	令和 5 年 度末合計
			購入	寄贈等				
一般書	一般書	14,330	698	32	386	317	-27	14,647
	大活字	103	0	0	25	-25	0	78
	洋書	0	0	0	0	0	0	0
	小計	14,433	698	32	411	292	-27	14,725
児童書	児童書	4,350	208	0	54	141	-13	4,491
	絵本	4,240	182	1	24	161	2	4,401
	紙芝居	539	8	0	1	7	0	546
	小計	9,129	398	1	79	309	-11	9,438
ティーンズ資料		0	0	0	0	0	0	0
参考図書		219	0	1	0	1	0	220
郷土資料		906	0	46	0	46	0	952
合計		24,687	1,096	80	490	648	-38	25,335

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

ウ 貸出状況

■貸出人数

(令和5年度実績)

月	開館日数	一般（団体貸出含む）	児童	計
4	26	781	185	966
5	26	759	135	894
6	26	735	154	889
7	26	767	224	991
8	27	838	240	1,078
9	26	717	172	889
10	26	746	165	911
11	26	753	131	884
12	12	372	78	450
1	24	688	137	825
2	25	757	158	915
3	27	867	176	1,043
計	297	8,780	1,955	10,735

■貸出冊数

(令和5年度実績)

月	一般書	児童書	計
4	2,156	2,264	4,420
5	2,045	1,868	3,913
6	1,889	1,852	3,741
7	2,097	2,115	4,212
8	2,206	2,372	4,578
9	1,975	1,867	3,842
10	2,077	1,903	3,980
11	2,038	1,846	3,884
12	1,249	830	2,079
1	2,135	1,368	3,503
2	2,143	1,740	3,883
3	2,544	1,916	4,460
計	24,554	21,941	46,495

(8) 図書館開催講座等

図書館では、館内で活動するボランティアの育成を図るとともに、市民の文化・教養を深める手助けをし、さらに読書意欲の向上を促すために各種講座等を開催している。

ア 中央図書館

(令和5年度実績)

名 称	内 容	日数	開催時期
古文書翻刻ボランティア	館内地域資料の古写本について、利用者の利便性向上を図るため翻刻を行う。	12	毎月第3月曜日
ブックスタートボランティア養成講座	ブックスタートボランティアとして活動するための基本的な事項について学ぶ。	3	5、6月
読み聞かせボランティア養成講座	中央図書館子ども図書室でのおはなし会を行う上で必要となる読み聞かせの基本的な事項について学ぶ。	5	9、10、11月
おはなし会	ボランティアにより絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。年3回(春・夏・冬)テーマのおはなし会実施 午前10時30分から10時50分／ 11時から11時20分(火・木曜日) 午後2時30分から3時(土曜日)	138	毎週火曜日 木曜日 土曜日
おはなしと紙しばいの会	図書館スタッフによるおはなし会。年3回(春・夏・冬)テーマのおはなし会実施 午後4時から4時30分	99	毎週月曜日 木曜日
ストーリーテリングにおいてよ！	絵本を使わずにお話語る、ボランティアによるおはなし会。(春・夏・冬)テーマのおはなし会実施 午後3時30分から4時	6	偶数月 第4土曜日
絵本・童話作家きむらゆういちさん講演会	著作の紹介や作品の解説、作家による読み聞かせ。	1	4月
図書館なぞ解きイベント『ひゃっかじてんで遊ぼう』	なぞ解きをしながら百科事典の使い方を学ぶ。	4	5月
子ども図書館司書体験	図書館司書となって、図書館の仕事を体験する。	7	4、7、8月
夏休み読書・自由研究相談	読書や自由研究調べの相談に応じる。	4	7、8月
第21回岡崎図書館まつり	おはなし会やワークショップ、マンドリンコンサートなど、様々なイベントを行う。	5	7月

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

ゴミ対策課連携展示関連 「手のひらサイズのオリジナル鏡を作ってみよう」	「岡崎ガラス工房葵」40周年にちなみ、リサイクルガラスのワークショップ実施	1	9月
ハロウィンイベント	ハロウィンをテーマとしたなぞ解きとおはなし会	1	10月
プロジェクターを使ったおはなし会	子ども図書室を暗くしてスクリーンに絵本を大きく映して読み聞かせをする。	1	12月
手話と声のおはなし会	ネイティブ・サイナー（手話を母語とするかた）と職員による手話と声のおはなし会	2	5、12月
ティーンズビブリオバトル in りぶら	市内高校生・短大生のバトラーたちが紹介する図書の中から観客が読んでみたいと思った一冊を選び、「チャンプ本」を決める書評合戦	1	12月
市民病院連携展示関連「糖尿病を知ろう～目を含めた糖尿病合併症のいろいろ～」	代表的な生活習慣病である糖尿病とその合併症について解説	1	3月
岡崎むかし館 季節のおはなし会	図書館職員によるおはなし会。岡崎むかし館でいつもと違う雰囲気の中で季節のイベントにあわせた読み聞かせをする。	6	5、7、10、12、1、2月
法律セミナー 「やさしい相続税・生前贈与」	税理士による法律解説と有料データベース「D1-Law.com」の活用セミナー	1	11月

イ 額田図書館

（令和5年度実績）

名 称	内 容	日数	開催時期
おはなし会	図書館スタッフによるおはなし会 午前10時30分から11時（土曜日） 午後4時から4時30分（金曜日）	23	毎月第2土曜日 第3金曜日
移転5周年記念「額田図書館まつり」	クイズラリー、音読会、ワークショップ、読み聞かせ、バリアフリーサービス資料や旧額田図書館写真、おすすめ本紹介展示など実施	1	2月

5 美術館

岡崎市美術館は、美術文化の振興を目的として昭和47年8月に開館した。以来、市民の美術・文化活動の発表・鑑賞の場として、年間約110の美術団体等に利用されている。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市明大寺町字茶園11番地3（電話 51-4280）		
構造	本館：鉄筋コンクリート造2階建（延床面積 1,802.53㎡） 東館：鉄筋コンクリート造3階建（延床面積 2,580.29㎡）		
施設内容	本館	1階	展示室2・収蔵庫・事務室・ロビー・常設展示室・荷解室等
		2階	展示室2・収蔵庫2・ロビー・荷解室等
	東館	1階	展示室2・ロビー・デッサンスペース・休憩スペース・控室等
		2階	岡崎アートヴィレッジ（アトライブラリー・ラーニングスペース A.B・岡崎アーティストアーカイブ等）
		3階	資料室等
開館時間	午前10時～午後6時 （入場時間は午後5時30分まで）		
休館日	月曜日、年末年始（12月28日～1月3日）		

(2) 令和5年度展示室利用状況

	利用状況							計	展示 延日数 (日)	入場者 延人数 (人)	各催事 1日平均 入場者数 (人)
	市 等 主 催	総 合	絵 画	書 道	写 真	工 芸	そ の 他				
令和5年4月	0	0	2	0	1	1	2	6	32.0	2,650	82.8
5月	0	0	1	1	2	2	0	6	32.5	2,741	84.3
6月	0	5	2	0	1	1	0	9	45.5	5,351	117.6
7月	0	2	5	3	0	1	0	11	55.0	4,690	85.3
8月	1	1	0	1	0	0	0	3	22.0	5,226	237.5
9月	1	2	4	1	3	3	0	14	74.5	8,207	110.2
10月	1	1	3	1	1	0	0	7	36.0	5,688	158.0
11月	0	0	7	4	2	1	0	14	72.0	6,500	90.3
12月	2	3	1	0	4	0	0	10	54.5	4,143	76.0
令和6年1月	1	2	1	0	2	0	0	6	28.0	9,896	353.4
2月	1	2	1	3	0	0	0	7	35.5	3,539	99.7
3月	1	0	4	4	2	1	1	13	62.5	5,807	92.9
計	8	18	31	18	18	10	3	106	550.0	64,438	117.2

6 美術博物館

岡崎中央総合公園の一角に位置する美術博物館は、平成8年7月6日の開館以来、美術をはじめ歴史・民俗など幅広いテーマを視野に入れた展覧会を年間5本程度開催している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市高隆寺町字峠1番地 岡崎中央総合公園内（電話 28-5000）	
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造	
延床面積	6,468 m ²	
施設内容	地下1階	特別収蔵庫、収蔵庫1、収蔵庫2、くん蒸室、工作室、スタジオ、作業室
	1階	展示室、セミナールーム、学芸員室、会議室
	2階	レストラン、ミュージアムショップ
開館時間	午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）	
休館日	月曜日（祝日に該当する場合は、その翌日以降の最初の休日でない日） 年末年始（12月28日～1月3日）	

(3) 令和5年度展覧会

展覧会名	会期	日数	入場者数	1日平均
「NHK大河ドラマ特別展 どうする家康」	7月1日～8月20日	44日	22,486人	511人
「至高の紫 典雅の紅 王朝の色に挑む」	9月16日～11月5日	44日	8,907人	202人
「138億光年 宇宙の旅ー驚異の美しさで迫る宇宙観測のフロンティア」	11月19日～1月8日	38日	10,026人	264人
「レアリスムの視線ー戦後具象美術と抽象美術」	1月27日～3月17日	44日	4,106人	93人
合 計		170日	45,525人	268人

※ 6月30日以前は改修工事のため休館。

7 少年自然の家

少年が、自然の中での集団生活（宿泊を伴うものを含む）、集団活動等を通して、情操や社会性を豊かにするとともに心身を鍛錬し、健全な少年の育成を図ることを目的とする。

(1) 施設概要

所在地 岡崎市須淵町字屋名平 44 番地 1 （電話 47-2357）

施設 敷地面積 211,200.26 m²

名 称	構 造 等	延床面積	収容人数
管 理 等	鉄筋コンクリート造 2 階建	990 m ²	
宿 泊 棟	鉄筋コンクリート造 3 階建	1,087 m ²	208 人
体 育 館	鉄骨造 2 階建	649 m ²	250 人
創 作 棟	鉄筋コンクリート造木造平屋建	273 m ²	96 人
毛 布 小 屋	軽量鉄骨造 2 階建て	65 m ²	
天 体 観 測 所	鉄筋コンクリート造 2 階建	56 m ²	
丸 太 小 屋	8 棟	187 m ²	100 人
管 理 小 屋	1 棟	36 m ²	10 人
炊 事 場	3 か所	83 m ²	
そ の 他 建 物	倉庫、トイレ等	226 m ²	
キ ャ ン プ 場	2 か所		250 人
炊 飯 場	3 か所	83 m ²	
雨天ファイヤー場	1 か所		60 人
落 葉 ス キ ー 場	2 コース		
遊 戯 施 設	10 基		
カ ヌ ー 場	15 艇		
そ の 他	オリエンテーリングコース（28 ポイント）、ハイキングコース、広場、旗掲揚塔、火文字塔、遊歩道、避雷針等		

(4) 宿泊施設利用状況

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

	30 年度		31 年度		2 年度		3 年度		4 年度		5 年度	
	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数
小 学 校	47	11,970	47	12,099	39	3,394	48	4,249	47	7,819	49	7,958
中 学 校	0	0	0	0	1	31	3	93	2	226	3	511
少年団体	16	1,091	20	1,222	10	365	9	427	12	497	8	563
一 般	23	1,226	19	1,223	15	363	19	697	36	2,057	42	2759
合 計	86	14,287	86	14,544	65	4,153	79	5,466	97	10,599	102	11,791

8 子ども・若者総合相談センター

子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介その他の必要な情報の提供及び助言を行う。

(1) 施設概要

岡崎市十王町二丁目9番地（福祉会館内） 電話 64-6665
分室：岡崎市上六名三丁目3番地4（六名会館内）

(2) 相談員 計11人

(3) 主な取り組み

ア 一般相談

社会生活を営む上での困難を抱えている子ども・若者（39歳以下）に関する悩みについて、本人や家族から相談を受け、支援先となる窓口や制度を案内するなど解決策を提案する。

イ 専門相談

一般相談において継続的な相談が必要と認められた方に対し予約制で実施。豊富な知識や経験を有する相談員がカウンセリングを行い、支援計画を作成した上で、継続的に助言や指導を行う。

ウ アウトリーチ

センターへの来所が困難と認められた方に対し、相談員が自宅等へ訪問し相談に応じたり、関係機関等へ同行したりする。

エ 初期支援（居場所づくり）

社会に出ることを難しいと感じている若者への初期支援として、生活習慣や社会生活の基本を身につけるためのセミナーを開催する。

（令和5年度実績）

■ 相談の状況

延べ相談件数 (件)	実人数 (人)	うち新規相談 (人)
1,781	369	225

■ 新規相談の内訳

【性別】

男性	女性	その他
135	88	2

【相談者】

本人	本人と保護者	母	父	父と母	その他親族
62	27	99	14	9	11
友人	学校	地域	支援機関	その他	
0	0	0	3	0	

【相談内容】（重複項目あり）

不登校	ひきこもり	いじめ	親子関係	学業進路	虐待	暴力	非行犯罪	発達障がい
64	40	4	64	72	5	7	4	55
精神疾患	生活困窮	就労仕事	対人関係	LGBT	問合せ	不明	その他	
44	16	88	24	2	0	0	38	

《少年愛護部門》

青少年の健全育成の推進と非行防止のための活動を行う。

街頭補導において、センター職員、地域指導員、小中高等学校等の教員などが市内中心部や各学区を巡回し、少年への声掛けや必要に応じて現場指導等を行う。また、センター職員が市内中学校の校内フリースクールへの訪問を行い、義務教育期間中からの早期対応を行う。

(1) 指導員 計 197 人 (令和6年4月現在)

小学校教員	48 人	中学校教員	21 人	高等学校等教員	18 人
地域指導員	80 人	警察少年係	10 人	少年補導職員	7 人
児童相談センター	1 人	社会教育課職員	7 人	子ども・若者総合相談センター職員	5 人

(2) 街頭補導

街頭補導は、ぐ犯少年・不良行為少年の早期発見・指導をし、少年非行の早期防止を目的とする。また少年の愛護善導を行う。

ア センター補導 月～金：1日1回（午前または午後）

Ⅲ 生涯学習

第2 社会教育施設等

夜間補導（随時）、市内中心部・繁華街等巡回

イ 学区補導 月1回（午後）、20 中学校区
各小中学校指導教員と地域指導員が集まり情報交換と併せて実施
（令和5年度結果）

		小学生	中学生	高校生	その他	有職	無職	合計
行 為	家 出	0	0	0	0	0	0	0
	怠学・怠業	0	2	0	0	0	0	2
	喫 煙	0	0	0	0	0	0	0
	飲 酒	0	0	0	0	0	0	0
	はいかい	56	149	239	4	0	0	448
	危険行為	0	0	0	0	0	0	0
	不良交友	0	0	0	0	0	0	0
	その他	255	379	182	10	0	1	827
	刑罰法令に触れる行為	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	311	530	421	14	0	1	1,277

(3) 少年相談

少年非行や問題行動について、面談又は電話による相談業務を行う。

令和5年度実績

面接相談	48 件	計 52 件
電話相談	4 件	

第3 文化財

1 文化財保護

市内に点在する歴史上・学術上の価値の高い文化財の適切な保護・保存と文化財の持つ意義と大切さを啓発するとともに、常に十分な調査研究を行う。

(1) 文化財保護の主要事務・事業

- ア 文化財の保存・管理の指導助言
- イ 文化財の調査・研究及び指定

(2) 岡崎ゲンジボタル増殖事業

国指定天然記念物「岡崎ゲンジボタル発生地」、及び岡崎市指定天然記念物「ゲンジボタル」についてその発生地である矢作川水系、乙川、山綱川、鉢地川、男川等の河川敷の環境浄化活動並びにホタルの保護・増殖事業を、地元の岡崎ゲンジボタル河合保存会（河合中学校生徒協力）と生田螢保存会（美合小学校児童協力）、鳥川ホタル保存会に委託して実施

(3) 指定文化財及び登録文化財

- ア 指定文化財数 (令和6年3月31日現在)

種 別	国 指 定	県 指 定	市 指 定	計
建 造 物	13	2	16	31
絵 画	6	8	57	71
彫 刻	5	10	45	60
工 芸 品	3	11	40	54
書 跡・典 籍・古 文 書	1	1	21	23
考 古 資 料	0	2	2	4
歴 史 資 料	0	0	4	4
無 形 民 俗 文 化 財	0	2	6	8
有 形 民 俗 文 化 財	0	2	7	9
史 跡	3	3	25	31
天 然 記 念 物	1	6	27	34
計	32	47	250	329

- イ 登録文化財数

国登録建造物 20 件 県登録天然記念物 1 件

- ウ 新たに指定・登録された文化財

指定	名 称	所有者
国指定文化財（彫刻） 令和5年6月27日指定	木造日光月光菩薩立像	宗教法人瀧山寺

生涯学習

第3 文化財

国指定文化財（彫刻） 令和5年6月27日指定	木造十二神将立像	宗教法人瀧山寺
市指定文化財（史跡） 令和6年3月29日指定	岩津城跡	個人
県登録文化財（天然記念物） 令和5年8月4日指定	小呂湿地	個人



木造月光菩薩立像（写真：文化庁提供）



木造十二神将立像（写真：文化庁提供）



岩津城跡



小呂湿地

(4) 指定文化財保存事業に対する補助

- ア 国指定文化財滝山東照宮本殿ほか 2 棟保存修理事業
- イ 国指定文化財防災設備等保守点検事業
- ウ 県指定文化財絹本著色山越阿弥陀如来像保存修理事業
- エ 市指定文化財真福寺仁王門保存修理事業
- オ 無形民俗文化財保存育成活動事業

(5) 文化財看板の設置・修繕

文化財説明看板及び標柱（長福寺大久保家墓所、滝山寺、六所神社、太夫塚古墳、石田第 2 号墳）の修繕

(6) 旧本多忠次邸管理運営事業

施設の管理運営・展示

(7) 六ツ美歴史民俗資料室管理運営事業

資料室の管理運営・展示

(8) 埋蔵文化財調査事業

市内遺跡の発掘・試掘調査

(9) 岡崎城跡整備業務

- ア 岡崎城跡整備委員会の開催
- イ 岡崎城跡坂谷曲輪発掘調査
- ウ 石垣測量
- エ 石垣変位計測

(10) 文化財保存活用地域計画の推進

文化庁長官の認定を受けた「文化財保存活用地域計画」事業を推進

(11) 旧額田郡公会堂及物産陳列所の保存・修理

「旧額田郡公会堂及物産陳列所保存活用計画」に基づき、看守人室曳家の実施設計及び関係機関との調整等を実施

2 旧本多忠次邸

旧本多忠次邸は、旧岡崎藩主本多家（本多忠勝系）の末裔にあたる本多忠次（1896-1999）が昭和7年（1932）に東京・世田谷に建てた住宅と壁泉の一部を移築復原したものである。2階建ての建物は、屋根にフランス瓦を葺き、1階の西側には車寄せをつけた玄関、南側中央には三連アーチのアーケード・テラス、東端には2階までの半円形のボウ・ウインドウを配置している。内部は日本間と洋間を共存させた住宅形式となっており、当時流行したステンドグラスやモザイクタイルの装飾、照明器具や家具などをオリジナルのままに設置している。また、前庭では、日本のスパニッシュ建築様式には欠かせないといわれる壁泉を見ることができる。

岡崎市では、建築や意匠等に価値がある旧本多忠次邸を保存し、その活用を通じて、文化財の保護についての関心や理解を深めることを目的として一般に公開している。

(1) 施設概要

所在地	岡崎市欠町字足延 40 番地 1（電話 23-5015）
利用時間	午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分）
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日の平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 展示替期間
用途	建物展示、館内での常設・企画・季節展示や講座の開催等、有料貸ギャラリー
入場料	通常無料、企画展示は有料の場合あり
開館日数	309 日
入場者数	12,282 人



(2) 令和 5 年度開催の展示

・企画展示

展覧会名	会期	日数	入場者数
開館 11 周年記念「涼月祭」 （展覧会「古層より煌めき出る仮面たちー不二真直コレクションよりー」 他）	6 月 24 日～7 月 9 日	14 日	795 人
あいちの“折り紙”たてもの展 in 旧本多忠次邸	11 月 4 日～11 月 12 日	8 日	396 人

・季節展示

展覧会名	会期	日数	入場者数
旧本多忠次邸のひなまつり「春～桃の節句を祝う」	2 月 6 日～3 月 10 日	30 日	2,531 人

・貸ギャラリー展示

展覧会名	会期	日数	入場者数
第 8 回野草の会いけばな展	5 月 12 日～5 月 14 日	3 日	559 人
暮らしを彩るマーブル紙Ⅱ	7 月 13 日～7 月 17 日	5 日	316 人
岡崎能面乃会作品展	3 月 28 日～3 月 31 日	4 日	332 人

(3) 令和 5 年度開催の講座

開催日	講座名	講師	参加人数
11 月 3 日、12 日	ワークショップ「ペーパークラフトで旧本多忠次邸をつくろう」と建物見学ツアー	笥清澄 村瀬良太	24 人
2 月 17 日	体験講座「伝統の香袋づくり」	竹内香織	16 人
2 月 25 日	歴史文化講座「ひなまつりと五人囃子」	笥清澄 笥侃大	24 人

その他、商工労政課主催による地元高校生及び専門学校生が制作した映像作品（プロジェクションマッピング）発表会の開催をし、会場として協力することで、歴史的建造物の活用を図った。

第4 社会体育

1 体育振興

(1) スポーツ推進委員

ア 人数 119 人

イ 選出母体

各小学校区（原則人口 9,000 人以上 3 名、人口 9,000 人未満 2 名）

ウ スポーツ推進委員連絡協議会事業

（令和 5 年度実績）

期 日	事 業 内 容	会 場	参 考
4 月 4 日	総 会	岡崎市福祉会館	全員
4 月 6 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
5 月 9 日	新任研修会	岡崎市福祉会館	新任推進委員
6 月 18 日	全体研修会	連尺小学校	全員
6 月 25 日	岡崎ブロック研修会	羽根小学校	担当理事、研修部
6 月 29 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
7 月 12 日	新任スポーツ推進委員ソフトミニバレーボール審判講習会	岡崎市体育館	新任推進委員
7 月 25 日	障がい者スポーツ研修会（座学）	岡崎市福祉会館	全員
8 月 6 日	障がい者スポーツ研修会（実技）	岡崎中央総合公園	全員
9 月 2 日	愛知県スポーツ推進委員研修会	日進市スポーツセンター	希望者
10 月 5 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
10 月 22 日	岡崎スポーツフェスティバル 2023	岡崎中央総合公園	理事、事業部 広報・事業部
11 月 5 日	西三河地区スポーツ推進委員実技研修会	みよし市内施設	希望者
11 月 16 日	全国スポーツ推進委員研究協議会（～17 日）	青森県青森市	希望者
11 月 18 日	ラリージャパン	岡崎中央総合公園	ボランティア
11 月 21 日	学区交歓ソフトミニバレーボール大会監督会議	岡崎市福祉会館	理事、事業部 広報・事業部
11 月 26 日	おかざきマラソン	岡崎中央総合公園及び 周辺道路	ボランティア
11 月 27 日	学区交歓ソフトミニバレーボール大会審判講習会	岡崎市体育館	理事、事業部 広報・事業部
12 月 3 日	学区交歓ソフトミニバレーボール大会	岡崎中央総合公園	理事、事業部 広報・事業部
12 月 21 日	理事会	岡崎市役所分館	理事
1 月 21 日	岡崎市民駅伝競走大会	市内一円	3 名学区 2 名 2 名学区 1 名

2月9日	東海四県スポーツ推進委員研究大会（～10日）	静岡県静岡市	希望者
2月24日	岡崎市スポーツ推進委員研修会	岡崎市体育館	全員
3月7日	理事会	岡崎市役所分館	理事

(2) スポーツ大会等開催事業

期日	行 事 名	会 場	参加者数
4月	第60回岡崎市民春季総合ソフトボール大会	岡崎中央総合公園 球技場他	1,075
	第57回岡崎市民軟式野球選抜選手オールスター大会	岡崎中央総合公園 野球場	120
	令和5年度春季岡崎市民射撃大会	藤川射撃場	18
	第52回岡崎市民アーチェリー大会	岡崎中央総合公園 アーチェリー場	40
	令和5年度岡崎市民テニス大会	岡崎中央総合公園 テニスコート	460
	第51回岡崎市民ボウリング大会	サンボウル・グランドボウル	77
	第69回岡崎市民総合バレーボール大会	岡崎市体育館他	216
	第53回グライダー市民体験飛行の会	グライダー練習場	16
	第59回岡崎市民弓道大会（近所の部）	岡崎中央総合公園 弓道場	237
5月	第21回岡崎市民オリエンテーリング大会	岡崎中央総合公園第1錬成道場S・G	175
	第40回岡崎市民ゲートボール大会	六名公園運動場	113
	令和5年度春の市民ラグビー祭	岡崎中央総合公園 多目的広場	120
	第69回岡崎市民総合バレーボール大会 ソフトバレーの部	岡崎中央総合公園 体育館	150
	第58回岡崎市民サッカー大会	渡橋河川緑地他	525
6月	第50回岡崎馬術大会	羽根乗馬場	8
	第58回岡崎市民空手道大会	岡崎中央総合公園 武道館	192
7月	第25回岡崎市民グラウンド・ゴルフ大会	六名公園運動場	265
8月	令和5年度夏季岡崎市民総合卓球大会	岡崎中央総合公園 体育館	785
	第21回Let's インディアカ大会	岡崎中央総合公園 武道館	52
	第44回岡崎市民バスケットボール選手権大会	岡崎中央総合公園 武道館	449
9月	第55回岡崎市民陸上競技選手権大会	龍北総合運動場 陸上競技場	828
	第76回岡崎市民水泳大会	愛産大三河高等学校 室内プール	125
	第18回岡崎市民サイクリング大会	おかざき世界子ども美術博物館S・G	253
	第8回岡崎市民マレットゴルフ大会	豊田市柳川瀬公園マレットゴルフ場	59
	第43回岡崎市民小中学生すもう選手権大会	岡崎中央総合公園 相撲場	41
	令和5年度少林寺拳法岡崎大会	岡崎市体育館 武道場	113
10月	第64回岡崎市民総合剣道大会	岡崎中央総合公園 武道場	315
	第60回岡崎市民総合ソフトテニス大会	岡崎中央総合公園 テニスコート	197
	第39回岡崎市民総合ハンドボール選手権大会	岡崎市体育館	440
	第21回健康ウオーク21岡崎大会	吹矢橋公園スタート・ゴール	105
	第3回岡崎ミニテニス市民交歓会	岡崎市体育館	60
	第52回岡崎市民カヌー大会	カヌー練習場	63
11月	第108回岡崎市民ママさんバレーボール大会	岡崎市体育館	550
12月	第43回岡崎市民柔道大会	岡崎中央総合公園 第1・2錬成道場	189
	第25回岡崎市民綱引き大会	岡崎市体育館	180
	第6回岡崎市民スポーツウェルネス吹矢大会	岡崎中央総合公園 武道館	82
	第53回岡崎市民バドミントン選手権大会ダブルスの部	岡崎市体育館	138
	第41回岡崎市民居合道大会	岡崎中央総合公園 第1錬成道場	41
	第48回岡崎なぎなた選手権大会	岡崎中央総合公園 第1錬成道場	51
1月	第39回合気道演武大会	岡崎中央総合公園 第2錬成道場	43

Ⅲ 生涯学習

第4 社会体育

2月	第5回岡崎市フルコンタクト空手道選手権大会	岡崎中央総合公園 第2錬成道場	75
	第64回岡崎市民スキー大会	志賀高原一ノ瀬ダイヤモンドスキー場	18
		合 計	9,059

(3) 学校体育施設スポーツ開放事業

ア 学校体育施設利用状況

(令和5年度)

開放時間数	学 校 名	備 考
420 時間	梅園根石男川美合緑丘 羽根岡崎六井田三島竜美丘 連尺広幡川山常磐中宿福岡 竜谷藤常磐東大寺恵田奥平 秦梨常磐津大樹寺大門矢作殿 細川岩津矢作西南矢作南六美中部矢作東 矢作北矢作西南上地小豆坂北野 六美南部城南夏山宮崎形埜 六美西部豊富 下山	小学校 46 校
	甲山美川南竜海葵 城北福岡東海常磐岩津 矢作六ツ美矢作北新香山 北六美北額田翔南	中学校 19 校
300 時間	河合	中学校 1 校
	常磐南	小学校 1 校
45 時間	岡崎	県立高校 1 校
	岡崎盲	県立学校 1 校

イ 学校運動場（夜間照明設備）

(令和5年度)

学 校 名	開設年月日	内 容
連尺小学校	(照明 S 55. 8. 17)	7,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 204Lx
大樹寺小学校	H14. 4. 1 (移設)	3,500 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 373Lx
矢作北中学校	(照明 S 59. 4. 1)	6,200 m ² ◎軟式野球 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 60 灯平均 555Lx
根石小学校	(照明 S 59. 7. 25)	4,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 330Lx
竜美丘小学校	(照明 S 59. 7. 26)	4,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 281Lx
城南小学校	(照明 S 59. 7. 27)	4,700 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 291Lx
梅園小学校	(照明 S 59. 7. 29)	4,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 348Lx
羽根小学校	(照明 S 60. 4. 1)	4,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 344Lx
大門小学校	(照明 S 60. 8. 6)	6,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 363Lx
小豆坂小学校	(照明 S 60. 8. 8)	6,400 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 293Lx
岡崎小学校	(照明 S 60. 8. 9)	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 276Lx
上地小学校	(照明 S 61. 9. 27)	5,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 307Lx
緑丘小学校	(照明 S 61. 9. 28)	5,200 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 200Lx
井田小学校	(照明 S 62. 9. 4)	5,300 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 218Lx
細川小学校	(照明 H 1. 4. 1)	5,000 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 200Lx
本宿小学校	(照明 H 2. 4. 14)	4,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 319Lx
三島小学校	(照明 H 2. 10. 7)	5,900 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 147Lx
六ツ美中部小学校	(照明 H 3. 9. 29)	5,130 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 171Lx
男川小学校	(照明 H 4. 9. 26)	5,454 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 40 灯平均 177Lx
豊富小学校	(照明 S 53. 3. 29)	7,035 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 1 kw 水銀灯 48 灯平均 402Lx
福岡小学校	(照明 R 6. 3. 5)	6,250 m ² ◎ソフトボール 1 面照明設備 LED 投光器

2 公益財団法人岡崎市スポーツ協会

(1) スポーツ協会加盟団体

(令和6年3月31日現在)

加盟競技団体	人数	加盟競技団体	人数
岡崎弓道会	121	岡崎市居合道連盟	30
岡崎市サイクリング協会	38	岡崎市アーチェリー協会	19
岡崎水泳協会	51	岡崎合気道連盟	100
岡崎市相撲連盟	39	岡崎バドミントン協会	688
岡崎卓球協会	1,080	岡崎なぎなた連盟	25
岡崎ソフトテニス協会	345	少林寺拳法岡崎連合会	113
岡崎軟式野球協会	1,040	岡崎市ゲートボール協会	101
岡崎バスケットボール協会	1,878	岡崎市グラウンド・ゴルフ協会	317
岡崎市バレーボール協会	1,253	岡崎市綱引連盟	103
岡崎陸上競技協会	828	岡崎市インディアカ協会	116
岡崎市剣道連盟	858	岡崎オリエンテーリング協会	28
岡崎射撃協会	54	岡崎市ウォーキング協会	71
岡崎市柔道会	54	岡崎市マレットゴルフ協会	56
岡崎乗馬会	7	岡崎市フルコンタクト空手道連盟	149
岡崎市スキー協会	47	岡崎市スポーツウエルネス吹矢協会	94
岡崎ソフトボール協会	957	岡崎ミニテニス協会	59
岡崎ハンドボール協会	435	岡崎パドルテニスクラブ	30
岡崎テニス協会	738	準加盟競技団体	
岡崎市空手道連盟	397	岡崎アクションスポーツアソシエーション (O.A.S.A)	11
岡崎サッカー協会	710	加盟スポーツ団体	
岡崎市カヌー協会	70	岡崎婦人スポーツ教室	334
岡崎市ボウリング連盟	70	六名公園ラジオ体操会	30
岡崎ラグビーフットボール協会	255	混合ソフトミニバレーボール愛好会	155
岡崎市飛行クラブ	30	合 計 (45 団体)	13,984

(2) スポーツ教室開設状況

(令和5年度)

種 目	対 象	参加人員 (延人数)		期 間	回 数	活動時間
弓道	中学生以上	28(420)	人	6～7月	15回	120分
相撲	小・中学生	17(544)	人	4～11月	32回	150分
柔道	初心者 (園児～一般)	25(50)	人	7・2月	2回	180分
インディアカ	一般	15(75)	人	10～11月	5回	105分
ウォーキング	一般	57(1140)	人	3～11月	20回	180分
オリエンテーリング	一般	15	人	6月	1回	180分
合計(6教室)		157人(2,229人)				

Ⅲ 生涯学習

第4 社会体育

(3) スポーツ少年団活動状況

(令和6年3月31日現在)

区 分	対 象	団員数	指導者数
岡崎こども体育教室	小1～小6	48	9
岡崎子供バスケットボール	小4～小6	68	6
岡崎乗馬	小3～高2	13	2
剣心会	小1～中3	7	2
岡崎なぎなた	小1～高3	13	4
少年空手道市体育館	年長～高3	41	7
岡崎子ども女子体操	年少～小4女	50	2
岡崎子供バレーボール教室	小1～小6	24	7
岡崎ラグビー	年少～中3	38	4
岡崎市ソフトボール	小1～小6	17	6
福岡ラグビーフットボール	年少～小6	7	7
福岡サッカー	小4～小6	25	3
福岡剣道	小2～小6	3	2
福岡バレーボール	小3～小6女	8	2
福岡バスケットボール	小2～小6	90	5
福岡バドミントン	小3～小6	29	2
矢作バレーボール	小2～小6	46	9
岡崎西少年サッカー	年長～小6	126	12
岡崎ハッピー乗馬	年少～高2	5	2
岡崎ボウリング	小1～中3	15	3
生和会（空手道）	年少～高3	12	3
岡崎少年野球教室（軟式野球）	小1～小6	10	3
美川クラブ（軟式野球）	小1～小5	13	6
矢南アローズ（軟式野球）	小1～小5	17	3
矢作バンビーズ（軟式野球）	年長～小6	11	5
岡崎南少年野球クラブ（軟式野球）	小1～小6	57	13
六ッ美JVC（バレーボール）	小1～中3	14	7
六南クラブ（バレーボール）	小1～小6女	22	5
岡崎ジュニアバドミントンクラブ	年長～小3	38	5
岡崎北バドミントンクラブ	小3～小6	5	2
上地クラブ（バレーボール）	小1～小6	14	6
岡崎市組討道	3歳～高3	143	12
岡崎竜の子JVC	小1～中3男	13	2
岡崎JVC	小1～小5女	16	9
常磐JVC	小学生女子	10	3
松涛館流空手道教室	年中～中3	45	3
少年空手道大樹寺	年長～中3	35	15
龍城会少年空手道六名城南	年長～中3	31	2
少年空手道矢作	小1～高3	4	2
花園こども空手教室	年少～高3	40	5
少年空手道六ッ美	年長～高3	20	1
美川バレーボール	小学生女子	13	4
Bondsクラブ	小3～小6	23	6
羽根バレーボールクラブ	小2～小6女	12	3
少年空手道美合	年長～中3	15	1
幼児体育教室	年少・年長	75	1
子ども体育トレーニング	年中・小3	118	4
LinkJVC	年中～小6	5	2
合 計（48団体）		1,504	229

《 MEMO 》

IV 資 料

第 1 教育委員会関係

第 2 学校関係

第 3 体育施設

第1 教育委員会関係

1 歴代教育委員会委員

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
石 川 亮	S 27. 11. 1				地方教育委員会制度の改正により S 31. 9. 30 退任
足 立 一 平	S 27. 11. 1				〃
本 間 淳 治	S 27. 11. 1				〃
河 合 正 男	S 27. 11. 1				〃
浅 沼 か つ	S 27. 11. 1				〃
石 川 小一郎	S 31. 10. 1	S 33. 10. 1	S 37. 10. 1	S 41. 10. 1	S 45. 9. 30 退任
稲 垣 利 作	S 31. 10. 1				S 33. 9. 5 退任
服 部 貞 弘	S 31. 10. 1				S 35. 9. 30 退任
佐々木 静 江	S 31. 10. 1	S 32. 10. 1	S 36. 10. 1	S 40. 10. 1	S 44. 9. 30 退任
三ツ井 源四郎	S 33. 6. 23	S 34. 10. 1			S 38. 9. 30 退任
内 藤 潮 邦	S 35. 10. 1	S 39. 10. 1	S 43. 10. 1		S 47. 9. 30 退任
志 貴 彦 人	S 38. 10. 1	S 42. 10. 1			S 46. 9. 30 退任
永 屋 満	S 44. 10. 1	S 48. 10. 1			S 52. 9. 30 退任
内 田 克 治	S 45. 10. 1	S 49. 10. 1			S 53. 9. 30 退任
石 川 巖 夫	S 46. 10. 1	S 50. 10. 1			S 54. 9. 30 退任
松野尾 潮 音	S 47. 10. 1	S 51. 10. 1			S 55. 9. 30 退任
中 西 か づ	S 52. 10. 1				S 56. 9. 30 退任
稲 葉 浅 吉	S 53. 10. 1				S 57. 9. 30 退任
岩 瀬 敬 司	S 54. 10. 1				S 58. 9. 30 退任
天 野 一 太	S 55. 11. 17				S 59. 11. 16 退任
矢 田 香 子	S 56. 10. 1	S 60. 10. 1			H 1. 9. 30 退任
糟 谷 正 孝	S 57. 10. 1	S 61. 10. 1			H 2. 9. 30 退任
後 藤 朋 美	S 58. 10. 1				S 62. 9. 30 退任
深 田 三太夫	S 59. 11. 17	S 63. 11. 17			H 4. 11. 16 退任
前 川 修	S 62. 10. 1				H 3. 9. 30 退任
内 藤 美智子	H 1. 10. 1	H 5. 10. 1			H 9. 9. 30 退任
太 田 清 美	H 2. 10. 1	H 6. 10. 1			H 10. 9. 30 退任

Ⅳ 資 料

第1 教育委員会関係

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
築 瀬 正 邦	H 3 . 10 . 1				H 7 . 9 . 30 退任
杉 山 光	H 4 . 11 . 17	H 8 . 11 . 17			H12 . 11 . 16 退任
杉 浦 壽 康	H 7 . 10 . 1	H11 . 10 . 1			H15 . 9 . 30 退任
仲 井 さ ち	H 9 . 10 . 1	H13 . 10 . 1			H17 . 9 . 30 退任
鈴 木 聰 一	H10 . 10 . 1	H14 . 10 . 1			H18 . 9 . 30 退任
寺 部 暁	H12 . 11 . 17	H16 . 11 . 17			H20 . 11 . 16 退任
大 原 憲 一	H15 . 10 . 1	H19 . 10 . 1			H23 . 9 . 30 退任
畔 柳 美奈子	H17 . 10 . 1	H21 . 10 . 1			H25 . 9 . 30 退任
平 野 有 行	H18 . 10 . 1				H22 . 9 . 30 退任
櫻 井 敬 子	H20 . 11 . 17	H24 . 11 . 17			H28 . 11 . 16 退任
土 屋 武 志	H22 . 10 . 1	H26 . 10 . 1			H30 . 9 . 30 退任
小 出 義 信	H23 . 10 . 1	R 1 . 10 . 1			R 5 . 9 . 30 退任
福 應 謙 一	H25 . 10 . 1	H29 . 10 . 1			R 3 . 9 . 30 退任
岡 田 京 子	H28 . 11 . 17	R 2 . 11 . 17			
上 原 三 十 三	H30 . 10 . 1	R 4 . 10 . 1			
千 野 智 子	R 3 . 10 . 1				
小 森 保 生	R 5 . 10 . 1				

※ 教育長を除く。

2 歴代教育委員会委員長

氏名	就任	退任	氏名	就任	退任
足 立 一 平	S 27. 11. 1	S 29. 10. 31	深 田 三 太 夫	S 61. 10. 1	S 62. 9. 30
本 間 淳 治	S 29. 11. 1	S 31. 9. 30	矢 田 香 子	S 62. 10. 1	S 63. 9. 30
稲 垣 利 作	S 31. 10. 1	S 32. 9. 30	糟 谷 正 孝	S 63. 10. 1	H 1. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 32. 10. 1	S 33. 9. 30	前 川 修	H 1. 10. 1	H 2. 9. 30
服 部 貞 弘	S 33. 10. 1	S 34. 9. 30	深 田 三 太 夫	H 2. 10. 1	H 3. 9. 30
三ツ井 源 四 郎	S 34. 10. 1	S 35. 9. 30	太 田 清 美	H 3. 10. 1	H 4. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 35. 10. 1	S 36. 9. 30	築 瀬 正 邦	H 4. 10. 1	H 5. 9. 30
内 藤 潮 邦	S 36. 10. 1	S 37. 9. 30	杉 山 光	H 5. 10. 1	H 6. 9. 30
三ツ井 源 四 郎	S 37. 10. 1	S 38. 9. 30	築 瀬 正 邦	H 6. 10. 1	H 7. 9. 30
石 川 小 一 郎	S 38. 10. 1	S 39. 9. 30	太 田 清 美	H 7. 10. 1	H 8. 9. 30
内 藤 潮 邦	S 39. 10. 1	S 40. 9. 30	杉 山 光	H 8. 10. 1	H 8. 11. 16
石 川 小 一 郎	S 40. 10. 1	S 41. 9. 30	杉 山 光	H 8. 11. 17	H 9. 11. 16
志 貴 彦 人	S 41. 10. 1	S 42. 9. 30	杉 浦 壽 康	H 9. 11. 17	H 10. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 42. 10. 1	S 43. 9. 30	仲 井 さ ち	H 10. 11. 17	H 11. 11. 16
石 川 小 一 郎	S 43. 10. 1	S 44. 9. 30	杉 山 光	H 11. 11. 17	H 12. 11. 16
志 貴 彦 人	S 44. 10. 1	S 45. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 12. 11. 17	H 13. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 45. 10. 1	S 46. 9. 30	杉 浦 壽 康	H 13. 11. 17	H 14. 11. 16
内 藤 潮 邦	S 46. 10. 1	S 47. 9. 30	仲 井 さ ち	H 14. 11. 17	H 15. 11. 16
内 田 克 治	S 47. 10. 1	S 48. 9. 30	寺 部 暁	H 15. 11. 17	H 16. 11. 16
石 川 巖 夫	S 48. 10. 1	S 49. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 16. 11. 17	H 17. 11. 16
松野尾 潮 音	S 49. 10. 1	S 50. 9. 30	鈴 木 聰 一	H 17. 11. 17	H 18. 9. 30
内 田 克 治	S 50. 10. 1	S 51. 9. 30	大 原 憲 一	H 18. 10. 5	H 19. 9. 30
石 川 巖 夫	S 51. 10. 1	S 52. 9. 30	寺 部 暁	H 19. 10. 1	H 20. 9. 30
松野尾 潮 音	S 52. 10. 1	S 53. 9. 30	畔 柳 美 奈 子	H 20. 10. 1	H 21. 9. 30
石 川 巖 夫	S 53. 10. 1	S 54. 9. 30	平 野 有 行	H 21. 10. 1	H 22. 9. 30
稲 葉 浅 吉	S 54. 10. 1	S 55. 9. 30	大 原 憲 一	H 22. 10. 1	H 23. 9. 30
岩 瀬 敬 司	S 55. 10. 1	S 56. 9. 30	櫻 井 敬 子	H 23. 10. 3	H 24. 9. 30
稲 葉 浅 吉	S 56. 10. 1	S 57. 9. 30	畔 柳 美 奈 子	H 24. 10. 1	H 25. 9. 30
天 野 一 太	S 57. 10. 1	S 58. 9. 30	土 屋 武 志	H 25. 10. 1	H 26. 9. 30
矢 田 香 子	S 58. 10. 1	S 59. 9. 30	小 出 義 信	H 26. 10. 1	H 27. 9. 30
糟 谷 正 孝	S 59. 10. 1	S 60. 9. 30	福 應 謙 一	H 27. 10. 1	H 28. 3. 31
後 藤 朋 美	S 60. 10. 1	S 61. 9. 30			

※ 平成 28 年 4 月 1 日から新教育委員会制度への移行により委員長職を廃止

3 歴代教育長

氏名	就任	再任	再任	再任	備考
桑 子 好 次	S 27. 11. 1				S 31. 9. 30 退任
羽 田 洋	S 31. 10. 1	S 35. 10. 1	S 39. 10. 1	S 43. 10. 1	S 47. 9. 30 退任
鈴 村 正 弘	S 47. 10. 1	S 51. 10. 1	S 55. 11. 21		S 55. 9. 30 退任 S 55. 11. 17 教育委員会委員就任 S 57. 3. 31 退任
横 井 滋	S 57. 4. 1	S 59. 11. 17			S 63. 3. 31 退任
伊 豫 田 壽 夫	S 63. 4. 9	S 63. 11. 17	H 4. 11. 17	H 8. 11. 17	S 63. 4. 1 教育委員会委員就任 H 12. 11. 16 退任
藤 井 孝 弘	H 12. 11. 17	H 16. 11. 17			H 12. 11. 17 教育委員会委員就任 H 19. 3. 31 退任
江 村 力	H 19. 4. 2	H 20. 11. 17			H 19. 4. 1 教育委員会委員就任 H 24. 11. 16 退任
高 橋 淳	H 24. 11. 17				H 24. 11. 17 教育委員会委員就任 H 28. 3. 31 退任
	H 28. 4. 1				H 28. 4. 1 新教育委員会制度移行 H 30. 3. 31 退任
安 藤 直 哉	H 30. 4. 1	H 31. 4. 1	R 4. 4. 1		

《 M E M O 》

第2 学校関係

1 市内学校数

区分	国立法人	県立	市立	私立	計
大 学	0	0	0	4	4
短期大学	0	0	0	3	3
高等学校	0	7	0	4	11
中 学 校	1	0	20	0	21
小 学 校	1	0	47	0	48
幼 稚 園	0	0	0	22	22
盲 学 校	0	1	0	0	1
聾 学 校	0	1	0	0	1
特別支援学校	1	2	0	0	3
計	3	11	67	34	115

2 進路別卒業生数の推移(中学校)

区分	総数	高等学校	専修学校 (高等課程)	専修学校 (一般課程)	就職 その他	高等学校 進学率
平成 18 年 3 月卒業	3,590	3,477	18	13	82	96.9%
〃 19 〃	3,586	3,495	0	3	88	97.5%
〃 20 〃	3,632	3,538	2	1	91	97.4%
〃 21 〃	3,722	3,634	1	4	83	97.6%
〃 22 〃	3,672	3,578	0	1	93	97.4%
〃 23 〃	3,614	3,544	2	3	65	98.1%
〃 24 〃	3,652	3,566	0	3	83	97.6%
〃 25 〃	3,639	3,560	0	1	78	97.9%
〃 26 〃	3,766	3,705	0	2	59	98.4%
〃 27 〃	3,680	3,617	1	2	60	98.4%
〃 28 〃	3,753	3,707	2	3	41	98.8%
〃 29 〃	3,675	3,630	1	1	43	98.8%
〃 30 〃	3,698	3,655	3	2	38	98.8%
令和元 〃	3,548	3,500	4	4	40	98.9%
〃 2 〃	3,554	3,512	4	0	38	98.8%
〃 3 〃	3,508	3,446	11	1	50	98.2%
〃 4 〃	3,664	3,618	7	0	39	98.7%
〃 5 〃	3,607	3,565	10	2	30	98.8%
〃 6 〃	3,601	3,555	8	1	46	98.7%

3 児童・生徒定期健康診断

区分	性 別	男										
	小・中別	小 学 校							中 学 校			
	年 齢	6	7	8	9	10	11	計	12	13	14	計
受 検 者 数		1,658	1,802	1,824	1,864	1,902	1,882	10,932	1,922	1,971	1,886	5,779
裸眼視力	1.0 未満 0.7 以上	145	184	149	154	163	144	939	186	185	154	525
	0.7 未満 0.3 以上	82	140	161	179	186	193	941	208	219	186	613
	0.3 未 満	8	29	41	62	74	76	290	82	82	109	273
眼	アレルギー性結膜炎	19	33	41	39	43	40	215	37	24	36	97
	結 膜 炎	15	15	17	21	20	30	118	36	40	30	106
	他 の 眼 疾 患	19	34	34	38	44	33	202	49	26	28	103
耳	難 聴 の 疑 い	51	32	27	7	19	12	148	21	9	21	51
	中 耳 炎	1	3	2	1	1	0	8	2	3	3	8
	他 の 耳 疾 患	39	141	24	25	101	34	364	111	12	15	138
鼻・咽喉	副 鼻 腔 炎	12	25	15	9	17	6	84	8	2	3	13
	扁 桃 肥 大	3	8	2	2	4	2	21	0	1	0	1
	鼻炎（アレルギー含）	88	275	108	87	291	110	959	174	56	55	285
	他の鼻・咽喉疾患	8	10	2	5	8	6	39	2	1	1	4
歯	う 歯 の な い 者	1,154	1,199	1,075	1,019	1,161	1,292	6,900	1,458	1,491	1,304	4,253
	処 置 完 了 者	155	236	338	361	337	279	1,706	247	254	327	828
	未処置歯保有者	240	267	292	332	264	165	1,560	155	125	167	447
	他 の 口 腔 疾 患	35	70	98	116	110	106	535	116	110	85	311
尿	蛋 白 陽 性	0	1	1	5	9	12	28	39	51	49	139
	潜 血 陽 性	2	3	6	3	3	4	21	5	9	5	19
	糖 陽 性	3	0	2	1	2	0	8	2	5	3	10
その他の	肥 満 傾 向	14	18	27	27	61	53	200	48	52	55	155
	脊 柱 側 わ ん	6	12	17	15	20	19	89	39	44	54	137
	その他の脊柱異常	1	1	4	0	3	4	13	2	6	1	9
	四 肢 の 異 常	11	8	6	11	15	19	70	28	20	21	69
	アトピー性皮膚炎	17	29	34	32	38	39	189	59	59	59	177
	他 の 皮 膚 疾 患	17	23	33	32	27	39	171	13	25	29	67
	心 臓 疾 患	9	15	10	16	13	9	72	29	28	26	83
	ぜ ん 息	56	56	46	37	45	25	265	24	32	22	78
	腎 臓 疾 患	1	2	1	1	3	1	9	1	3	3	7
	糖 尿 病	2	0	1	0	2	0	5	1	2	2	5
	貧血（中1・中2の一部は血液検査実施）	0	1	1	0	1	1	4	56	6	0	62

IV 資 料

第 2 学校関係

(令和 5 年度)

女											性 別	区 分
小 学 校							中 学 校				小 ・ 中 別	
6	7	8	9	10	11	計	12	13	14	計	年 齢	
1,689	1,809	1,676	1,730	1,804	1,869	10,577	1,813	1,771	1,764	5,348	受 検 者 数	
176	196	152	176	164	173	1,037	195	120	122	437	1.0 未満 0.7 以上	裸 眼 視 力
74	156	167	179	204	200	980	189	169	170	528	0.7 未満 0.3 以上	
12	35	46	68	75	68	304	71	75	52	198	0.3 未 満	
15	25	23	25	26	24	138	24	22	13	59	アレルギー性結膜炎	眼
6	9	13	20	11	18	77	20	14	14	48	結 膜 炎	
34	41	38	39	30	32	214	27	27	21	75	他 の 眼 疾 患	
36	48	31	3	18	8	144	15	14	12	41	難 聴 の 疑 い	耳
4	2	2	0	3	0	11	3	1	1	5	中 耳 炎	
37	154	17	9	109	14	340	111	16	19	146	他 の 耳 疾 患	
9	11	5	8	7	4	44	7	1	2	10	副 鼻 腔 炎	鼻・ 咽 喉
2	8	2	2	4	0	18	1	0	0	1	扁 桃 肥 大	
66	163	41	36	117	44	467	93	41	29	163	鼻炎（アレルギー含）	
0	1	0	1	3	1	6	1	1	2	4	他の鼻・咽喉疾患	歯
1,188	1,181	1,010	1,037	1,171	1,355	6,942	1,320	1,261	1,153	3,734	う 歯 の な い 者	
136	243	297	322	274	211	1,483	266	278	368	912	処 置 完 了 者	
250	261	265	252	217	165	1,410	156	113	163	432	未処置歯保有者	尿
35	62	77	82	90	97	443	88	68	106	262	他 の 口 腔 疾 患	
1	8	5	11	21	21	67	26	27	26	79	蛋 白 陽 性	
12	11	8	7	15	28	81	40	49	44	133	潜 血 陽 性	そ の 他
1	0	1	2	2	1	7	9	0	6	15	糖 陽 性	
7	13	17	20	21	31	109	30	38	34	102	肥 満 傾 向	
5	10	15	15	28	24	97	34	64	70	168	脊 柱 側 わ ん	そ の 他
1	2	2	2	1	2	10	2	1	0	3	その他の脊柱異常	
9	8	4	4	9	5	39	5	6	12	23	四 肢 の 異 常	
24	26	25	31	38	31	175	39	47	44	130	アトピー性皮膚炎	そ の 他
31	30	27	20	18	22	148	12	17	14	43	他 の 皮 膚 疾 患	
14	14	12	10	13	6	69	25	33	28	86	心 臓 疾 患	
33	36	28	24	28	20	169	21	23	12	56	ぜ ん 息	そ の 他
1	0	2	0	0	1	4	0	2	3	5	腎 臓 疾 患	
2	0	0	1	3	0	6	1	1	5	7	糖 尿 病	
1	0	0	0	2	1	4	90	35	0	133	貧 血	

4 学校事故

(日本スポーツ振興センター統計情報) 令和5年度)

(1) 場所別事故発生件数

区分	学 校 内									学校外	合計
	校 舎 内					校 舎 外					
	教室	体育館	廊下	昇降口 階段	他	運動場 校庭	体育遊 戯施設	プール	他		
小学校	106	150	42	44	17	400	0	11	4	74	848
中学校	30	257	11	13	11	233	0	5	2	131	693
合計	136	407	53	57	28	633	0	16	6	205	1,541

(2) 場合別事故発生件数

区 分	各 教 科	特 別 活 動	学 校 行 事	課 外 指 導	休 憩 時 間	通 学 中	そ の 他	合 計
小学校	260	79	22	86	351	50	0	848
中学校	235	43	71	273	39	32	0	693
合 計	495	122	93	359	390	82	0	1,541

(3) 月所別事故報告件数

区 分	小 学 校			中 学 校		
	発 生	継 続	計	発 生	継 続	計
4 月	113	67	180	70	64	134
5 月	44	38	82	28	31	59
6 月	82	69	151	69	78	147
7 月	80	47	127	78	82	160
8 月	84	40	124	61	72	113
9 月	16	6	22	13	10	23
10 月	53	72	125	62	71	133
11 月	60	40	100	62	62	124
12 月	79	45	124	64	40	104
1 月	77	47	124	56	74	130
2 月	85	73	158	52	83	135
3 月	75	55	130	78	61	139
計	848	599	1,447	693	728	1,421

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

(4) 傷害別事故発生件数

区 分		挫創	骨折	捻挫	挫傷・打撲	その他	計
小学校	件数	77	250	108	280	133	848
	割合	9.08%	29.48%	12.74%	33.02%	15.68%	100.00%
中学校	件数	25	237	128	166	137	693
	割合	3.61%	34.20%	18.47%	23.95%	19.77%	100.00%
合 計	件数	102	487	236	446	270	1,541
	割合	6.62%	31.60%	15.32%	28.94%	17.52%	100.00%

(5) 体育的活動時の種目別事故発生件数

区 分	水 泳	体 操	器 械 操	陸 上	ド ッ ジ ボ ー ル	サ ツ カ ー	テ ニ ス	ソ フ ト ボ ー ル	野 球	ハ ン ド ボ ー ル	バ レ ー ボ ー ル	バスケットボール	卓 球	柔 道	剣 道	他	合 計
小学校	8	0	59	44	9	27	1	20	0	1	13	58	0	0	0	59	299
中学校	3	0	25	64	5	39	31	15	23	24	59	107	8	11	10	57	481
合 計	11	0	84	108	14	66	32	35	23	25	72	165	8	11	10	116	780

(6) 学校医

区 分	人 員	区 分	人 員	区 分	人 員
内 科 医	50 人	耳 鼻 科 医	14 人	薬 剤 師	55 人
眼 科 医	18 人	歯 科 医	70 人		

5 学校保健

児童・生徒の平均体位

(令和5年度)

区 分	年 齢	性 別	身 長 (cm)			体 重 (kg)		
			岡 崎 市	(令 和 4 年 度) 愛 知 県	(令 和 4 年 度) 全 国	岡 崎 市	(令 和 4 年 度) 愛 知 県	(令 和 4 年 度) 全 国
小 学 校	6	男	116.1	116.7	117.0	21.0	21.6	21.8
		女	115.4	116.0	116.0	20.7	21.1	21.3
	7	男	122.4	122.8	122.9	24.1	24.5	24.6
		女	121.4	121.4	122.0	23.5	23.5	24.0
	8	男	128.1	128.3	128.5	27.4	27.6	28.0
		女	127.3	127.4	128.1	26.5	26.6	27.3
	9	男	133.4	133.3	133.9	30.8	31.0	31.5
		女	133.9	134.1	134.5	30.2	30.2	31.1
	10	男	139.2	140.4	139.7	34.4	35.8	35.7
		女	140.3	140.5	141.4	34.0	34.6	35.5
中 学 校	11	男	145.3	145.7	146.1	38.8	39.3	40.0
		女	147.3	147.5	147.9	39.6	39.7	40.5
	12	男	152.3	154.0	154.0	43.3	45.6	45.7
		女	151.7	151.8	152.2	43.8	43.5	44.5
	13	男	160.3	160.7	160.9	49.8	49.9	50.6
		女	154.4	154.5	154.9	46.1	46.7	47.7
	14	男	165.4	165.7	165.8	54.9	54.3	55.0
		女	156.0	156.3	156.5	49.0	49.3	49.9

6 学校施設

(1) 令和5年度主要工事（実績）

区分	学 校 名	内 容
小学校	岡崎小学校、大樹寺小学校	校舎等大規模改修
	大門小学校、上地小学校	教室改修
	秦梨小学校、常磐南小学校	校舎等外部改修
	上地小学校	便所改修
	緑丘小学校	給排水・消火設備改修
	男川小学校、本宿小学校、奥殿小学校	受変電設備改修
	緑丘小学校	公共下水道切替
	梅園小学校ほか 15 校	防犯カメラ設置
	梅園小学校ほか 33 校	LED照明取替
中学校	甲山中学校	校舎大規模改修
	岩津中学校	校舎外部改修
	城北中学校、六ツ美北中学校	便所改修
	甲山中学校ほか 17 校	LED照明取替

(2) 令和6年度主要工事（予定）

区分	学 校 名	内 容
小学校	岡崎小学校、大樹寺小学校、美合小学校	校舎大規模改修
	連尺小学校	便所改修
	岩津小学校	受変電設備改修、校舎復旧
	大樹寺小学校	エレベーター設置
	愛宕小学校ほか 6 校	防犯カメラ設置
	男川小学校ほか 9 校	LED照明取替
中学校	甲山中学校、矢作中学校	校舎大規模改修
	甲山中学校	エレベーター設置
	葵中学校	給排水・消火設備改修
	福岡中学校、北中学校	便所改修
	新香山中学校	プールサイド改修
	北中学校	受変電設備改修
	甲山中学校ほか 7 校	LED照明取替

7 市立小学校概要

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	児 童 数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
1	梅 園	M2. 9	22-3566 (3567)	稲熊町字 4 丁目 68 番地 1	444-0071	熊谷 清一	695	15
2	根 石	M5. 5	22-3646 (3647)	欠町字石ヶ崎 1 番地 2	444-0011	稲垣 祐嗣	598	22
3	男 川	M6. 4	22-1159 (1285)	大平町字中道 17 番地	444-0007	中西 勉	563	30
4	美 合	M26. 1	51-1020 (1019)	岡町字南石原 30 番地	444-0005	鈴木 正統	251	13
5	緑 丘	S50. 4	51-5693 (5506)	美合町字沢渡 12 番地	444-0802	後田 和紀	681	22
6	羽 根	S10. 5	51-1795 (1667)	羽根町字池脇 24 番地 2	444-0813	河合 正浩	711	29
7	岡 崎	M6. 7	51-1252 (1315)	針崎町字フロ 1 番地	444-0827	鈴木 勝久	800	35
8	六 名	S11. 4	51-3536 (3537)	六名三丁目 2 番地 1	444-0856	太田 幹也	901	23
9	三 島	M6. 3	51-0568 (0569)	明大寺町字池上 1 番地	444-0864	柴田 知子	472	13
10	竜 美 丘	S51. 4	52-1275 (1285)	竜美台一丁目 1 番地	444-0873	岩瀬 竜弥	672	30
11	連 尺	M4. 2	22-6574 (6575)	城北町 4 番地	444-0064	伊豫田 守	404	18
12	広 幡	M7. 4	21-0610 (0717)	広幡町 11 番地 1	444-0066	清松 治子	556	42
13	井 田	S26. 4	22-2146 (2197)	井田町字茨坪 4 番地 3	444-0077	牧野 守	1081	35
14	愛 宕	S31. 4	22-4419 (4090)	伊賀町字愛宕山 1 番地	444-0075	小嶋 勝彦	149	14
15	福 岡	M6. 9	51-9040 (9082)	福岡町字西市仲 3 番地	444-0825	磯村 彰久	613	27
16	竜 谷	M25.	53-3865 (3129)	竜泉寺町字松本 34 番地 4	444-3524	手島 露子	112	3
17	藤 川	M5.	48-2029 (2334)	藤川町字西町北 44 番地	444-3523	佐橋 康仁	289	15
18	山 中	M13. 9	48-2201 (2430)	舞木町字天神越 1 番地	444-3511	大久保孝治	211	15
19	本 宿	M25. 10	48-2504 (3154)	本宿町字三本松入 14 番地 1	444-3505	中立 香	268	6
20	生 平	M38. 4	47-2547 (2172)	生平町字鷺場 25 番地 1	444-3334	尾崎 智佳	47	8
21	秦 梨	M6.	47-2548 (2196)	秦梨町字世土田 2 番地	444-3343	山本 伸	32	2
22	常 磐 南	M6. 4	46-2005 (2048)	田口町字岩本 12 番地 4	444-3172	林 幸康	162	3
23	常 磐 東	M25. 10	46-2108 (2049)	米河内町字惣作 32 番地	444-3467	河合由起子	44	1
24	常 磐	M6. 3	46-2003 (4033)	滝町字入ノ谷 3 番地 4	444-3173	富田 好己	180	11
25	恵 田	M7. 4	45-2225 (2124)	恵田町字三月ヶ入 71 番地 1	444-2107	岡本 弘恵	37	3
26	奥 殿	M5. 9	45-2207 (2349)	奥殿町字仲西 73 番地 2	444-2108	長坂麻奈美	77	6
27	細 川	M4.	45-2701 (2713)	細川町字石田 45 番地	444-2149	石川 恒彦	669	41
28	岩 津	M6. 2	45-2007 (2036)	岩津町字申堂 24 番地 2	444-2144	長坂 博子	496	24
29	大 樹 寺	M6. 12	22-1419 (6366)	鴨田町字広元 31 番地	444-2121	坂元 干城	575	29
30	大 門	S51. 4	23-8709 (8704)	大門四丁目 4 番地 1	444-2135	紀平 高之	778	32
31	矢 作 東	T4. 4	31-3233 (2610)	矢作町字切戸 28 番地	444-0943	矢田 雅彦	672	15
32	矢 作 北	M6. 7	31-4574 (4579)	橋目町字西遠山 9 番地 2	444-0908	細井 鶴貴	776	40
33	矢 作 西	T13. 4	31-3283 (8179)	宇頭町字長合 40 番地	444-0905	原田 真弓	279	15
34	矢 作 南	M5. 12	31-2723 (2863)	大和町字西島 13 番地	444-0931	川端 啓介	739	26
35	六ツ美中部	M41. 3	43-2260 (5490)	下青野町字井戸尻 71 番地	444-0244	神谷 敦仁	259	4

Ⅳ 資 料 第 2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (M×コース)		県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室	標準	低学年	校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
7,038	1,329	11,400	22,930	27	14	25×5	25×3	34.5	1	2	0		①	梅 園
6,100	1,295	12,554	30,202	27	15	25×5	25×2	33.5	1	1	1		①	根 石
4,792	785	10,739	21,426	26	10	25×5	25×2	33.5	1	1	1		①	男 川
4,568	787	8,025	16,076	14	13	25×5	25×2	19.0	1	1	0		①	美 合
6,288	790	9,411	26,915	28	18	25×5	25×2	35.5	1	1、①	0		①	緑 丘
5,831	773	16,088	23,752	29	12	25×5	25×2	38.0	1	2	0		1	羽 根
7,951	790	11,626	26,278	34	17	25×5	25×2	40.5	1	2	0		(1)	岡 崎
6,647	1,279	9,746	22,054	34	11	25×5	25×3	42.0	2	2	0		1	六 名
5,046	787	8,115	29,055	19	9	25×5	25×2	25.5	1	1	0		1	三 島
6,551	790	11,244	29,947	31	16	25×5	25×2	38.5	1	2	0		1 ①	竜 美 丘
5,275	1,262	16,082	25,980	20	13	25×5	25×2	25.0	1	1	0		①	連 尺
5,745	790	12,024	22,726	29	11	25×5	25×2	37.0	1	2	0		①	広 幡
6,929	1,269	21,389	44,672	41	11	25×7	25×3	51.0	2	2	0		①	井 田
3,998	1,263	11,678	25,920	11	12	25×5	25×2	14.0	1	1	0		1	愛 宕
5,708	832	16,277	31,791	28	6	25×5	25×2	35.0	1	1	1		1	福 岡
3,259	790	12,435	36,952	8	10	25×5	25×2	11.0	1	1	0		1 ①	竜 谷
4,391	789	5,380	12,312	15	16	25×5	25×2	20.0	1	1	0		1	藤 川
3,741	590	8,631	12,564	13	12	25×5	25×1	19.5	1	1	0		1	山 中
5,664	790	10,820	40,611	14	24	25×5	25×2	20.0	1	①	0		(1)	本 宿
2,303	589	8,004	17,400	9	7	25×3	25×1	12.0	1	1	0		①	生 平
2,009	623	5,201	10,644	7	7	25×3	25×1	10.0	1	1	0		(1)	秦 梨
2,356	626	8,814	22,476	9	5	25×3	25×1	12.0	1	1	0		①	常 磐 南
2,341	634	8,502	26,568	7	7	25×3	25×2	10.0	1	1	0		①	常 磐 東
4,003	790	14,155	33,026	11	12	25×5	25×2	14.0	1	1	0		①	常 磐
2,533	626	10,117	19,498	8	7	25×3	25×1	11.0	1	1	0		①	恵 田
2,546	832	8,484	20,651	10	7	25×5	25×2	13.0	1	1	0		1	奥 殿
6,763	790	10,573	23,100	28	17	25×5	25×2	35.5	1	2	0		(1)	細 川
4,667	795	8,351	22,085	23	9	25×5	25×2	28.0	1	1	1		①	岩 津
6,461	1,399	8,120	20,147	26	16	25×5	25×2	33.0	1	1	1		①	大 樹 寺
5,935	790	10,996	23,471	32	13	25×5	25×2	38.5	1	2	0		1	大 門
5,577	792	10,189	18,857	27	10	25×5	25×2	35.5	1	1	0		1	矢 作 東
6,271	865	11,605	23,468	32	16	25×5	25×2	40.5	1	2	0		1	矢 作 北
4,357	803	8,783	19,375	15	9	25×5	25×2	21.0	1	1	1		1	矢 作 西
6,160	818	7,950	17,761	29	16	25×5	25×2	35.5	2	2	1		1	矢 作 南
3,743	790	9,749	18,955	13	9	25×5	25×2	17.0	1	1	1		1	六ツ美中部

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	児 童 数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
36	六ツ美北部	M41.4	52-2257 (2268)	土井町字炭焼2番地	444-0204	深津 伸夫	687	23
37	六ツ美南部	M41.3	43-2105 (1370)	中島町字下井ノ上9番地1	444-0226	清水 孝治	600	26
38	城 南	S52.4	52-2913 (2423)	城南町一丁目11番地	444-0835	二村 久	390	34
39	上 地	S58.4	53-0501 (0506)	上地三丁目31番地	444-0823	浅井 貞人	695	36
40	小 豆 坂	S59.4	54-1651 (1652)	戸崎町字藤狭13番地5	444-0841	塚谷 保	491	25
41	北 野	S60.4	31-1112 (1113)	北野町字山下1番地1	444-0951	本郷 一毅	518	14
42	六ツ美西部	H9.4	71-2971 (2973)	赤渋町字道本33番地	444-0241	寺島 真澄	702	27
43	豊 富	M7.3	82-3073 (3713)	檉山町字西之沢3番地	444-3622	加藤 環	192	5
44	夏 山	M7.8	82-3015 (3649)	夏山町字細田7番地1	444-3621	川本 祐二	25	0
45	宮 崎	M6.	83-2260 (2270)	石原町字古城9番地	444-3601	都筑 香理	20	1
46	形 埜	M6.9	84-2002 (2003)	桜形町字中嶋13番地	444-3435	内田 雅之	42	4
47	下 山	M5.8	84-2204 (2209)	保久町字市場16番地	444-3442	鈴木紀予子	17	3
		(47校)					20, 228	865

IV 資 料

第 2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (M×コース)		県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室	標準	低学年	校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
6,722	792	11,183	22,553	26	14	25×5	25×2	32.0	1	1	0		(1)	六ツ美北部
5,435	790	10,892	19,798	25	8	25×5	25×2	29.5	1	1	0		①	六ツ美南部
6,101	790	12,739	25,783	20	17	25×5	25×2	26.5	1	1	0		(1)	城 南
5,992	832	10,856	24,901	31	10	25×5	25×2	39.5	1	2	0		1	上 地
5,644	833	8,492	22,289	22	18	25×5	25×2	29.0	1	1	0		①	小 豆 坂
5,752	834	10,131	19,543	22	16	25×5	25×2	28.0	1	1	0		1	北 野
6,312	1,252	12,504	21,698	30	16	25×5	25×2	39.5	1	2	0		(1)	六ツ美西部
3,687	1,159	10,722	22,311	9	10	25×6	25×2	13.5	1	1	0		(1)	豊 富
1,841	684	4,746	11,096	4	10	25×3	なし	7.0	1	①	0		(1)	夏 山
1,815	986	5,961	12,051	5	8	25×4	25×1	8.0	1	1	0		①	宮 崎
1,820		9,351	17,854	8	7	25×5	25×2	11.0	1	1	0		(1)	形 埜
1,612	1,137	6,466	15,887	5	5	25×4	25×1	8.0	1	1	0		①	下 山
226,280	40,431	487,300	1,075,409	941	556			1211.0	50.0	58③	8	0	18②(10)	計

県費負担職員の短時間勤務再任用者を 0.5 人と計算

運動場及び校地面積は、借用地を含む

8 市立中学校概要

番号	校 名	創立年月	電話 (FAX)	所 在 地	郵便番号	校 長	生 徒 数 (人)	
							通常学級	特別支援学級
1	甲 山	S22. 4	22-2664 (2665)	中町字北野東 20 番地 1	444-0015	加藤 嘉一	731	15
2	美 川	S22. 4	21-1898 (4688)	丸山町字ハサマ 4 番地 1	444-0006	安藤 眞樹	528	27
3	南	S22. 4	51-4664 (4665)	戸崎町字野畔 8 番地 1	444-0840	岡 秀之	432	20
4	竜 海	S22. 4	51-4538 (4539)	明大寺町字栗林 48 番地 1	444-0864	児玉 洋行	1061	24
5	葵	S22. 4	21-0171 (0172)	伊賀新町 31 番地 1	444-0078	柴田 昌一	703	23
6	城 北	S36. 4	21-8103 (8104)	城北町 3 番地 1	444-0064	山本 則夫	464	16
7	福 岡	S22. 4	51-9057 (9099)	福岡町字井杭 3 番地	444-0825	森 竜師	440	9
8	東 海	S22. 4	48-2821 (2822)	山綱町字中柴 51 番地	444-3513	長谷川勝一	464	8
9	河 合	S22. 4	47-2012 (2023)	茅原沢町字上平 7 番地	444-3335	寺澤 益実	60	3
10	常 磐	S22. 4	46-2028 (2054)	滝町字山籠 109 番地	444-3173	近藤 善紀	249	3
11	岩 津	S22. 4	45-2022 (2595)	東蔵前二丁目 36 番地	444-2145	小野 隆義	395	14
12	矢 作	S22. 4	31-3808 (3809)	暮戸町字蓮代 18 番地	444-0941	山内 貴弘	706	19
13	六 ツ 美	S22. 4	43-2071 (2398)	下青野町字井戸尻 72 番地	444-0244	兵藤 輝徳	469	5
14	矢 作 北	S56. 4	31-3611 (3612)	東大友町字筆屋 43 番地 1	444-0903	荒河 昌吾	886	16
15	新 香 山	S59. 4	45-2026 (7803)	桑原町字大沢 20 番地 86	444-2141	林 正彦	484	12
16	竜 南	S61. 4	54-4400 (4401)	緑丘二丁目 17 番地	444-0806	竹平 真仁	555	12
17	北	S63. 4	22-8740 (8739)	上里一丁目 10 番地	444-2136	板倉 眞介	625	20
18	六 ツ 美 北	H4. 4	54-2431 (2432)	井内町字六反 2 番地	444-0203	成田 隆行	762	17
19	額 田	S47. 4	82-3160 (3283)	檜山町字原新田 88 番地	444-3622	夏目 弘之	165	8
20	翔 南	H25. 4	71-1122 (1188)	針崎町字春咲 1 番地 2	444-0827	寺坂 信久	718	15
		(20 校)					10897	286

IV 資 料

第 2 学校関係

() は会計年度任用職員数 ○は再任用職員数

校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積 (㎡)	運動場 (㎡)	校地面積 (㎡)	保有教室数		プール (MXコース) 標準	県費負担職員				市費職員		校 名
				普通教室	特別教室		校長・教員	養護	事務	栄養	事務	校務	
7,544	1,399	15,103	37,634	26	20	25×7	46.0	1	2	0		1①	甲 山
6,740	1,621	13,107	25,885	21	25	25×6	38.0	1	2	0		1	美 川
8,009	1,621	13,600	26,523	17	28	25×7	31.0	1	1	0	(1)	1	南
8,946	1,966	17,968	44,794	33	20	25×6	60.5	2	2	0		①	竜 海
6,678	1,384	23,033	52,852	23	17	50×8	40.0	1	2	0		1	葵
6,423	1,840	15,799	26,913	17	20	25×7	29.0	1	1	0	(1)	1	城 北
6,325	1,707	19,043	32,136	15	16	25×7	26.0	1	1	1	(1)	1	福 岡
7,027	1,586	15,535	29,562	16	26	25×7	28.0	1	2	1		1	東 海
2,364	743	8,322	15,937	6	8	25×4	13.0	1	1	0		①	河 合
4,421	1,929	9,601	17,450	11	9	25×5	19.0	1	1	0		1	常 磐
5,188	1,883	18,740	30,117	16	13	25×7	28.0	1	1	1	(1)	1	岩 津
7,435	1,493	20,831	34,766	23	19	25×7	41.5	1	2	0		①	矢 作
7,183	850	15,770	28,839	16	22	25×7	27.0	1	1	0	(1)	①	六 ツ 美
7,579	870	15,992	28,439	30	20	25×7	52.0	2	2	1		①	矢 作 北
6,309	1,273	18,727	35,649	16	20	25×7	28.0	1	1	0	(1)	1	新 香 山
6,735	1,146	16,779	29,001	19	23	25×7	31.0	1	1	0	(1)	①	竜 南
7,408	1,153	16,276	30,507	21	22	25×7	36.5	1	2	0	(1)	1	北
8,471	1,177	18,096	30,242	26	19	25×7	48.5	1	2	0		①	六 ツ 美 北
5,769	3,362	20,479	53,031	8	24	25×7	15.0	1	1	0		①	額 田
8,028	1,510	17,026	31,584	24	18	25×7	43.0	1	2	0		①	翔 南
134,582	30,513	329,827	641,861	384	389		681.0	22.0	29.0	4	(8)	11⑩	計

県費負担職員の短時間勤務再任用者を0.5人と計算

運動場及び校地面積は、借用地を含む

9 児童生徒数一覽

区分	番号	学 校 名	1年						2年						3年					
			男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級
小	1	梅 園	67	2	39		108	4	50	2	43	2	97	3	49	3	68		120	4
	2	根 石	39	3	42	2	86	3	46	3	50		99	4	39	1	53	1	94	3
	3	男 川	44	2	45		91	3	64	1	47	2	114	4	49	5	42	2	98	3
	4	美 合	22	2	16	1	41	2	19	1	13		33	1	17	1	27		45	2
	5	緑 丘	65	5	59	2	131	4	57	5	56	1	119	4	60	3	65		128	4
	6	羽 根	63	1	63	1	128	4	59	4	65	2	130	4	59	5	57	2	123	4
	7	岡 崎	69	7	60		136	5	57	3	68		128	4	66	3	66	1	136	4
	8	六 名	68	5	73		146	5	65	3	77	1	146	5	75	1	78		154	5
	9	三 島	35	1	26	1	63	2	31	1	32		64	2	48	2	40		90	3
	10	竜 美 丘	64	2	55		121	4	40	3	58	1	102	4	53	2	61	1	117	4
	11	連 尺	29	1	45		75	3	36	2	33		71	3	37	2	36	2	77	3
	12	広 幡	36	8	45	2	91	3	43	3	52		98	3	59	4	47	2	112	4
	13	井 田	80	2	77	4	163	5	90	7	99	1	197	6	74	2	102		178	6
	14	愛 宕	8		15		23	1	13	2	14	3	32	1	11	3	16		30	1
	15	福 岡	46	7	52	1	106	4	48	3	37	1	89	3	55	4	65	1	125	4
	16	童 谷	7		8		15	1	11	1	6		18	1	10		11		21	1
	17	藤 川	32	1	20		53	2	16	4	26	1	47	2	32	4	27		63	2
	18	山 中	15	1	21	1	38	2	17		21		38	2	13	3	25		41	2
	19	本 宿	15	1	21	1	38	2	20		25	1	46	2	15	1	26	1	43	2
	20	生 平	2	3	4		9	1	3		2		5	1	4	1	7		12	1
	21	秦 梨	2		2		4	1	2				2		1		3		4	1
	22	常 磐 南	12	1	7		20	1	14		11		25	1	12	1	11		24	1
	23	常 磐 東	3		4		7	1			7	1	8	1	3		5		8	1
	24	常 磐 磐	11	2	7	1	21	1	18	3	17		38	2	11		18	1	30	1
	25	恵 田	2		2		4	1	3	1	3		7	1	1		2		3	1
	26	奥 殿	5	2	5		12	1	6	1	5	2	14	1	6		7		13	1
	27	細 川	49	6	36	1	92	3	42	4	51	2	99	3	55	5	49	1	110	3
	28	岩 津	31	4	37	2	74	3	38	3	42	2	85	3	39	5	27	1	72	2
	29	大 樹 寺	57	1	58	2	118	4	40	3	34	1	78	3	52	6	55	1	114	4
	30	大 門	57	7	67	1	132	4	59	4	68	1	132	5	67	7	77		151	5
校	31	矢 作 東	65	3	54	1	123	4	48		71	2	121	4	57	2	53		112	4
	32	矢 作 北	63	8	61	2	134	4	54	7	64		125	4	80	4	70	3	157	5
	33	矢 作 西	23	1	14		38	2	22	1	27		50	2	26	3	21		50	2
	34	矢 作 南	54	3	52	1	110	4	51	3	73	1	128	4	68	2	67	3	140	4
	35	六ツ美中部	23		28	1	52	2	18		15		33	2	27	1	30	2	60	2
	36	六ツ美北部	50	6	52	2	110	4	58		53	1	112	4	50	4	52		106	3
	37	六ツ美南部	47	3	44	3	97	3	55	3	49	2	109	4	56	2	52	1	111	4
	38	城 南	27		35		62	3	32	3	24	3	62	2	34	2	29	2	67	2
	39	上 地	44	6	62	2	114	4	51	6	63	1	121	4	61	3	60		124	4
	40	小 豆 坂	38	2	43	1	84	3	40	6	38	1	85	3	35	4	23	2	64	2
	41	北 野	45	3	38		86	3	44	3	32		79	3	43		59	1	103	3
	42	六ツ美西部	57	2	59		118	4	54		53	6	113	4	58	6	54	4	122	4
	43	豊 富	13		14		27	1	13	1	16		30	1	19	2	15		36	1
	44	夏 山	1		1		2	1	3		3		6	1			4		4	1
	45	宮 崎	3		3		6	1	1		3		4	1	3		1		4	1
	46	形 埜	3		4		7	1	3		5		8	1	1	1	5		7	1
	47	下 山			2		2	1	3		1		4		2		1		3	1
		計	1,591	114	1,577	36	3,318	125	1,557	100	1,652	42	3,351	123	1,692	110	1,769	35	3,606	126
中	1	甲 山	125	2	128		255	8	108	5	126	1	240	6	120	7	124		251	7
	2	美 川	88	4	80	5	177	5	89	7	86	3	185	5	105	6	80	2	193	5
	3	南	64	5	73	3	145	4	80	3	76	1	160	4	63	5	76	3	147	4
	4	竜 海	153	9	180	3	345	10	187	4	196		387	10	168	8	177		353	9
	5	菱	131	5	107	1	244	7	126	6	111	2	245	6	122	7	106	2	237	6
	6	城 北	77	2	75	1	155	5	84	4	85	4	177	5	69	2	74	3	148	4
	7	福 岡	92	2	74	1	169	5	64		72	1	137	4	78	4	60	1	143	4
	8	東 海	95	3	84	1	183	6	72	1	66	1	140	4	85	2	62		149	4
	9	河 合	12	1	7		20	1	9	1	10	1	21	1	11		11		22	1
	10	常 磐	44		38		82	3	49		29		78	2	37	3	52		92	3
	11	岩 津	63	4	61	1	129	4	75	3	60	2	140	4	74	2	62	2	140	4
	12	矢 作	105	7	126	1	239	7	105	2	118	3	228	6	125	6	127		258	7
	13	六 ツ 美	61		84	1	146	5	96	1	72		169	5	86	2	70	1	159	4
	14	矢 作 北	129	6	153	1	289	9	147	6	137		290	8	170	3	150		323	9
	15	新 香 山	66	4	95		165	5	80	2	79		161	4	68	6	96		170	5
	16	竜 南	97	2	95		194	6	110	5	84	1	200	5	103	4	66		173	5
	17	北	93	6	106	6	211	6	106	4	110		220	6	119	4	91		214	6
	18	六 ツ 美 北	139	8	119	1	267	8	121	3	132		256	7	137	3	114	2	256	7
	19	額 田	29	2	16	2	49	2	32	2	27	2	63	2	30		31		61	2
	20	翔 南	105	3	101	4	213	6	124	6	134		264	7	130	2	124		256	7
		計	1,768	75	1,802	32	3,677	112	1,864	65	1,810	22	3,761	101	1,900	76	1,753	16	3,745	103
		小・中 計																		

Ⅳ 資 料

第 2 学校関係

(令和 6 年 5 月 1 日現在)

4年						5年						6年						特別支援	合計					
男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	男	特	女	特	計	級	(計)	級	男	女	計	級	
66	2	56	1	125	4	61	1	67		129	4	67	1	62	1	131	4	15	4	371	339	710	27	
51	2	57		110	4	47	3	62	3	115	4	55	2	57	2	116	4	22	5	291	329	620	27	
49	4	43	2	98	3	40	4	47	2	93	3	55	3	38	3	99	3	30	7	320	273	593	26	
19	1	27	2	49	2	21	3	21	1	46	2	30		19	1	50	2	13	3	136	128	264	14	
56	2	52	2	112	4	57	1	51		109	4	55		48	1	104	3	22	5	366	337	703	28	
48	7	58		113	4	57	3	50		110	4	70	4	62		136	4	29	5	380	360	740	29	
50	1	69	4	124	4	82	7	67		156	5	84	6	62	3	155	5	35	7	435	400	835	34	
70	5	73	2	150	5	76	3	80		159	5	77	3	89		169	5	23	4	451	473	924	34	
45	5	45		95	3	36	3	44		83	3	41		49		90	3	13	3	248	237	485	19	
74	3	53	3	133	4	51	4	55	2	112	4	55	6	53	3	117	4	30	7	357	345	702	31	
36	2	33	2	73	2	33	1	30	1	65	2	30	3	26	2	61	2	18	5	212	210	422	20	
39	8	45	3	95	3	42	5	45	1	93	3	46	2	57	4	109	3	42	10	295	303	598	29	
84	6	85	1	176	5	106	3	93	2	204	6	88	6	103	1	198	6	35	7	548	568	1,116	41	
8	1	17		26	1	16		12		28	1	9	3	10	2	24	1	14	5	74	89	163	11	
50	1	50	1	102	3	36	4	60	2	102	3	56	1	58	1	116	4	27	7	311	329	640	28	
3	1	11		15	1	18		8	1	27	1	9		10		19	1	3	2	60	55	115	8	
16	2	21		39	2	33	2	21	1	57	2	27		18		45	2	15	3	169	135	304	15	
19	3	12	1	35	1	22		14		36	2	16	5	16	1	38	1	15	3	114	112	226	13	
34	1	19		54	2	22		22		44	2	30		19		49	2	6	2	139	135	274	14	
5	2	3		10	1	6		1		7	1	4	1	6	1	12	1	8	3	31	24	55	9	
3		5		8	1	4	1	6	1	12	1	3		1		4	1	2	2	16	18	34	7	
14		17		31	1	14	1	11		26	1	20		19		39	2	3	2	89	76	165	9	
3		4		7	1	4		1		5	1	6		4		10	1	1	1	19	26	45	7	
13	1	18		32	1	12	2	16		30	1	27		12	1	40	2	11	3	100	91	191	11	
5	2	2		9	1	5		3		8	1	6		3		9	1	3	2	25	15	40	8	
7	1	5		13	1	5		8		13	1	9		9		18	1	6	4	42	41	83	10	
70	7	58	1	136	4	65	5	61	2	133	4	70	5	63	2	140	4	41	7	383	327	710	28	
44		49	1	94	3	46	3	43		92	3	42	2	58	1	103	3	24	6	257	263	520	23	
52	3	40	3	98	3	64	5	41		110	3	43	3	39	1	86	3	29	6	329	275	604	26	
71	2	58	3	134	4	60	2	73	2	137	4	70	2	51	1	124	4	32	6	408	402	810	32	
53		50	2	105	3	57	3	48		108	3	57		59	2	118	4	15	5	345	342	687	27	
59	8	64	4	135	4	68	1	68	1	138	4	71	2	54		127	4	40	7	425	391	816	32	
21	2	26	1	50	2	25	3	26	2	56	2	20	2	28		50	2	15	3	149	145	294	15	
58	5	62	1	126	4	62	4	64	1	131	4	56	1	72	1	130	4	26	5	367	398	765	29	
18		10		28	1	25		28		53	2	20		17		37	2	4	2	132	131	263	13	
62	1	53		116	4	64	3	61		128	4	73	5	59	1	138	4	23	3	376	334	710	26	
44	2	45	3	94	3	59	1	48	1	109	4	54	3	47	2	106	3	26	4	329	297	626	25	
35	5	26	3	69	2	30	5	30	2	67	2	40	6	48	3	97	3	34	6	219	205	424	20	
71	4	57	1	133	4	53	7	54	2	116	4	57	3	62	1	123	4	36	7	366	365	731	31	
49	2	38		89	3	46	4	54	2	106	3	39		48	1	88	3	25	5	265	251	516	22	
47	2	34	2	85	3	41	3	37		81	3	46		52		98	3	14	4	277	255	532	22	
72	3	64	1	140	4	59		43	2	104	3	65		64	3	132	4	27	7	376	353	729	30	
15	1	16		32	1	20		10	1	31	1	22		19		41	2	5	2	106	91	197	9	
1		3		4		3		4		7	1	1		1		2				9	16	25	4	
2	1	1		4				2		2	1	1				1		1	1	11	10	21	5	
3	1	5		9	1	2	2	3		7	1	3		5		8	1	4	2	19	27	46	8	
2				2		2				4	1	1	1	3		5		3	2	13	7	20	5	
1,716	112	1,639	50	3,517	117	1,757	104	1,693	35	3,589	124	1,826	81	1,759	46	3,712	125	865	201	10,760	10,333	21,093	941	
																		15	5	367	379	746	26	
																		27	6	299	256	555	21	
																		20	5	220	232	452	17	
																		24	4	529	556	1,085	33	
																		23	4	397	329	726	23	
																		16	3	238	242	480	17	
																		9	2	240	209	449	15	
																		8	2	258	214	472	16	
																		3	3	34	29	63	6	
																		3	3	133	119	252	11	
																		14	4	221	188	409	16	
																		19	3	350	375	725	23	
																		5	2	246	228	474	16	
																		16	4	461	441	902	30	
																		12	2	226	270	496	16	
																		12	3	321	246	567	19	
																		20	3	332	313	645	21	
																		17	4	411	368	779	26	
																		8	2	95	78	173	8	
																		15	4	370	363	733	24	
																		286	68	5,748	5,435	11,183	384	
																		1,151	269	16,508	15,768	32,276	1,325	

10 市立小中学校以外の学校等(各種学校を除く)

(1) 研究機関

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
国 立	自然科学研究機構 (分子科学研究所・基礎生物学研究所・生理学研究所)	明大寺町字西郷中 38 番地	55-7000

(2) 小・中・養護・盲・聾学校

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
国 立	愛知教育大学附属岡崎小学校	六供町字八貫 15 番地	21-2237
〃	愛知教育大学附属岡崎中学校	明大寺町字栗林 1 番地	51-3637
〃	愛知教育大学附属特別支援学校	六供町字八貫 15 番地	21-7300
県 立	岡 崎 盲 学 校	竜美西一丁目 11 番地 5	51-1270
〃	岡 崎 聾 学 校	西阿知和町字御用田 1 番地 23	45-2830
〃	岡 崎 特 別 支 援 学 校	本宿町字古新田 78 番地	48-2601
〃	み あ い 特 別 支 援 学 校	美合町字並松 1 番地 51	57-0013

(3) 高等学校

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
県 立	岡 崎 高 等 学 校	明大寺町字伝馬 1 番地	51-0202
〃	岡 崎 北 高 等 学 校	石神町 17 番地 1	22-2536
〃	岡 崎 東 高 等 学 校	竜泉寺町字後山 27 番地	52-8911
〃	岡 崎 西 高 等 学 校	日名南町 7 番地	25-0751
〃	岩 津 高 等 学 校	東蔵前町字馬場 5 番地	45-2005
〃	岡 崎 工 科 高 等 学 校	羽根町字陣場 47 番地	51-1646
〃	岡 崎 商 業 高 等 学 校	栄町三丁目 76 番地	21-3599
私 立	人間環境大学附属岡崎高等学校	稲熊町字三丁目 110 番地	22-0274
〃	光ヶ丘女子高等学校	大西町字奥長入 52 番地	51-5651
〃	岡 崎 城 西 高 等 学 校	中園町字川成 98 番地	31-4165
〃	愛知産業大学三河高等学校	岡町字原山 12 番地 10	48-5211

IV 資 料

第 2 学校関係

(4) 大学・短期大学

設置区分	名 称	所 在 地	電 話
私 立	愛 知 学 泉 大 学	舳越町字上川成 28 番地	34-1212
〃	愛 知 産 業 大 学	岡町字原山 12 番地 5	48-4511
〃	人 間 環 境 大 学	本宿町字上三本松 6 番地 2	48-7811
〃	岡 崎 女 子 大 学	中町一丁目 8 番地 4	22-1295
〃	愛 知 学 泉 短 期 大 学	舳越町字上川成 28 番地	34-1212
〃	岡 崎 女 子 短 期 大 学	中町一丁目 8 番地 4	22-1295
〃	愛 知 産 業 大 学 短 期 大 学	岡町字原山 12 番地 5	48-8282

(5) 認定こども園・幼稚園

設置区分	園 名	所 在 地	電話番号
市立	梅 園 こ ど も 園	梅園町字 2 丁目 6 番地 1	22-0469
〃	広 幡 こ ど も 園	広幡町 11 番地 4	21-3723
〃	矢 作 こ ど も 園	矢作町字西河原 49 番地	31-3536
私立	愛 隣 幼 稚 園	六供町字西茶臼 15 番地	21-2538
〃	嫩 幼 稚 園	魚町一丁目 8 番地	21-0708
〃	第 一 早 蕨 幼 稚 園	欠町字狐ヶ入 21 番地	22-1678
〃	第 二 早 蕨 幼 稚 園	洞町字八王子 10 番地 1	22-1923
〃	め ぐ み 幼 稚 園	羽根町字池下 57 番地 1	51-2322
〃	みそのマリア 幼 稚 園	明大寺町字向山 2 番地 120	51-4046
〃	聖 カ タ リ ナ 幼 稚 園	大西町字奥長入 52 番地	51-7127
〃	竹 の 子 幼 稚 園	蓑川町 3 丁目 6 番地 18	52-2554
〃	レ オ ナ 第 一 幼 稚 園	真伝町字鐘鑄 1 番地 5	24-4859
〃	レ オ ナ 第 二 幼 稚 園	西阿知和町字御用田 208 番地 5	45-2729
〃	あ さ ひ こ 幼 稚 園	桑原町字大沢 29 番地 7	45-5300
〃	本 宿 幼 稚 園	本宿町字下トコフサ 1 番地 9	48-6973
〃	か お る 幼 稚 園	滝町字芳殿 80 番地	46-3251
〃	橋 目 幼 稚 園	橋目町字毘沙門 11 番地	32-2088
〃	た つ み 幼 稚 園	緑丘一丁目 2 番地 3	53-0250
〃	み や こ 幼 稚 園	上地町道ノ後 30	53-0161
〃	ま こ と 幼 稚 園	大門四丁目 5 番地 16	24-7988
〃	長 瀬 台 幼 稚 園	橋目町字割塚 3 番地 3	32-6721
〃	み や こ 第 二 幼 稚 園	宮地町字柳畑 58 番地 3	53-0039
〃	矢 作 白 鳥 幼 稚 園	東本郷町字川原田 39 番地	32-6810
〃	やはぎみやこ認定こども園	富永町字平田 10 番地 1	32-8100
〃	むつみみやこ 幼 稚 園	野畑町字花ノ木原 50	72-4839

※ 市立幼稚園は、平成 29 年 4 月から幼保連携型認定こども園へ移行

第3 体育施設

1 市内体育施設

(令和5年度)

施設名	所在地	開設年月日	内 容
岡崎中央総合公園 総合体育館	高隆寺町峠1	H3. 12. 15	体育館 8,540 m² 武道館 6,380 m² 錬成道場 4,210 m² エントランス 3,850 m² エントランス棟 事務室 会議室 応接室 喫茶室 ロビー ホール 観客用エントランスホール 体育館棟 競技場 2,646 m² (63m×42m) 移動 ステージ(2.4m×1.2m) 49 セット 観客席 固定 2,620 席 移動収納 2,300 席 ◎ バレーボール 4 面 バスケットボール 3 面 卓球 50 台 バドミントン 12 面 武道館棟 競技場 1,722 m² (42m×41m) ステージ(36m×8m) 観客席 固定 1,550 席 移動収納 620 席 ◎ 剣道 4 面 柔道 4 面 バレーボール 2 面 バスケットボール 2 面 錬成道場棟 第1錬成道場 客席 180 席 ◎ 剣道 540 m² (18m×30m) 2 面 第2錬成道場 客席 180 席 ◎ 柔道 540 m² (18m×30m) 2 面 トレーニングルーム ◎ トレーニング器具 31 種 56 台 ランニングコース 約 120m
岡崎市体育館	六名本町7	S51. 7. 1	敷地 12,996 m² 延床面積 13,256 m² 競技場 2,524 m² 剣道場 182 m² 柔道場 182 m² トレーニング室 187 m² 会議室 食堂 観 客席 2,544 席 駐車場 300 台 ◎バレーボール 4 面 バスケットボール 3 面 ハンドボール 1 面 テニス 3 面 卓球 30 台 バドミントン 12 面 体操競技 1 式
岡崎市矢作体育館	宇頭町小藪 49	S56. 4. 1	延床面積 1,186 m² 競技場 651 m² ◎バレーボール 1 面 (練習 2 面可能) バスケットボール 1 面 バドミントン 3 面 テニス 1 面 卓球 10 台
岡崎市井田体育館	伊賀新町 10-3	H21. 4. 1	延床面積 516.6 m² 競技場 400 m² ◎バレーボール 1 面 バドミントン 2 面 卓球 8 台
岡崎市六ツ美体育館	下青野町本郷 99-1	S60. 4. 29	延床面積 1,269.96 m² 体育室 945 m² 男・女更衣室各 16.96 m² 談話室 27.79 m² 器具庫 83.60 m² ◎バレーボール 2 面 バスケットボール 1 面 テニス 1 面 バドミントン 6 面 卓球 10 台
花園体育センター	桑原町大沢 20- 90	S62. 8. 1	(屋内運動場) 延床面積 1,188 m² 体育室 864 m² ミーティング室 40 m² 男・女更衣室各 12.06 m² ベビーホール 13.95 m² 器具庫 108 m² 事務室 13.95 m² ロビー ◎バレーボール 2 面 バドミントン 3 面 バスケットボール 1 面 卓球 16 台 (屋外運動場) 大広場 9,032 m² 照明設備 ◎軟式野球 1 面 (兼ソフトボール 1 面) 中広場 2,672 m² ◎テニスコート(クレートコート) 2 面
龍北総合運動場 軽運動室	真伝町亀山 12- 2	R2. 7. 5	(約 16.5m×7m/約 115 m²) ◎ヨガ 体操 ダンス

IV 資 料

第 3 体育施設

施 設 名	所 在 地	開設年月日	内 容
龍北総合運動場 陸上競技場	真伝町亀山 12-2	R2. 7. 5	◎トラック（全天候型舗装）8レーン（ホームストレッチは9レーン）
龍北総合運動場 サッカー・ラグビー場	真伝町亀山 12-2	R1. 12. 1	◎サッカー1面 少年サッカー2面 ラグビー1面 人工芝
岡崎中央総合公園 運動広場	高隆寺町峠 1	H7. 4. 1	敷地面積 17,900 m ² グラウンド面積 9,726 m ² ◎ソフトボール2面 サッカー、ラグビー1面 陸上競技場 200mトラック 照明設備 メタルハイドランプ 64 灯 平均照度 213Lx
龍北総合運動場 多目的運動場	真伝町亀山 12-2	R2. 7. 5	◎サッカー（少年）1面 フットサル2面 グラウンドゴルフ ゲートボール
岡崎中央総合公園 多目的広場	高隆寺町峠 1	H10. 11. 1	敷地面積 26,000 m ² ◎サッカー1面、ラグビー1面 移動式バックネット2組
岡崎中央総合公園 球技場	高隆寺町峠 1	H17. 4. 29	グラウンド面積 16,000 m ² 本部管理棟 147 m ² （本部室・更衣室・便所等） スタンド（1,500 人収容）土盛、芝 ◎軟式野球1面 ソフトボール2面 ゲートボール16面程度
境公園運動場	大門一丁目 1	S48. 2. 1 (照明 S54. 9. 15)	9,500 m ² ◎軟式野球2面（兼ソフトボール2面） サッカー1面 照明設備 1KW 水銀灯 94 灯 940W ナトリウム灯 36 灯
明神橋公園運動場	上六名一丁目 14	S55. 4. 1 (照明 S55. 4. 17)	8,000 m ² ◎軟式野球1面（兼ソフトボール1面） 照明設備 1KW 水銀灯 60 灯
日名公園運動場	日名南町 13	S42. 9. 1 (照明 S60. 4. 1)	7,000 m ² ◎ソフトボール1面 照明設備 1KW 水銀灯 56 灯 600W ナトリウム灯 32 灯
六名公園運動場	六名本町 8	S50. 9. 1 (照明 S55. 4. 3)	13,400 m ² ◎ソフトボール2面（兼陸上競技 200mトラック） サッカー1面 テニス練習場 3～5 人用（壁打ち） 照明設備 1KW 水銀灯 56 灯（ソフトボール1面分）
梅園公園運動場	稲熊町六丁目 135-1	H4. 3. 25	5,000 m ² ◎ソフトボール1面
美合公園運動場	美合町地蔵野 1-4	S42. 4. 1	5,000 m ² ◎ソフトボール1面
みどり公園運動場	緑丘二丁目 18	S59. 4. 1	6,084 m ² ◎ソフトボール1面
矢作公園運動場	中園町大縄 1	H4. 3. 25	12,600 m ² ◎ソフトボール2面
井田公園運動場	井田新町 10	S46. 4. 1	7,000 m ² ◎軟式野球1面（兼ソフトボール1面）
三百田公園運動場	大樹寺三丁目 21	S51. 4. 1	8,000 m ² ◎軟式野球1面（兼ソフトボール1面）
堤下公園運動場	上里一丁目 24	S54. 6. 1	8,500 m ² ◎軟式野球1面（兼ソフトボール1面）
東部運動場	桑谷町平田ヶ入 25-3	S58. 4. 4	14,649 m ² ◎軟式野球1面（兼ソフトボール1面）駐車場 40 台
美矢井橋 河川緑地運動場	高橋町地内矢作川 河川敷	S56. 4. 1 (S63. 7. 1)	23,363 m ² ◎ソフトボール4面（A、B、C、D面）
	上青野町地内矢作川 河川敷	S59. 4. 8	8,840 m ² ◎サッカー1面
	中之郷町地内矢作川 河川敷	S54. 6. 10	8,272 m ² ◎ソフトボール1面（大聖寺）
渡橋河川緑地運動場	渡町地内矢作川 河川敷	S55. 11. 1	7,759 m ² ◎ソフトボール2面（A、B面）ゲートボール場 6 面
	天白町地内矢作川 河川敷	H8. 4. 1	8,500 m ² ◎サッカー1面
日名橋河川 緑地運動場	舳越町地内矢作川 河川敷	S57. 10. 1	5,860 m ² ◎子どもソフトボール1面 少年サッカー1面
額田運動場	南大須町トドメキ 5	S63. 4. 1 (照明 H4. 8. 27)	14,114 m ² ◎軟式野球1面（兼ソフトボール1面） 照明設備 1KW 水銀灯 108 灯

IV 資 料

第 3 体育施設

施 設 名	所 在 地	開設年月日	内 容
龍北総合運動場 テニスコート	真伝町亀山 12-2	R1. 12. 1	◎テニスコート 8 面 人工芝（砂入り ナイター施設あり）
岡崎中央総合公園 庭 球 場	高隆寺町峠 1	H5. 5. 22	敷地面積 18,230 m ² クラブハウス センターコート 砂入人工芝 観客席 1,200 人 ◎ 全天候 1 面 一般コート 砂入人工芝 観客席 2,350 人◎ 全天候 16 面 練習コート 砂入人工芝 ◎ 全天候 2 面 照明灯 53 基
梅園公園庭球場	稲熊町六丁目 135-1	1 コート H2. 4. 1 2 コート H3. 4. 1	1,680 m ² ◎全天候型（砂入人工芝） 2 面
緑丘テニスコート	緑丘一丁目 2-9	S55. 4. 1	2,754 m ² ◎クレーコート 3 面
乙川テニスコート	板屋町 290-1	H2. 5. 1	5,440 m ² ◎全天候型（ハードコート） 4 面 ローラースケート場 900 m ²
牧平公園庭球場	牧平町岩田 3-35	S59. 2. 10	722 m ² ◎クレーコート 1 面 練習用壁打ちコート 1 面
中 伊 西 テニスコート	中伊西町坂口 3-1	H10. 2. 13	1,994.40 m ² ◎全天候型（砂入人工芝） 1 面 練習用壁打ちコート 1 面 照明設備 1 KW ハログン灯 10 灯
岩 津 運 動 広 場	岩津町東山 18-1	S56. 11. 1	1,800 m ² ◎子どもソフトボール 1 面
大 幡 運 動 広 場	大幡町一仏 33-3	S59. 4. 1	7,951 m ² ◎ソフトボール 1 面
天神橋運動広場	岩津町地内矢作川河川敷	S59. 7. 29	10,780 m ² ◎ソフトボール 1 面
舞 木 運 動 広 場	舞木町仏石 10-1	S60. 5. 1	11,693 m ² ◎ソフトボール 1 面
奥 殿 運 動 広 場	奥殿町仲西 68-2	S61. 4. 27	8,252 m ² ◎ソフトボール 1 面
美 合 運 動 広 場	岡町原山 2	S61. 10. 26	12,820 m ² ◎ソフトボール 1 面
藤 川 運 動 広 場	藤川町西大蓮舩 1-2	H1. 4. 16	10,700 m ² ◎ソフトボール 1 面
六南あおみ野 （定国町運動広場）	定国町郷外 41-1	H13. 4. 1	13,395 m ² ◎ソフトボール 1 面
岡崎中央総合公園 野球場（市民球場）	高隆寺町峠 1	H3. 5. 18	グラウンド面積 14,536 m ² 収容人員 20,000 人（内野 8,000 人 外野 12,000 人） スコアボード（3 色 LED 表示） 照明灯基数 6 基 平均照度 バッテリー間 2,000Lx 内野 1,500Lx 外野 750Lx
龍北総合運動場 野 球 場	真伝町亀山 12-2	R2. 7. 5	両翼 99.1m・中堅 122.0m（野球） 両翼・中堅 68.58m（ソフトボール） 硬式野球 2 面 軟式野球 2 面 ソフトボール 2 面
岡崎中央総合公園 弓 道 場	高隆寺町峠 1	H6. 4. 16	敷地面積 9,800 m ² 鉄骨造平家建 延床面積 1,525.38 m ² 射場 近的（距離 28m） 12 人立 遠的（距離 60m） 6 人立 主要室面積 近的射場 250.00 m ² 遠的射場 130.00 m ² 巻わら室 84.00 m ² 研修室 80.00 m ² 控室、更衣室、便所、倉庫等 981.38 m ²
岡崎中央総合公園 相 撲 場	高隆寺町峠 1	H6. 4. 16	鉄骨造平家建 延床面積 121.00 m ² 付属設備 更衣室 便所 練習土俵 放送設備
龍北総合運動場 アーチェリー場	真伝町亀山 12-2	R1. 6. 1	シューティングライン 30m 50m 70m（20 的設置可能）
岡崎中央総合公園 アーチェリー場	高隆寺町峠 1	H8. 5. 1	敷地面積 1,422 m ² 鉄骨造一部 2 階建 延床面積 262.92 m ² 競技場 30m 標的数 12 個 50m 標的数 6 個（弓道遠的の共用） 主要室面積 クラブハウス 106.01 m ² 射場 112.80 m ² 的場 42.30 m ²
藤 川 射 撃 場	藤川町堤ヶ入 1-35	S35	4,500 m ² クレー射台 15 台 休憩室
羽 根 乗 馬 場	羽根町小豆坂 107	S29	4,158 m ²
カヌー練習場	桑原町嶋崎 5-1	S45. 12. 3	艇庫 247 m ² カヌーカヤック（9 艇）カヌーポロカヤック（5 艇） カヌーカナディアン（5 艇）（桑原町地内 巴川 水路巾 40m 長さ 1 km）
グライダー練習場	八帖南町地内矢作川河川敷	S48. 4. 1	初級機 1 機 中級機 1 機 上級機 1 機 ウインチ車 2 台 トレーラー 3 台

IV 資 料

第 3 体育施設

乙川河川敷ローラースポーツ場	板屋町 290 番地 1	H2. 5. 1 R2. 3. 6 (リニューアルオープン)	敷地 500 m ²
渡橋河川緑地ゲートボール場	渡町地内 矢作川河川敷(右岸)	S55. 11. 1	6 面
大門河川緑地マレットゴルフコース	上里 1 丁目 大門河川緑地(左岸)	R6. 4. 11	2 コース 36 ホール

2 利用状況

(1) 岡崎市体育館

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
競 技 場	1,121	73,036	1,247	91,798	1,286	91,504
柔 剣 道 場	659	15,152	721	16,441	797	16,187
トレーニング室	—	19,601	—	21,686	—	21,778
会 議 室	223	5,677	298	8,052	291	7,822
個 人 利 用	—	—	—	—	—	—
合 計	2,003	113,466	2,266	137,977	2,374	137,291

(2) 矢作体育館

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	684	13,337	669	13,110	736	14,926
個 人 利 用					4	10

(3) 井田体育館

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	1,081	15,126	1,169	14,591	1,094	14,360
個 人 利 用	20	126	3	8	2	6

(4) 六ツ美体育館（旧勤労者体育センター）

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	938	19,800	1,062	22,566	1,169	25,683

(5) 花園体育センター

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
専 用 利 用	881	11,982	965	18,660	974	18,222

IV 資 料

第 3 体育施設

(6) 運動場

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
南 公 園	822	17,470	923	20,247	776	18,954
境 公 園	482	41,733	637	46,096	681	48,726
明 神 橋 公 園	430	8,274	443	9,073	484	8,223
日 名 公 園	378	7,982	308	8,909	321	7,673
六 名 公 園	1,095	57,352	1,117	55,633	1,328	62,850
梅 園 公 園	333	9,772	370	10,638	363	9,444
美 合 公 園	336	12,992	419	16,407	415	16,467
み どり 公 園	592	17,253	582	17,473	544	16,171
矢 作 公 園	1,349	81,744	1,440	83,542	1,518	83,756
井 田 公 園	672	34,112	630	32,464	703	34,517
三 百 田 公 園	419	15,924	441	17,305	476	18,025
堤 下 公 園	410	18,100	283	15,795	260	17,198
東 部	588	39,265	591	40,755	622	40,590
美矢井橋河川緑地 (ソフト)	740	70,119	864	72,082	938	76,462
美矢井橋河川緑地 (サッカー)	221	25,837	205	27,170	206	28,358
美矢井橋河川緑地 (大聖寺)	373	11,620	456	11,130	399	10,281
渡橋河川緑地 (右岸)	552	31,965	571	35,136	580	34,884
渡橋河川緑地 (左岸)	180	39,575	170	40,915	163	34,660
日名橋河川緑地	245	16,164	321	21,064	293	20,724
花園体育センター	633	17,480	572	19,388	602	17,536
額 田	262	13,130	239	14,479	268	17,536
合 計	11,112	587,863	11,582	615,701	11,940	622,984

(7) 運動広場

区 分		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
学区運動広場	岩 津	0	0	7	184	37	252
	大 幡	610	14,107	680	12,825	454	5,452
	舞 木	605	12,265	636	11,457	638	11,711
	奥 殿	117	1,910	165	2,844	320	7,091
	美 合	642	13,717	663	13,072	508	10,118
	藤 川			310	6,385	290	5,736
	六南あおみ野	1,260	65,100	1,199	66,184	1,192	68,639
	常 磐 南	93	2,020	28	560		
河川敷運動広場	天 神 橋	285	9,770	173	4,735		
合 計		3,612	118,889	3,861	118,246	3,439	108,999

(8) 庭球場

区 分		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
		利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
南 公 園		3,149	12,489	3,104	12,392	3,110	11,901
梅 園 公 園		3,242	27,838	3,186	19,146	3,196	18,797
緑 丘		4,595	24,330	4,744	25,144	4,473	23,554
乙 川 河 川 敷		1,954	10,560	1,869	8,355	1,580	6,843
牧 平 公 園		961	5,713	1,084	6,456	1,185	6,518
中 伊 西		1,980	10,066	2,087	10,712	1,841	9,493
花 園		1,022	5,171	1,052	4,303	1,139	4,001
合 計		16,903	96,167	17,126	86,508	16,524	81,107

令和 6年 10 月発行

教育要覧(令和6年度)

編集・発行 **岡 崎 市 教 育 委 員 会**

〒444-8601

岡崎市十王町二丁目9番地

担 当：教育委員会事務局教育政策課

電 話：(0564)23-6419

F A X：(0564)23-6558
